

目 次

| | |
|------------------------------------|----|
| I 調査実施の概要 | 1 |
| 1. 調査のあらまし | 3 |
| (1) 調査の目的 | 3 |
| (2) 調査内容 | 3 |
| (3) 調査設計 | 3 |
| (4) 回収結果 | 3 |
| (5) 地域センター別調査区域図 | 4 |
| (6) 地域センター担当区域一覧 | 4 |
| 2. 報告書の見方 | 5 |
| 3. 回答者の属性 | 6 |
| 4. 質問と回答 | 8 |
| II 調査結果の詳細 | 27 |
| 〈テーマ別調査〉 | |
| 1. コミュニティ（地域社会） | 29 |
| (1) 近所づきあいの程度（問1） | 29 |
| (2) 近所からの手助け（問2） | 32 |
| (3) 近所の人からの手助けで良かったこと（問2-1） | 34 |
| (4) 近所の人に手助けをしてもらわない理由（問2-2） | 34 |
| (5) 地域で生活する上での心配（問3） | 35 |
| (6) 町会（または自治会）名の周知度（問4） | 37 |
| (7) 町会・自治会の活動（問5、問6） | 39 |
| (8) 参加してみたい地域活動（問7） | 41 |
| 2. 働くこと | 44 |
| (1) 現在の就労状況（問8） | 44 |
| (2) いつまで働きたいか（問8-1） | 45 |
| (3) 働く目的（問8-2） | 47 |
| (4) 職住接近の賛否（問8-3） | 49 |
| (5) 就労形態の希望（問8-4） | 50 |
| (6) 「ニート」ということばの周知度（問9） | 52 |
| (7) ニートのイメージ（問9-1） | 52 |
| (8) ニートが増える原因（問10） | 53 |
| 3. 生活意識 | 55 |
| (1) 生活程度の自己評価（問11） | 55 |
| (2) 生活の満足度（問12） | 57 |
| (3) 満足している理由（問12-1） | 59 |
| (4) 不満と感ずる理由（問12-2） | 61 |

| | |
|-----------------------------------|-----|
| (5) 今後の生活の重点 (問13) | 62 |
| 4. 食の安全・安心 | 67 |
| (1) 食品購入時の配慮事項 (問14) | 67 |
| (2) 食の安全について得たい情報 (問15) | 68 |
| (3) 食の安全に関する情報の入手方法 (問16) | 69 |
| (4) 1週間の外食回数 (問17) | 71 |
| 5. 自転車の利用 | 74 |
| (1) 自転車の利用状況 (問18) | 74 |
| (2) 自転車走行中の事故体験 (問18-1) | 76 |
| (3) 自宅周辺の歩道への不満 (問19) | 78 |
| (4) 放置自転車をなくすための方策 (問20) | 81 |
| 〈経年調査〉 | |
| 6. 施策への要望 | 84 |
| (1) 施策への要望 (問21) | 84 |
| 7. 生活環境の満足度 | 93 |
| (1) 生活環境の満足度 (問22) | 93 |
| 8. 定住意向 | 97 |
| (1) 定住意向 (問24) | 97 |
| (2) 住み続ける理由 (問24-1) | 100 |
| (3) 転出する理由 (問24-2) | 101 |
| 〈区政目標・行政評価で活用する調査〉 | |
| 9. 「新しい中野をつくる10か年計画」に関する事項 | 102 |
| (1) 区(本庁舎)の窓口の利用状況 (問25) | 102 |
| (2) 職員の窓口対応 (問25-1) | 102 |
| (3) 電話による区(本庁舎)への問い合わせ状況 (問26) | 103 |
| (4) 職員の電話対応 (問26-1) | 103 |
| (5) 住まいの満足度 (問27) | 104 |
| (6) 性別役割分業の考え方をなくすべきか (問28) | 105 |
| (7) 男女が多様な働き方ができるようになるべきか (問29) | 105 |
| (8) 震災に対する家庭での備え (問30) | 106 |
| (9) 区民の意見・要望の反映度 (問31) | 107 |
| (10) 住民税の周知度 (問32) | 107 |
| III 結果の数表 | 109 |

2006中野区政世論調査

調査実施の概要

1. 調査のあらまし

(1) 調査目的

区政の重要課題に対する区民の意識・要望などを把握し、今後の区政運営の基礎資料とする。

(2) 調査内容

コミュニティ（地域社会）

働くこと

生活意識

食の安全・安心

自転車の利用

施策への要望

生活環境の満足度

定住意向

「新しい中野をつくる10か年計画」に関する事項

(3) 調査設計

調査地域 中野区全域

調査対象 中野区内に住む満20歳以上の男女個人

標本数 1,300人

抽出方法 層化二段無作為抽出法

調査方法 調査員による訪問配付、訪問回収法

調査期間 平成18年7月11日（火）～7月31日（月）

(4) 回収結果

標本数 1,300

有効回収数 1,012（77.8%）

回収不能数 288（22.2%）

（内 訳）

| 合計 | 転居 | 長期不在 | 一時不在 | 住所不明 | 拒否 | その他 |
|-----|--------------|---------------|----------------|--------------|---------------|--------------|
| 288 | 23 (8.0%) | 29 (10.1%) | 131 (45.5%) | 15 (5.2%) | 76 (26.4%) | 14 (4.9%) |

（ ）内の百分比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(5) 地域センター別調査区域図



| 地 域 | 20歳以上の人口 | 標 本 数 | 有効回収数 | 有効回収率 |
|---------|----------|-------|-------|-------|
| 南 中 野 | 24,968 | 130 | 107 | 82.3% |
| 弥 生・東 部 | 40,481 | 210 | 168 | 80.0% |
| 鍋 横・桃 園 | 29,930 | 160 | 146 | 91.3% |
| 昭 和・東中野 | 18,917 | 100 | 59 | 59.0% |
| 上高田・新 井 | 24,790 | 130 | 79 | 60.8% |
| 江古田・沼 袋 | 31,766 | 180 | 137 | 76.1% |
| 野 方・大 和 | 33,287 | 180 | 128 | 71.1% |
| 鷺 宮・上鷺宮 | 39,019 | 210 | 188 | 89.5% |
| 計 | 243,158 | 1,300 | 1,012 | 77.8% |

20歳以上の人口は平成18年7月3日現在

(6) 地域センター担当区域一覧

| 地 域 | 担 当 町 丁 |
|---------|---|
| 南 中 野 | 南台1～5丁目、弥生町1～2丁目の一部、弥生町3～6丁目 |
| 弥 生・東 部 | 弥生町1～2丁目の一部、本町1～3丁目、本町4丁目の一部、中央1～2丁目 中央3丁目の一部、東中野1～2丁目、東中野4丁目の一部、中野1丁目の一部 |
| 鍋 横・桃 園 | 本町4丁目の一部、本町5～6丁目、中央3丁目の一部、中央4～5丁目、 中野1丁目の一部、中野2～3丁目、中野4～5丁目の一部 |
| 昭 和・東中野 | 東中野3～5丁目、東中野4丁目の一部、中野5丁目の一部、中野6丁目 上高田1～2丁目の一部、新井1丁目の一部 |
| 上高田・新 井 | 上高田1～2丁目の一部、上高田3～5丁目、中野4～5丁目の一部、 新井1～3丁目の一部、新井4～5丁目 |
| 江古田・沼 袋 | 松が丘1～2丁目、江原町1～3丁目、江古田1～4丁目、沼袋1～4丁目 |
| 野 方・大 和 | 中野4丁目の一部、新井2～3丁目の一部、丸山1丁目、丸山2丁目の一部、 野方1～4丁目、野方5～6丁目の一部、大和町1～3丁目、大和町4丁目の一部、 若宮1～2丁目の一部 |
| 鷺 宮・上鷺宮 | 丸山2丁目の一部、野方5～6丁目の一部、大和町4丁目の一部、若宮1～2丁目 の一部、若宮3丁目、白鷺1～3丁目、鷺宮1～6丁目、上鷺宮1～5丁目 |

2. 報告書の見方

(1) 図表中に示してある「n」は、その設問の対象となる回答者総数である。

図表及び「結果の数表」で表側では「その他」及び「無回答」を除いている場合がある。したがって、各回答者数の合計が回答者総数を下回る場合がある。

また、いくつでも（複数回答）などの場合は回答が2つ以上ありうる。したがって、合計比は100%を超える。

(2) 百分比は「n」を100%として算出し、本文及び図表中では原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示した。このため、百分比の合計が100%に満たない、または上回る場合がある。

(3) 標本誤差（サンプル誤差）は、およそ下表のとおりである。二段抽出の場合の標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数（n）及び回答の比率（P）によって異なる。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数(中野区の20歳以上の人口)
 n = 比率算出の基数(回答者数)
 P = 回答比率

なお、対象サンプル数（n）に比べて、母集団の大きさ（N）が十分に大きい場合には、 $(N-n)/(N-1) \approx 1$ とみなすことができ、下表はこれにより算出した。

| 回答比率 (p) 基数(n) | 10%または 90%前後 | 20%または 80%前後 | 30%または 70%前後 | 40%または 60%前後 | 50%前後 |
|----------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------|
| 1,012 | ± 2.7 | ± 3.6 | ± 4.1 | ± 4.4 | ± 4.4 |
| 1,000 | ± 2.7 | ± 3.6 | ± 4.1 | ± 4.4 | ± 4.5 |
| 800 | ± 3.0 | ± 4.0 | ± 4.6 | ± 4.9 | ± 5.0 |
| 600 | ± 3.5 | ± 4.6 | ± 5.3 | ± 5.7 | ± 5.8 |
| 400 | ± 4.2 | ± 5.7 | ± 6.5 | ± 6.9 | ± 7.1 |
| 200 | ± 6.0 | ± 8.0 | ± 9.2 | ± 9.8 | ± 10.0 |
| 100 | ± 8.5 | ± 11.3 | ± 13.0 | ± 13.9 | ± 14.1 |

この表の見方は次のとおりである。

例えば「ある設問の回答者数が1,012人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±4.4%以内（55.6～64.4%）である」とみることができる。

3. 回答者の属性

図1 性別

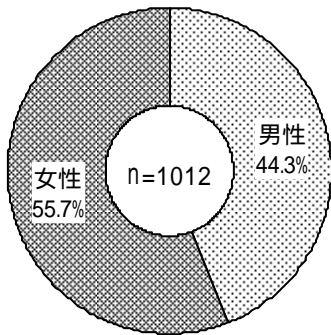


図2 年代別

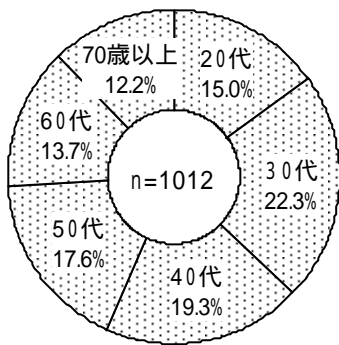


図3 性・年代別

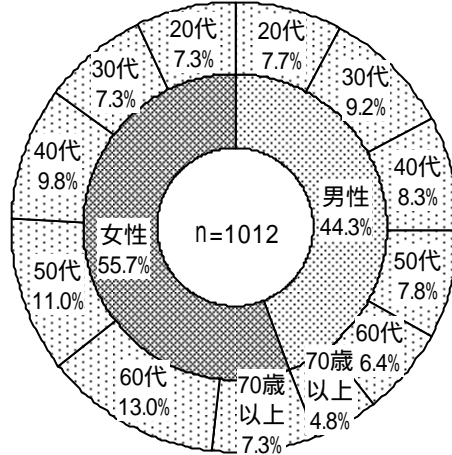


図4 母集団との比較 - 性・年代別 -

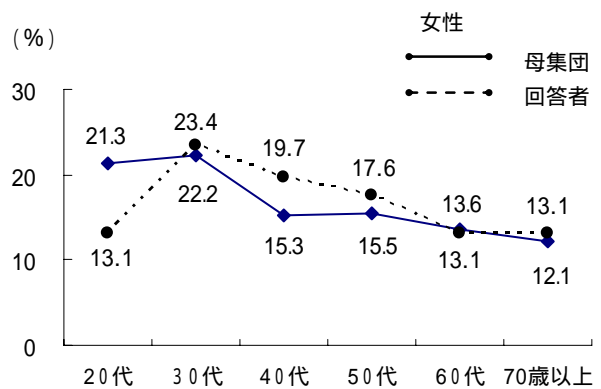
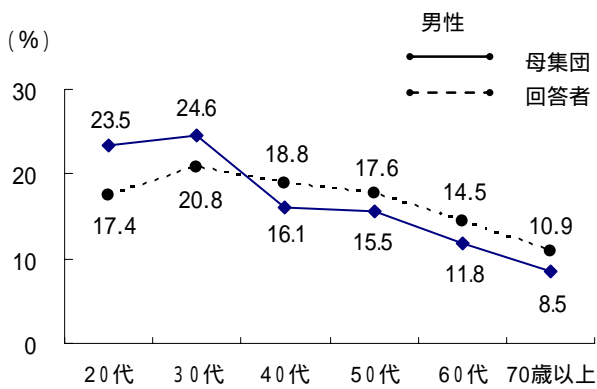


図5 職業

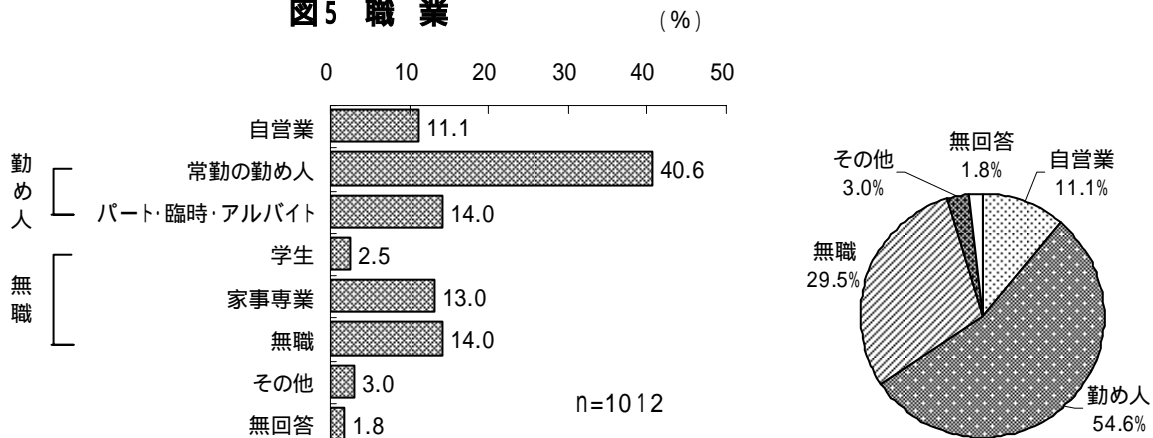


図6 通勤・通学先 (%)

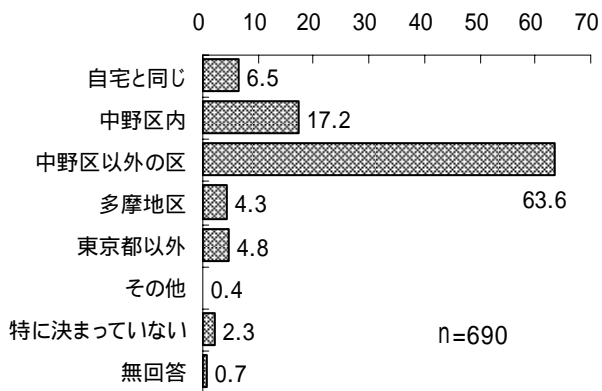


図7 世帯構成 (%)

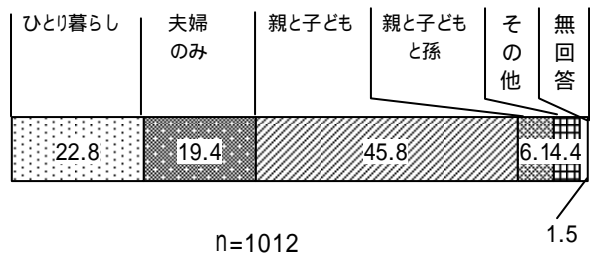


図8 居住形態 (%)

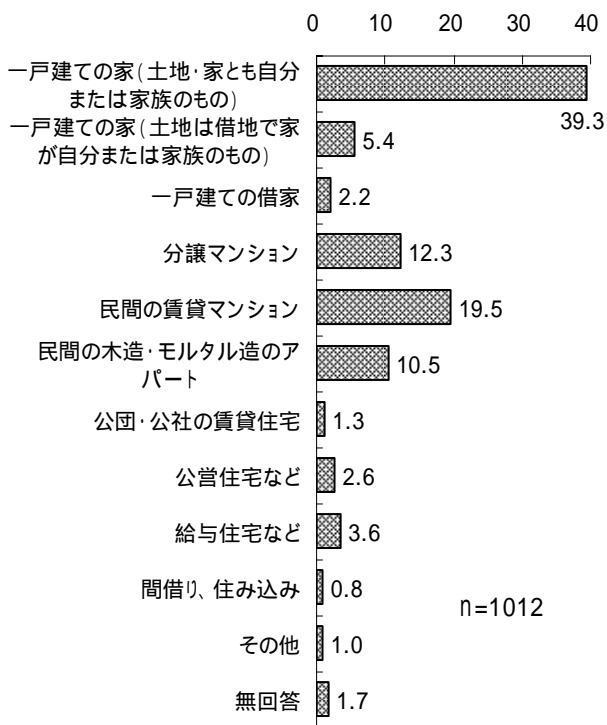
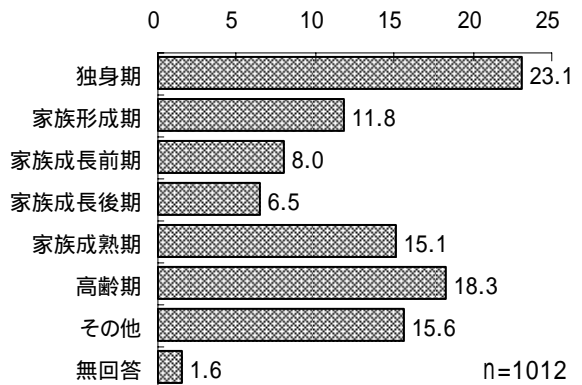


図9 ライフステージ (%)



| | |
|--------|---------------------------------|
| 独身期 | 20・30代の独身 |
| 家族形成期 | 20・30代で子どもがいない夫婦、一番上の子どもが小学校入学前 |
| 家族成長前期 | 一番上の子どもが小・中学生 |
| 家族成長後期 | 一番上の子どもが高校・大学生 |
| 家族成熟期 | 本人が64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業 |
| 高齢期 | 65歳以上 |
| その他 | 40～64歳で独身か夫婦のみ |

図10 居住年数

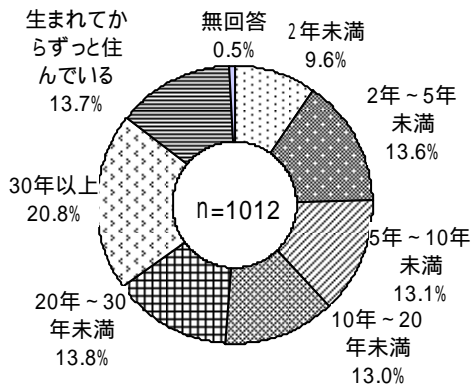
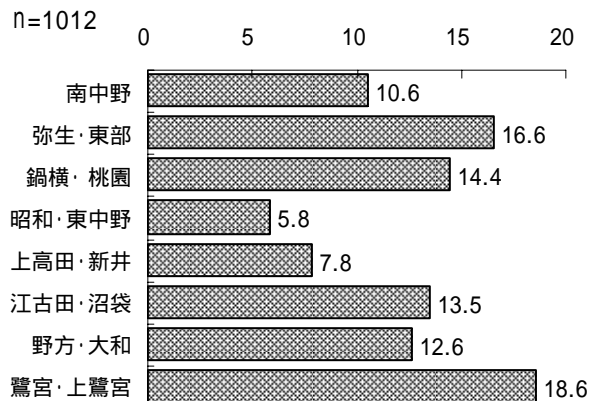


図11 地域別 (%)



4. 質問と回答

<注> (1) 表右上のnはその質問の回答者総数。

(2) 表内の数値は回答者数に対する構成比(%)。

* 数値は、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%を0.1~0.2%程度前後することがある。

(3) 複数回答の場合は、比率を合計すると100%を超える場合がある。

【コミュニティ(地域社会)】

問1 あなたは普段、隣近所の人とどれくらいのおつき合いをしていますか。(1つに)

n=1,012

| | | |
|---|-------------------------|------|
| 1 | ほとんどつき合いはない | 18.1 |
| 2 | 顔があえばあいさつするくらい | 47.6 |
| 3 | たまに立ち話をするくらい | 24.9 |
| 4 | 留守をするとき声をかけあうなど、親しく話をする | 6.6 |
| 5 | 遠慮なしに日常行き来している | 2.2 |
| 6 | その他(具体的に) | 0.3 |
| | 無回答 | 0.3 |

問2 あなたは隣近所の人から、次のような手助けや手伝いをしてもらったことがありますか。(いくつでも)

n=1,012

| | | |
|----|----------------|------|
| 1 | 荷物の預かり | 16.3 |
| 2 | ペットの預かり | 1.1 |
| 3 | 子どもの預かり | 4.2 |
| 4 | 保育園や幼稚園の送迎 | 1.4 |
| 5 | 声かけ・安否確認 | 9.2 |
| 6 | 買い物の代行 | 1.6 |
| 7 | 炊事、洗濯、掃除などの家事 | 0.9 |
| 8 | 通院の付き添い | 1.1 |
| 9 | 病気のときの看病 | 0.5 |
| 10 | 住まいの小修繕などの大工仕事 | 2.2 |
| 11 | 悩みごとや心配ごとの相談 | 6.5 |
| 12 | その他(具体的に) | 2.5 |
| 13 | 全くない | 69.1 |
| | 無回答 | 0.6 |

【問2で1～12のいずれかに つけた方（手助けなどをしてもらったことがある方）に】

問2 - 1 隣近所の人に手助けや手伝いをしてもらって良いと思うことは何ですか。
（いくつでも ）

n=307

| | | |
|---|---------------------------|------|
| 1 | 知っている人なので安心して頼める | 63.5 |
| 2 | 家が近くなのですぐに（緊急に）頼める | 37.1 |
| 3 | 家が近くなので、出向く手間がない | 10.4 |
| 4 | 費用がかからない（またはあまりかからない） | 6.5 |
| 5 | コミュニケーションが生まれ、良好な隣人関係が築ける | 42.0 |
| 6 | その他（具体的に ） | 3.6 |
| 7 | 特になし | 2.9 |
| | 無回答 | 3.6 |

【問2で13に つけた方（手助けなどをしてもらったことがない方）に】

問2 - 2 隣近所の人に手助けや手伝いをしてもらわない理由は何ですか。（いくつでも ）

n=700

| | | |
|---|----------------------------|------|
| 1 | 親や子ども、友人などに頼むので近所の手助けは必要ない | 26.3 |
| 2 | 近所の人に家の中や事情を知られたくない | 11.6 |
| 3 | 何か問題が起きたときの責任問題などが気がかり | 12.1 |
| 4 | お礼など、気をつかうのが面倒 | 11.9 |
| 5 | 普段から交流がないので頼みづらい | 26.3 |
| 6 | 他人は信用できない | 2.9 |
| 7 | 手助けしてもらいたいことがない | 46.7 |
| 8 | その他（具体的に ） | 7.3 |
| | 無回答 | 1.1 |

問3 あなたが今後もこの地域で生活していく上で、心配していることは何ですか。（いくつでも ）

n=1,012

| | | |
|----|----------------------------------|------|
| 1 | 身のまわりのことができなくなった時に助けてくれる人がいない | 11.6 |
| 2 | 病気になったときなどに頼れる人が身近にいない | 11.7 |
| 3 | 経済的に安定した生活が続けられるか心配である | 22.9 |
| 4 | 介護が必要な家族を家庭で介護できるか（し続けられるか）自信がない | 12.9 |
| 5 | 子育てがうまくできるか心配である | 4.5 |
| 6 | 日頃、親しく付き合う仲間が地域にいないことが心配である | 8.5 |
| 7 | 空き巣ねらいや放火など、地域の治安のことが心配である | 43.5 |
| 8 | 地震や火事など、災害時の対応が心配である | 54.7 |
| 9 | その他（具体的に ） | 2.9 |
| 10 | 特に心配なことはない | 21.5 |
| | 無回答 | 1.4 |

問4 あなたが住んでいる地域にある町会（または自治会）の名称を知っていますか。

n=1,012

| | |
|---------|------|
| 1 知っている | 55.8 |
| 2 知らない | 43.0 |
| 無回答 | 1.2 |

問5 町会・自治会は下表のような活動を行なっています。

下表の中で、町会・自治会が行なっていることを知っていたものがありましたら、表中の「回答欄」に をつけてください。（いくつでも ）

n=1,012

| | |
|----------------------------|------|
| 1 回覧板や掲示板などの広報活動 | 67.3 |
| 2 安全安心パトロールなどの防犯活動 | 47.1 |
| 3 防災訓練や街頭消火器の点検など災害に対する活動 | 30.0 |
| 4 交通安全運動への参加などの交通安全活動 | 29.2 |
| 5 古紙の集団回収やびん・缶回収などのリサイクル活動 | 65.1 |
| 6 赤い羽根、歳末助け合い、日赤などの募金協力活動 | 45.4 |
| 7 盆踊りや地域のお祭りなどの行事 | 62.8 |
| 8 町会会館・自治会館などの設置・運営 | 28.1 |
| 9 高齢者・障害者へのボランティア活動 | 17.9 |
| 10 子どもや青少年の健全育成 | 22.1 |
| 11 行政との連絡調整や陳情など | 14.9 |
| 12 特にない | 13.4 |
| 無回答 | 1.7 |

問6 また、下表の中で、町会・自治会に期待するものがありましたら、表中の「回答欄」に をつけてください。（いくつでも ）

n=1,012

| | |
|----------------------------|------|
| 1 回覧板や掲示板などの広報活動 | 8.5 |
| 2 安全安心パトロールなどの防犯活動 | 43.1 |
| 3 防災訓練や街頭消火器の点検など災害に対する活動 | 28.7 |
| 4 交通安全運動への参加などの交通安全活動 | 12.6 |
| 5 古紙の集団回収やびん・缶回収などのリサイクル活動 | 17.1 |
| 6 赤い羽根、歳末助け合い、日赤などの募金協力活動 | 5.1 |
| 7 盆踊りや地域のお祭りなどの行事 | 10.8 |
| 8 町会会館・自治会館などの設置・運営 | 6.3 |
| 9 高齢者・障害者へのボランティア活動 | 26.7 |
| 10 子どもや青少年の健全育成 | 25.9 |
| 11 行政との連絡調整や陳情など | 22.7 |
| 12 特にない | 31.2 |
| 無回答 | 4.2 |

問7 地域での公益的な活動（ボランティア活動などの無償で行う活動の他、利益を得る活動も含む）で、あなたが今後、参加してみたいと思う（または参加している）活動はどのようなものですか。

（いくつでも）

n=1,012

| | | |
|----|------------------------------------|------|
| 1 | 高齢者の福祉や生活にかかわること | 15.6 |
| 2 | 障害者の福祉や生活にかかわること | 9.7 |
| 3 | 日常生活の軽度な支援（便利屋的な仕事） | 7.3 |
| 4 | 育児や子育て中の親への支援 | 8.6 |
| 5 | 児童・生徒や学校への支援 | 10.7 |
| 6 | 文化、芸術などにかかわる活動 | 16.3 |
| 7 | スポーツ・レクリエーション活動 | 15.3 |
| 8 | 技術を生かした作業や指導 | 6.5 |
| 9 | リサイクルや環境に関する活動 | 16.0 |
| 10 | 食に関する活動（お弁当の宅配、カフェの経営など） | 7.9 |
| 11 | パソコンなどのIT関連の活動（パソコン教室、ホームページの作成など） | 9.7 |
| 12 | タウン誌など情報発信の活動 | 4.4 |
| 13 | 組織や団体の事務局支援 | 4.2 |
| 14 | その他（具体的に） | 2.9 |
| 15 | 参加してみたいと思うものはない | 33.1 |
| | 無回答 | 6.7 |

【働くこと】

問8 あなたは現在、仕事に就いていますか。（1つに）

n=1,012

| | | |
|---|--------------------------------|------|
| 1 | 仕事に就いている | 68.2 |
| 2 | 仕事に就いていないが、機会があれば働きたい（将来は働きたい） | 14.4 |
| 3 | 仕事に就いてなく、これからも働くつもりはない | 16.0 |
| | 無回答 | 1.4 |

【問8で1、2に をつけた方（仕事に就いているか、仕事に就きたいと思っている方）に】

（現在、仕事に就いていない方は、働くことを想定してお答えください）

問8-1 現在の仕事にかかわらず、いつまで働きたいと思いますか。（1つに）

n=836

| | | |
|---|------------------------------|------|
| 1 | 働ける状況があればいつまででも働いていたい | 61.8 |
| 2 | 定年（勤め人以外の方は60歳くらい）まで働いていたい | 11.8 |
| 3 | 定年（勤め人以外の方は60歳くらい）より少し前にやめたい | 4.8 |
| 4 | なるべく早くやめたい | 5.4 |
| 5 | その他（具体的に） | 2.5 |
| 6 | わからない | 9.4 |
| | 無回答 | 4.2 |

問8 - 2 あなたは何のために働いていますか。重要と思うものを2つ以内でお答えください。
n=836

| | | |
|---|----------------------|------|
| 1 | お金を得るため | 78.2 |
| 2 | 自分の才能や能力を発揮するため | 25.8 |
| 3 | 社会に貢献しているという充実感を得るため | 9.8 |
| 4 | 社会とのつながりを保っていたいため | 19.9 |
| 5 | 生きがいを見つけるため | 14.5 |
| 6 | 仕事を通じて友人を得たいため | 4.4 |
| 7 | 健康のため | 9.2 |
| 8 | その他（具体的に) | 5.3 |
| 9 | わからない | 1.2 |
| | 無回答 | 2.2 |

問8 - 3 職場と住まいは近い方が良いと思いますか。(1つに)

| | | |
|---|------------|-------|
| | | n=836 |
| 1 | 近い方が良い | 70.0 |
| 2 | 近すぎない方が良い | 14.1 |
| 3 | どちらでも良い | 14.1 |
| 4 | その他（具体的に) | 1.1 |
| | 無回答 | 0.7 |

問8 - 4 あなたは、どのような働き方を望みますか。(1つに)

| | | |
|---|----------------------------------|-------|
| | | n=836 |
| 1 | 働く時間が長くても、なるべく多くの収入が得られる働き方 | 11.1 |
| 2 | 定型的な勤務で、安定した収入が得られる働き方 | 40.9 |
| 3 | 定型的な勤務ではなく、自己の能力や成果に伴い収入が得られる働き方 | 18.2 |
| 4 | 収入は減るが働く時間が短く、自分の都合に合わせられる働き方 | 16.9 |
| 5 | 収入は不安定だが、好きなときだけ働く働き方 | 4.5 |
| 6 | その他（具体的に) | 2.3 |
| 7 | わからない | 3.2 |
| | 無回答 | 2.9 |

問9 ところで、最近、学校にも行かず仕事を探そうともしない、いわゆる「ニート」と呼ばれる若者が増えているといわれています。

あなたは、「ニート」ということばを、これまでに聞いたことがありますか。

n=1,012

| | | |
|---|-----|------|
| 1 | ある | 94.4 |
| 2 | ない | 5.0 |
| | 無回答 | 0.6 |

【問9で「1 ある」に つけた方に】

問9 - 1 あなたは「ニート」にどんなイメージをもっていますか。(いくつでも)

n=955

| | | | | | |
|---|----------|------|----|--------------|------|
| 1 | きまじめ | 3.4 | 10 | 甘えている | 64.9 |
| 2 | 内向的 | 32.1 | 11 | 自由に生きている | 16.0 |
| 3 | 心配性 | 4.3 | 12 | 将来のことを考えていない | 42.6 |
| 4 | 思慮深い | 2.3 | 13 | 独自の価値観をもっている | 13.6 |
| 5 | 理想が高い | 12.3 | 14 | 社会に不満をもっている | 16.3 |
| 6 | 意欲がない | 53.2 | 15 | 家の中にこもりがちである | 34.6 |
| 7 | 傷つきやすい | 16.6 | 16 | お金に困っていない | 26.7 |
| 8 | 自己中心的 | 40.7 | 17 | その他(具体的に) | 4.9 |
| 9 | 人付き合いが苦手 | 43.7 | 18 | わからない | 3.5 |
| | | | | 無回答 | 0.5 |

問10 あなたは、ニートが増える原因はどこにあると思いますか。(いくつでも)

n=1,012

| | | | | | |
|---|------------|------|---|------------|------|
| 1 | 学校教育 | 34.3 | 6 | 雇用形態の変化 | 34.5 |
| 2 | 家庭 | 65.6 | 7 | 若者の意識の変化 | 62.2 |
| 3 | 地域社会 | 12.2 | 8 | その他(具体的に) | 4.5 |
| 4 | 国や自治体の取り組み | 18.2 | 9 | わからない | 4.0 |
| 5 | 不況等の経済状況 | 24.8 | | 無回答 | 4.3 |

【生活意識】

問 11 あなたの生活程度は、世間一般からみてどの程度だと思いますか。(1つに)

n=1,012

| | | | |
|-------|------|---------|------|
| 1 上 | 1.6 | 4 中の下 | 25.5 |
| 2 中の上 | 14.6 | 5 下 | 10.4 |
| 3 中の中 | 39.8 | 6 わからない | 6.4 |
| | | 無回答 | 1.7 |

問 12 あなたは、現在の生活に満足していますか、満足していませんか。(1つに)

n=1,012

| | |
|-------------|------|
| 1 満足している | 15.9 |
| 2 まあ満足している | 46.9 |
| 3 やや不満だ | 18.3 |
| 4 不満だ | 10.2 |
| 5 どちらともいえない | 6.8 |
| 6 わからない | 0.9 |
| 無回答 | 1.0 |

【問 12 で「1 満足している」「2 まあ満足している」に つけた方に】

問 12 - 1 どのような理由で満足していますか。(いくつでも)

n=636

| | |
|-------------------------------|------|
| 1 健康であるから | 76.3 |
| 2 衣生活が豊かだから | 24.8 |
| 3 食生活が豊かだから | 36.0 |
| 4 住生活が豊かだから | 27.0 |
| 5 家族との生活が充実しているから | 57.4 |
| 6 友人、知人との人間関係が充実しているから | 43.1 |
| 7 地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから | 4.4 |
| 8 スポーツやレジャー活動が充実しているから | 14.6 |
| 9 仕事や勉強がうまくいっているから | 24.1 |
| 10 趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから | 23.3 |
| 11 家具、車など耐久消費財がそろっているから | 7.9 |
| 12 収入や貯蓄など金銭面が満たされているから | 13.7 |
| 13 悩みや心配ごとがないから | 12.4 |
| 14 その他(具体的に) | 3.6 |
| 15 わからない | 1.4 |
| 無回答 | 0.5 |

【問 12 で「3 やや不満だ」「4 不満だ」に つけた方に】

問 12 - 2 どのような理由で不満と感じていますか。(いくつでも)

n=288

| | | |
|----|-------------------------|------|
| 1 | 健康でないから | 20.8 |
| 2 | 衣生活が不十分だから | 9.4 |
| 3 | 食生活が不十分だから | 8.7 |
| 4 | 住生活が不十分だから | 28.1 |
| 5 | 家族との生活がうまくいっていないから | 8.7 |
| 6 | 友人、知人との人間関係がうまくいっていないから | 4.2 |
| 7 | 社会に貢献しているという充実感がないから | 13.9 |
| 8 | スポーツやレジャー活動が思うようにできないから | 18.1 |
| 9 | 仕事や勉強がうまくいっていないから | 12.8 |
| 10 | 趣味、教養の時間が十分にとれないから | 34.4 |
| 11 | 家具、車など欲しいものが買えないから | 17.0 |
| 12 | 収入や貯蓄など、金銭面が満たされていないから | 69.8 |
| 13 | 悩みや心配ごとがあるから | 29.2 |
| 14 | その他(具体的に) | 5.6 |
| 15 | わからない | 0.7 |
| | 無回答 | 0.3 |

問 13 あなたは今後の生活において、何を重視していきたいと思いますか。重要と思うものを3つ以内で選び、1位から3位までの順位をつけて、それぞれの番号を 内に記入してください。

| | 第1位 | 第2位 | 第3位 | 総合 |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|---------|
| | n =1,012 | n =1,012 | n =1,012 | n=1,012 |
| 1 健康 | 64.7 | 15.2 | 4.1 | 84.0 |
| 2 家庭 | 17.0 | 39.2 | 5.4 | 61.7 |
| 3 友人・知人との人間関係 | 3.1 | 12.9 | 23.5 | 39.5 |
| 4 地域活動やボランティア活動 | - | 0.7 | 2.1 | 2.8 |
| 5 仕事 | 4.2 | 13.7 | 20.8 | 38.8 |
| 6 趣味や教養、スポーツ、レジャー | 3.5 | 6.7 | 20.8 | 30.9 |
| 7 貯蓄や投資 | 1.5 | 4.1 | 12.5 | 18.0 |
| 8 その他(具体的に) | 0.3 | 0.4 | 0.6 | 1.3 |
| 9 わからない | 1.0 | - | - | 1.0 |
| 無回答 | 4.7 | 7.0 | 10.3 | 4.7 |

【 食の安全・安心 】

問 14 あなたは食品を購入する場合、安全面でどのようなことに配慮しますか。(いくつでも)

n=1,012

| | | |
|----|--------------|------|
| 1 | 購入する店 | 35.9 |
| 2 | 商品の陳列や保管の状態 | 25.0 |
| 3 | 新鮮さ | 74.6 |
| 4 | 賞味期限 | 68.9 |
| 5 | 使用されている食品添加物 | 39.0 |
| 6 | 産地・原産地(原産国) | 51.1 |
| 7 | 製造者・輸入者 | 20.4 |
| 8 | 保存方法などの注意事項 | 17.6 |
| 9 | 包装の状態や容器 | 18.6 |
| 10 | その他(具体的に) | 1.2 |
| 11 | 特にない | 6.9 |
| | 無回答 | 0.7 |

問 15 あなたは食の安全について、どのような情報を得たいと思いますか。(3つ以内に)

n=1,012

| | | |
|----|-------------------------|------|
| 1 | 食品添加物 | 45.9 |
| 2 | 加工食品等の表示の見方 | 13.3 |
| 3 | 食品の保存方法や期限 | 34.4 |
| 4 | 食品の生産履歴(生産から店頭に並ぶまでの過程) | 18.6 |
| 5 | 食品の違反・自主回収 | 9.1 |
| 6 | 輸入食品 | 16.9 |
| 7 | 遺伝子組み換え食品 | 21.9 |
| 8 | 環境ホルモン | 11.4 |
| 9 | BSE・鳥インフルエンザ等家畜の病気 | 29.4 |
| 10 | 農薬 | 18.4 |
| 11 | 食品とアレルギー | 5.9 |
| 12 | 食品と生活習慣病予防 | 10.0 |
| 13 | 家庭内での食中毒の予防 | 8.4 |
| 14 | その他(具体的に) | 0.5 |
| 15 | 特にない | 8.1 |
| | 無回答 | 1.5 |

問 16 あなたは普段、食の安全に関する情報をどのような方法で知ることが多いですか。
 (3つ以内に)

n=1,012

| | | |
|----|---------------------|------|
| 1 | テレビ・ラジオ | 86.4 |
| 2 | 新聞 | 62.5 |
| 3 | 雑誌 | 24.1 |
| 4 | 書籍 | 6.5 |
| 5 | インターネット(区のホームページ以外) | 16.4 |
| 6 | 区の刊行物・パンフレット | 2.6 |
| 7 | 区のホームページ | 0.2 |
| 8 | お店(食品関係事業者) | 11.5 |
| 9 | 地域の勉強会 | 0.1 |
| 10 | 区や都の講習会 | 0.1 |
| 11 | 民間の講習会 | 0.7 |
| 12 | 学校 | 0.4 |
| 13 | 友人・知人 | 16.8 |
| 14 | その他(具体的に) | 1.2 |
| 15 | 特に得ていない | 4.8 |
| | 無回答 | 0.6 |

問 17 あなたは最近1週間のうち、何回くらい外食(出前、市販の弁当を含む)をしましたか。朝食、昼食、夕食ごとにそれぞれあてはまるものに をつけてください。
 食べる習慣がない場合は「食べない」の欄に をしてください。

n=1,012

| | 0回 | 1~2回 | 3~4回 | 5回以上 | 食べない | 無回答 |
|------|------|------|------|------|------|-----|
| ア 朝食 | 62.3 | 9.0 | 3.9 | 5.3 | 12.4 | 7.2 |
| イ 昼食 | 22.1 | 25.2 | 12.2 | 35.1 | 2.6 | 2.9 |
| ウ 夕食 | 32.5 | 34.7 | 14.8 | 12.5 | 2.3 | 3.2 |

【 自転車の利用 】

問 18 あなたは、自転車を利用していますか。(1つに)

n=1,012

| | | |
|---|--------------|------|
| 1 | ほとんど毎日利用している | 22.2 |
| 2 | 週に何回かは利用している | 12.5 |
| 3 | 時々利用している | 22.8 |
| 4 | まったく利用していない | 41.9 |
| | 無回答 | 0.6 |

【問 18 で 1、2、3 に つけた方(自転車を利用している方)に】

問 18 - 1 あなたは、これまでに自転車走行中の事故体験(軽い接触も含む)がありますか。

n=582

| | あ る | な い | 無回答 |
|-------------|------|------|-----|
| ア 車との事故体験 | 16.7 | 82.3 | 1.0 |
| イ 自転車との事故体験 | 27.0 | 71.6 | 1.4 |
| ウ 歩行者との事故体験 | 13.4 | 85.2 | 1.4 |

問 19 あなたは、ご自宅周辺の歩道を歩いていて不満に思うことがありますか。(いくつでも)

n=1,012

| | | |
|---|------------------------------|------|
| 1 | 歩道が狭い | 47.9 |
| 2 | 歩道と車道の段差が危ない | 21.5 |
| 3 | 放置自転車や看板などの障害物により、歩道が歩きにくい | 45.6 |
| 4 | 自転車が歩道を通り危ない | 36.6 |
| 5 | 幅いっぱい広がって歩くなど、マナーを守らない歩行者が多い | 47.0 |
| 6 | その他(具体的に) | 10.5 |
| 7 | 不満に思うことはない | 11.8 |
| | 無回答 | 1.9 |

問20 自転車は手軽で便利な乗り物ですが、駅周辺などの放置自転車が後をたたく、通行の妨げになっています。放置自転車をなくすため、どのような施策を優先して行うべきだと思いますか。

(2つ以内に)

n=1,012

| | | |
|---|--------------------------------|------|
| 1 | 撤去手数料(5,000円)を増額する | 13.0 |
| 2 | 自転車駐車を増設する | 62.1 |
| 3 | 放置自転車の撤去を強化する | 34.7 |
| 4 | 近距離からの自転車利用を制限する | 5.4 |
| 5 | 啓発活動をして自転車利用のマナーの向上を図る | 16.2 |
| 6 | バスのスムーズな運行や路線を増やすなどして自転車利用を減らす | 7.7 |
| 7 | 自転車の共同利用のしくみをつくる | 13.0 |
| 8 | わからない | 5.0 |
| 9 | その他(具体的に) | 5.8 |
| | 無回答 | 2.3 |

【 施策への要望 】

問 21 つぎにあげる施策の中で、今後特に力をいれてほしいものを3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、それぞれの番号を 内に1つずつ記入してください。

| | 第1位 | 第2位 | 第3位 | 総合 |
|-----------------------------------|---------|---------|---------|---------|
| | n=1,012 | n=1,012 | n=1,012 | n=1,012 |
| 1 平和 | 15.0 | 2.0 | 2.0 | 19.0 |
| 2 人権 | 1.8 | 2.7 | 1.0 | 5.4 |
| 3 情報化（IT）の推進 | 1.6 | 0.7 | 0.9 | 3.2 |
| 4 防災 | 12.7 | 12.0 | 8.7 | 33.4 |
| 5 地域・自治活動 | 0.2 | 0.7 | 0.7 | 1.6 |
| 6 防犯 | 15.7 | 14.5 | 9.3 | 39.5 |
| 7 産業振興（産業・商店街の活性化、中小企業支援など） | 2.3 | 1.8 | 2.3 | 6.3 |
| 8 消費者支援 | 0.9 | 2.4 | 1.2 | 4.4 |
| 9 みどり・環境向上（緑化の助成、環境行動の推進、まちの美化など） | 1.9 | 4.9 | 6.0 | 12.8 |
| 10 ごみ対策（ごみの収集、リサイクルなど） | 2.2 | 4.3 | 7.1 | 13.6 |
| 11 子育て支援 | 7.7 | 6.0 | 3.2 | 16.9 |
| 12 青少年育成 | 0.9 | 1.6 | 2.0 | 4.4 |
| 13 男女平等 | 0.6 | 0.5 | 0.8 | 1.9 |
| 14 健康（区民健診、健康相談、介護予防など） | 9.2 | 9.7 | 9.1 | 28.0 |
| 15 公衆衛生（害虫防除、食品衛生、公害防止など） | 0.8 | 2.7 | 3.0 | 6.4 |
| 16 高齢者福祉 | 9.8 | 9.2 | 8.1 | 27.1 |
| 17 障害者福祉 | 1.7 | 2.2 | 2.4 | 6.2 |
| 18 低所得者支援 | 2.6 | 3.2 | 4.0 | 9.7 |
| 19 道路整備 | 0.6 | 1.7 | 2.9 | 5.1 |
| 20 公園整備 | 0.6 | 1.7 | 3.4 | 5.6 |
| 21 住宅対策 | 2.0 | 2.6 | 3.1 | 7.6 |
| 22 駅前などの重点まちづくり | 1.4 | 2.6 | 3.4 | 7.3 |
| 23 学校教育 | 3.3 | 4.0 | 4.8 | 12.1 |
| 24 文化・スポーツ | 0.4 | 1.7 | 2.5 | 4.5 |
| 25 その他（具体的に) | 0.9 | 0.4 | 0.3 | 1.6 |
| 26 特にない | 1.6 | - | - | 1.6 |
| 無回答 | 1.9 | 4.5 | 8.2 | 1.9 |

【 生活環境の満足度 】

問 22 あなたは、自宅周辺の生活環境についてどのように感じていますか。
項目ごとにお答えください。(1 つずつ)

n=1,012

| | 良い | どちらかと いえば良い | どちらかと いえば悪い | 悪い | 無回答 |
|---------------|------|----------------|----------------|------|-----|
| ア 交通の便 | 54.2 | 35.1 | 6.9 | 1.9 | 1.9 |
| イ 買い物の便 | 44.8 | 37.6 | 12.1 | 4.0 | 1.6 |
| ウ みどりの豊かさ | 12.1 | 33.6 | 35.4 | 15.6 | 3.4 |
| エ 公園や広場 | 10.4 | 32.7 | 34.5 | 18.5 | 4.0 |
| オ 近所付き合い | 7.3 | 41.2 | 31.0 | 17.1 | 3.4 |
| カ 交通の安全性 | 8.0 | 45.8 | 35.5 | 6.9 | 3.8 |
| キ 災害時の安全性 | 3.8 | 33.7 | 41.9 | 15.6 | 5.0 |
| ク 風紀や治安 | 5.8 | 52.8 | 30.2 | 6.8 | 4.3 |
| ケ 景観や街並み | 4.6 | 44.5 | 37.0 | 10.7 | 3.3 |
| コ 騒音や大気汚染 | 5.8 | 33.5 | 38.0 | 19.3 | 3.4 |
| サ ごみ出しやリサイクル | 11.1 | 60.6 | 20.0 | 5.7 | 2.7 |
| シ 全体としての住みやすさ | 13.6 | 66.5 | 15.8 | 2.0 | 2.1 |

【 定住性 】

問 23 あなたは、中野区にお住まいになって何年になりますか。(1 つに)

n=1,012

| | |
|------------------|------|
| 1 2年未満 | 9.6 |
| 2 2年～5年未満 | 14.9 |
| 3 5年～10年未満 | 13.5 |
| 4 10年～20年未満 | 13.0 |
| 5 20年～30年未満 | 13.8 |
| 6 30年以上 | 20.8 |
| 7 生まれてからずっと住んでいる | 13.7 |
| 無回答 | 0.5 |

問 24 これからも引き続いて中野区にお住まいになりますか。(1 つに)

n=1,012

| | |
|------------------|------|
| 1 ずっと住み続けるつもり | 28.2 |
| 2 今のところは住み続けるつもり | 50.7 |
| 3 いずれ転出するつもり | 10.7 |
| 4 近いうちに転出するつもり | 3.2 |
| 5 わからない | 6.6 |
| 無回答 | 0.7 |

【問 24 で 1、2 に をつけた方（住み続けるつもりの方）に】

問 24 - 1 あなたが中野区に住み続ける主な理由は何ですか（3つ以内に ）

n=798

| | | |
|----|---------------------------|------|
| 1 | 自分の家（土地）があるから | 58.8 |
| 2 | 家賃（地代）が安いから | 7.3 |
| 3 | 通勤・通学に便利だから | 39.2 |
| 4 | 買い物に便利だから | 26.6 |
| 5 | 子育てしやすいから | 1.6 |
| 6 | 仕事や商売の関係で | 10.9 |
| 7 | 地域での人間関係が良いから | 6.9 |
| 8 | 周囲の環境が良いから | 10.9 |
| 9 | まちの雰囲気が好きだから | 11.2 |
| 10 | 親や子どもなど、親族が近く（または一緒）にいるから | 16.3 |
| 11 | 住宅に満足しているから | 7.0 |
| 12 | 物価が安いから | 2.1 |
| 13 | 土地になじみや愛着があるから | 23.2 |
| 14 | その他（具体的に ） | 2.3 |
| 15 | 特に理由はない | 3.1 |
| | 無回答 | 0.1 |

【問 24 で 3、4 に をつけた方（転出するつもりの方）に】

問 24 - 2 あなたが中野区から転出する主な理由は何ですか（3つ以内に ）

n=140

| | | |
|----|-----------------------------|------|
| 1 | 自分の家（土地）でないから | 41.4 |
| 2 | 家賃（地代）が高いから | 30.0 |
| 3 | 通勤・通学に不便だから | 11.4 |
| 4 | 買い物に不便だから | 2.9 |
| 5 | 子育てしにくいから | 7.1 |
| 6 | 仕事や商売の関係で | 22.1 |
| 7 | 地域での人間関係が悪いから | 2.9 |
| 8 | 周囲の環境が悪いから | 10.7 |
| 9 | まちの雰囲気が嫌いだから | 5.7 |
| 10 | 親や子どもなど、親族の近く（または一緒）に住みたいから | 12.9 |
| 11 | 住宅に不満をもっているから | 14.3 |
| 12 | 物価が高いから | 6.4 |
| 13 | 土地になじみや愛着がないから | 5.0 |
| 14 | その他（具体的に ） | 20.0 |
| 15 | 特に理由はない | 2.1 |
| | 無回答 | 0.7 |

【 「新しい中野をつくる10か年計画」に関する設問 】

区は、区政運営の基本計画である「新しい中野をつくる10か年計画」に基づき、仕事を進めています。この計画では、項目ごとに10年後の達成すべき目標を定めています。また、区はこの目標に向けて、毎年、区の仕事の評価し、見直しをしています。

次の設問は、この仕事の見直しに活かします。ご協力をお願いします。

問25 区では誰もが気持ちよく利用できる区役所を目標としています。

あなたは、過去1年くらいの間に区役所本庁舎の窓口を利用したことがありますか。

n=1,012

| | | |
|---|-----|------|
| 1 | ある | 56.0 |
| 2 | ない | 43.2 |
| | 無回答 | 0.8 |

【問25で「1 ある」に つけた方に】

問25-1 その時の職員の対応はいかがでしたか。(1つに)

n=567

| | | | | | |
|---|-------|------|---|-------|-----|
| 1 | 非常に良い | 7.4 | 4 | 悪い | 5.6 |
| 2 | 良い | 37.2 | 5 | 非常に悪い | 1.8 |
| 3 | 普通 | 47.8 | | 無回答 | 0.2 |

問26 あなたは、過去1年くらいの間に区役所本庁舎に電話をかけたことがありますか。

n=1,012

| | | |
|---|-----|------|
| 1 | ある | 37.2 |
| 2 | ない | 61.5 |
| | 無回答 | 1.4 |

【問26で「1 ある」に つけた方に】

問26-1 その時の職員の対応はいかがでしたか。(1つに)

n=376

| | | | | | |
|---|-------|------|---|-------|-----|
| 1 | 非常に良い | 8.8 | 4 | 悪い | 6.4 |
| 2 | 良い | 32.4 | 5 | 非常に悪い | 2.7 |
| 3 | 普通 | 49.7 | | | |

問 27 区では、安全で快適な住環境づくりを目標にしています。

あなたは、現在のお住まいにどの程度満足していますか。項目ごとにお答えください。

(1つずつ)

n=1,012

| | 満足 | まあ満足 | やや不満 | 不満 | 無回答 |
|-----------------|------|------|------|------|-----|
| ア 住宅の広さ、部屋数 | 19.6 | 37.5 | 24.5 | 15.0 | 3.4 |
| イ 増改築・修繕のしやすさ | 6.2 | 28.4 | 35.1 | 20.8 | 9.6 |
| ウ 耐震性や耐火性 | 9.9 | 35.0 | 30.2 | 18.4 | 6.5 |
| エ 防音性(音の漏れ具合) | 8.3 | 33.5 | 30.4 | 21.9 | 5.8 |
| オ 庭やベランダなどの外部空間 | 9.0 | 29.6 | 33.7 | 21.2 | 6.4 |
| カ 日当たりや風通し | 18.3 | 38.2 | 22.2 | 16.1 | 5.1 |
| キ 総合的にみて | 10.1 | 45.3 | 28.9 | 10.8 | 5.0 |

問 28 区は、性別による差別をなくし、男女が参画した立案や決定がされる社会を目標にしています。

あなたは、例えば男は仕事、女は家庭というような性別役割分業の考え方をなくしていくべきだと考えますか。(1つに)

n=1,012

| | | | |
|-------------|------|-------------|------|
| 1 そう思う | 32.1 | 4 そう思わない | 6.4 |
| 2 ある程度そう思う | 31.6 | 5 どちらともいえない | 16.2 |
| 3 あまりそう思わない | 12.5 | 無回答 | 1.2 |

問 29 区は、全ての人に多様な働き方が選択できる社会を目標にしています。

民間企業の中には一人あたりの労働時間を短くして、仕事を分かち合うワークシェアリングを導入するところも出始めています。あなたは、このような方法を用いて男女が多様な働き方ができるようになるべきだと思いますか。(1つに)

n=1,012

| | | | |
|----------|------|-------------|------|
| 1 そう思う | 44.4 | 3 どちらともいえない | 31.6 |
| 2 そう思わない | 7.2 | 4 わからない | 15.1 |
| | | 無回答 | 1.7 |

問 30 区は区内各所で防災体制の整備、備蓄物資の確保などが進み、まちの防災機能が高まることを目標にしています。

あなたのお宅では、地震やそれによる火災が起こったときのために、どのような備えをしていますか。(いくつでも)

| | n=1,012 |
|---------------------------|---------|
| 1 消火器 | 37.7 |
| 2 懐中電灯などの非常用照明 | 68.8 |
| 3 携帯ラジオと乾電池 | 51.2 |
| 4 食料 | 29.5 |
| 5 飲料水 | 40.8 |
| 6 簡易トイレ | 9.0 |
| 7 救急医療品・衛生用品 | 22.7 |
| 8 預金通帳などの貴重品の災害時に備えた保管 | 19.8 |
| 9 風呂水などの消火・生活水の確保 | 18.9 |
| 10 家具の転倒防止・ガラス飛散防止 | 18.0 |
| 11 家族で避難場所や連絡方法などを話し合っている | 20.1 |
| 12 その他(具体的に) | 0.4 |
| 13 備えていない | 16.0 |
| 無回答 | 2.3 |

問 31 区では多くの区民の意見・要望を区政運営に活かすことを目標にしています。

あなたは、現在、区民の意見・要望などが区政に反映されていると思いますか。(1つに)

| | n=1,012 |
|--------------------|---------|
| 1 反映されている | 2.8 |
| 2 どちらかといえば反映されている | 11.9 |
| 3 どちらかといえば反映されていない | 15.6 |
| 4 反映されていない | 11.9 |
| 5 わからない | 55.8 |
| 無回答 | 2.1 |

問 32 区は、区民のみなさんに、税金を納得したうえで負担していただくことを目標としています。

区民のみなさんが区に納めている住民税は、区民サービスのための基本的な財源です。あなたは、住民税がどのような用途に使われているか知っていますか。(1つに)

| | n=1,012 |
|------------|---------|
| 1 知っている | 5.2 |
| 2 多少は知っている | 25.3 |
| 3 ほとんど知らない | 34.2 |
| 4 知らない | 33.2 |
| 無回答 | 2.1 |

フェイスシート

統計的に処理するために、あなた自身とご家族についてお聞きします。

F 1 あなたの性別はどちらですか。

n=1,012

| | |
|-----|------|
| 1 男 | 44.3 |
| 2 女 | 55.7 |

F 2 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。

n=1,012

| | | | |
|-----------|------|------------|------|
| 1 20～24 歳 | 5.8 | 7 50～54 歳 | 8.2 |
| 2 25～29 歳 | 9.2 | 8 55～59 歳 | 9.4 |
| 3 30～34 歳 | 11.6 | 9 60～64 歳 | 6.6 |
| 4 35～39 歳 | 10.7 | 10 65～69 歳 | 7.1 |
| 5 40～44 歳 | 10.0 | 11 70 歳以上 | 12.2 |
| 6 45～49 歳 | 9.3 | | |

F 3 あなたのご職業は、次のどれにあたりますか。(主なもの1つに)

n=1,012

| | | | |
|----------------|------|--------------|------|
| 1 自営業 | 11.1 | 5 家事専業 | 13.0 |
| 2 常勤の勤め人 | 40.6 | 6 無職 | 14.0 |
| 3 パート・臨時・アルバイト | 14.0 | 7 その他(具体的に) | 3.0 |
| 4 学生 | 2.5 | 無回答 | 1.8 |

【F 3で1、2、3、4に をつけた方に】

F 3 - 1 勤務先または通学先は、どちらですか。(1つに)

n=690

| | | | |
|-----------|------|--------------|-----|
| 1 自宅と同じ | 6.5 | 5 東京都以外 | 4.8 |
| 2 中野区内 | 17.2 | 6 その他(具体的に) | 0.4 |
| 3 中野区以外の区 | 63.6 | 7 特に決まっていない | 2.3 |
| 4 多摩地区 | 4.3 | 無回答 | 0.7 |

F 4 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(1つに)

n=1,012

| | | |
|----|-----------------------------------|------|
| 1 | 一戸建ての家(土地・家とも自分または家族のもの) | 39.3 |
| 2 | 一戸建ての家(土地は借地で家が自分または家族のもの) | 5.4 |
| 3 | 一戸建ての借家 | 2.2 |
| 4 | 分譲マンション | 12.3 |
| 5 | 民間の賃貸マンション(木造・モルタル造以外の賃貸アパート) | 19.5 |
| 6 | 民間の木造・モルタル造のアパート | 10.5 |
| 7 | 公団・公社の賃貸住宅 | 1.3 |
| 8 | 公営住宅など(都営・区営住宅、区の高齢者アパート・障害者アパート) | 2.6 |
| 9 | 給与住宅など(寮、社宅、公務員住宅) | 3.6 |
| 10 | 間借り、住み込み | 0.8 |
| 11 | その他(具体的に) | 1.0 |
| | 無回答 | 1.7 |

F 5 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。(1つに)

n=1,012

| | | | |
|----------------------------|----|------------------------------|------|
| 単身者である | 1 | 20~39歳 | 23.1 |
| | 2 | 40~64歳 | 11.0 |
| | 3 | 65歳以上 | 3.8 |
| 配偶者がいて 子どもがいない | 4 | 20~39歳 | 5.7 |
| | 5 | 40~64歳 | 4.6 |
| | 6 | 65歳以上 | 2.0 |
| 子どもがいる (同居・別居を 問わない) | 7 | 一番上の子どもが小学校入学前 | 6.0 |
| | 8 | 一番上の子どもが小学生~中学生 | 8.0 |
| | 9 | 一番上の子どもが高校生~大学生 | 6.5 |
| | 10 | あなたが64歳以下で、一番上の子どもが学校を卒業している | 15.1 |
| | 11 | あなたが65歳以上で、一番上の子どもが学校を卒業している | 12.5 |
| | | 無回答 | 1.6 |

F 6 現在、いっしょにお住まいのご家族は、あなたを含め、次のどれにあたりますか。
(1つに)

n=1,012

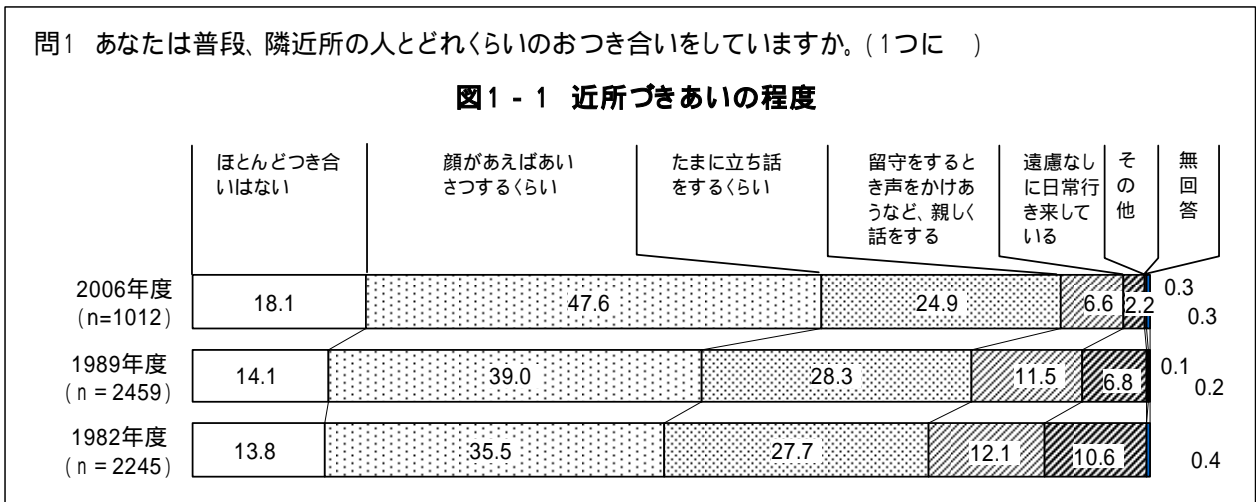
| | | |
|---|-----------------|------|
| 1 | ひとり暮らし | 22.8 |
| 2 | 夫婦のみ | 19.4 |
| 3 | 親と子ども(二世世代家族) | 45.8 |
| 4 | 親と子どもと孫(三世世代家族) | 6.1 |
| 5 | その他(具体的に) | 4.4 |
| | 無回答 | 1.5 |

調査結果の詳細

- 1．コミュニティ（地域社会）
- 2．働くこと
- 3．生活意識
- 4．食の安全・安心
- 5．自転車の利用
- 6．施策への要望
- 7．生活環境の満足度
- 8．定住意向
- 9．「新しい中野をつくる10か年計画」に関する事項

1. コミュニティ(地域社会)

(1) 近所づきあいの程度 …… 約半数はあいさつ程度、親しいつきあいは1割未満



隣近所とのつきあいの程度を尋ねたところ、「顔があえばあいさつをするくらい」が47.6%で最も高く、「留守をするとき声をかけあうなど、親しく話をする」(6.6%)と「遠慮なしに日常行き来している」(2.2%)を合わせた『親しいつきあい』をしている人は、8.8%で1割に満たなかった。

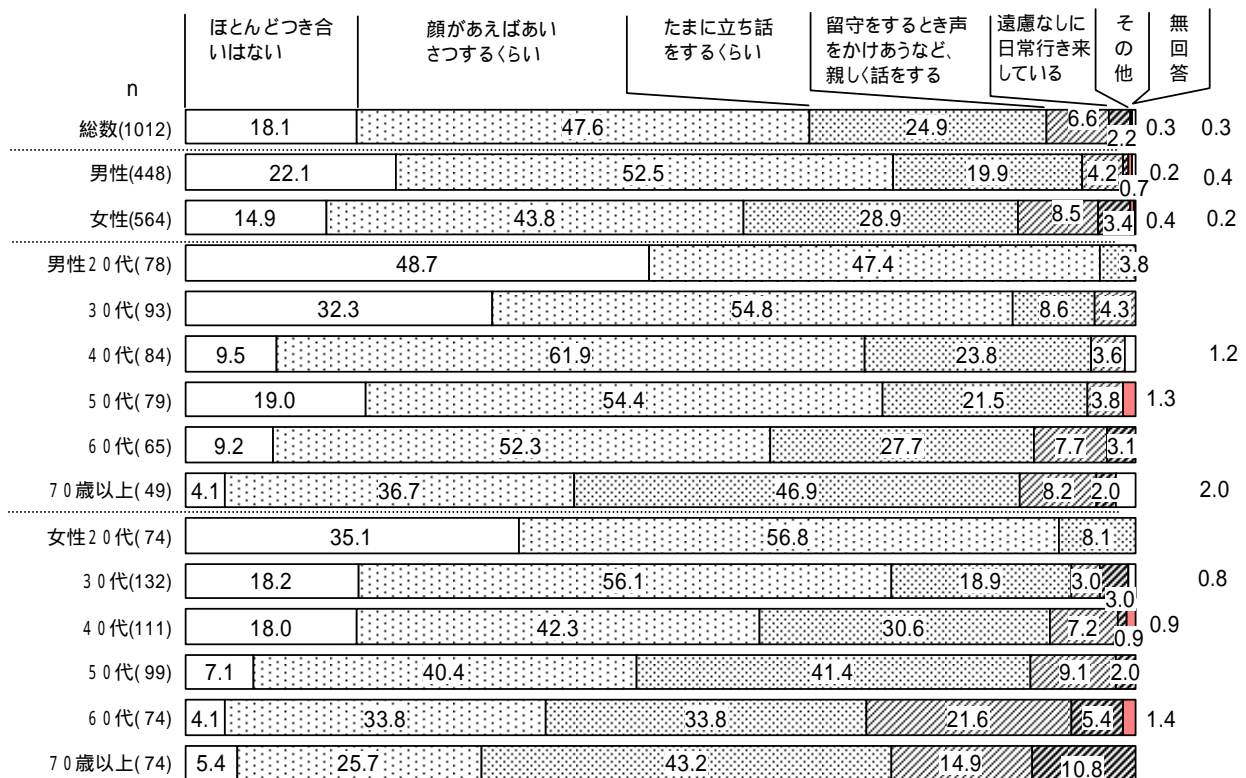
過去の世論調査(調査方法は個別面接聴取)と比べると、「ほとんどつき合いはない」「顔があえばあいさつをするくらい」が増加し、『親しいつきあい』が減少している。特に「遠慮なしに日常行き来している」は、24年前(1982年度)には10.6%だったものが2.2%に激減している。

性・年代別でみると、「ほとんどつき合いはない」「顔があえばあいさつをするくらい」は、全体では女性よりも男性の方が高い。逆に「たまに立ち話をするくらい」「留守をするとき声をかけあうなど、親しく話をする」「遠慮なしに日常行き来している」は女性が男性を上回る。

男性20代の約半数が「ほとんどつき合いはない」と答え、男性30～60代と女性20代・30代では「顔があえばあいさつをするくらい」が半数を超えている。

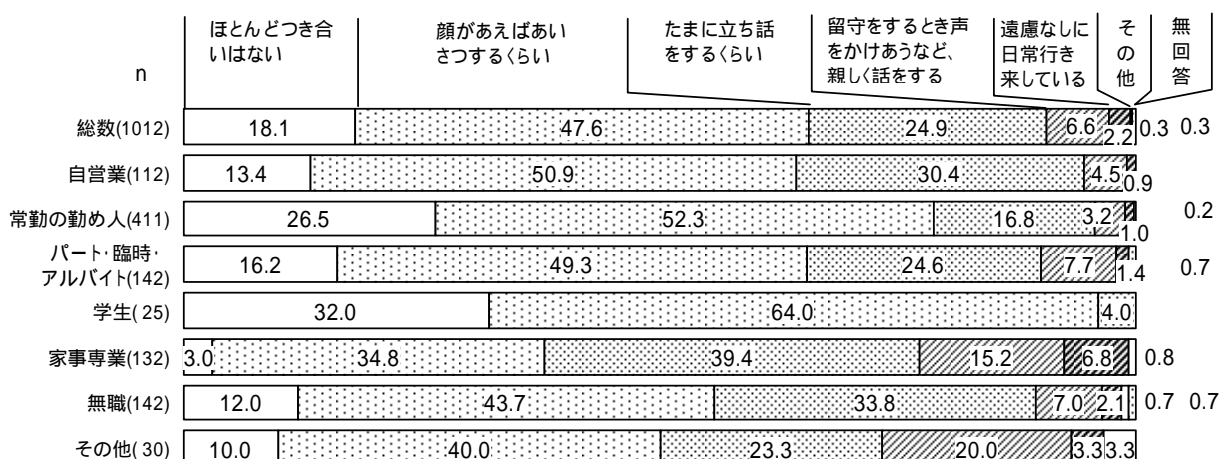
「留守をするとき声をかけあうなど、親しく話をする」と「遠慮なしに日常行き来している」を合わせた『親しいつきあい』は男女とも60代以降で急増するが、女性60代27.0%・70歳以上25.7%に対し、男性は60代10.8%・70歳以上10.2%といずれの年代も女性の半分以下となっている。

図1 - 2 近所づきあいの程度 - 性・年代別 -



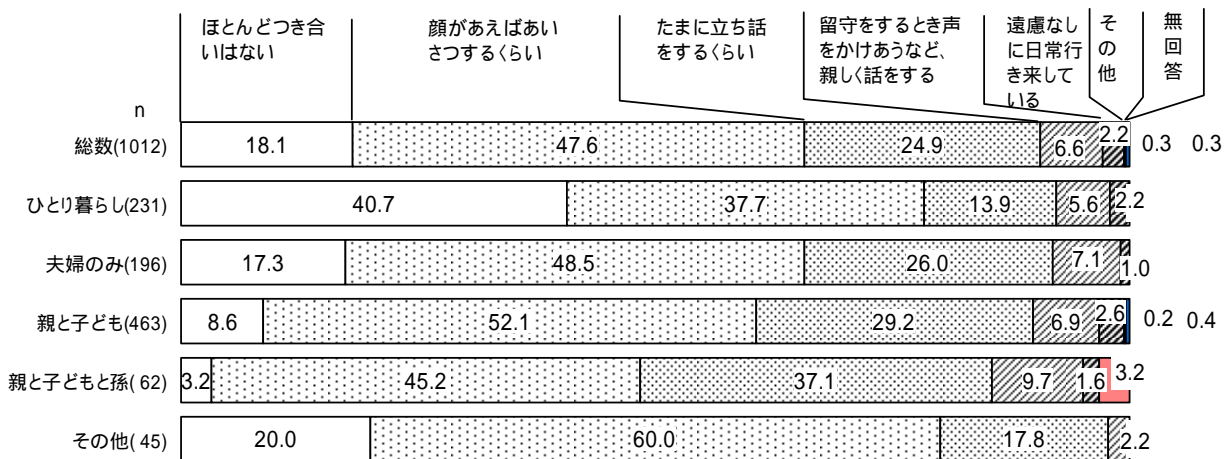
職業別では、「ほとんどつき合いはない」と「顔があえばあいさつをするくらい」は学生と常勤の勤め人で割合が高い。一方、『親しいつきあい』はほとんどの職業で1割に満たないが、家事専業で22.0%となっている。

図1 - 3 近所づきあいの程度 - 職業別 -



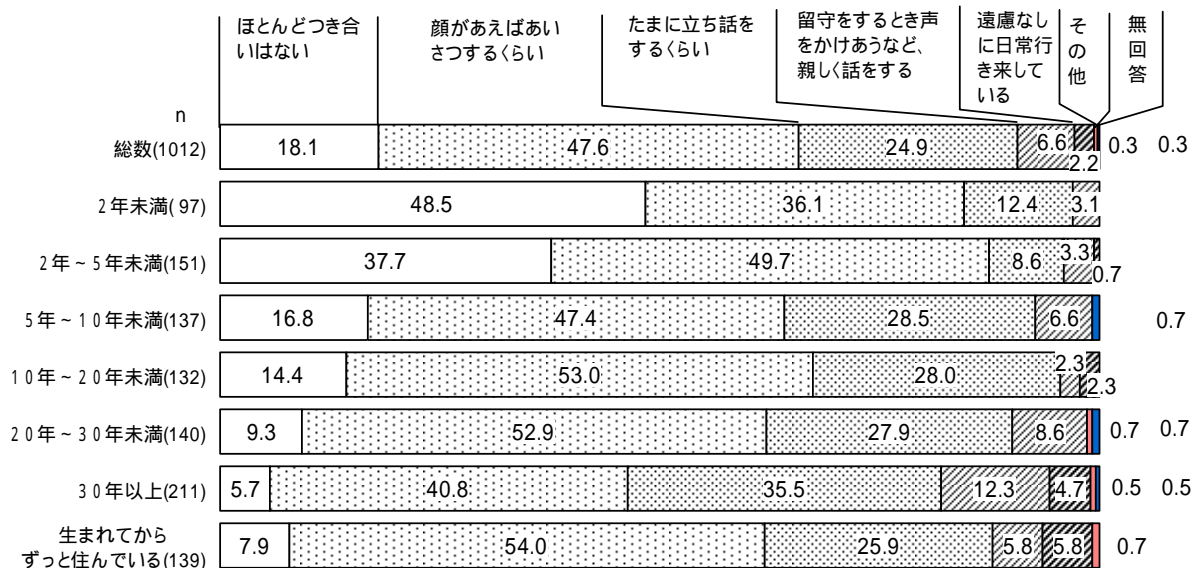
家族形態別で見ると、ひとり暮らし世帯は「ほとんどつきあいはない」(40.7%)、「顔があえばあいさつをするくらい」(37.7%)であり、8割近くの人が隣近所とのつきあいが希薄となっている。多世代家族になるにしたがい、立ち話以上のつきあいをしている人の割合が高くなる。

図1 - 4 近所づきあいの程度 - 家族形態別 -



居住年数別で見ると、2年未満では半数近くが「ほとんどつきあいはない」と答えている。「ほとんどつきあいはない」は、居住年数が長くなるにつれ減り、30年以上では5.7%となっている。「たまに立ち話をするくらい」は5年未満までは1割程度であるが、5年以降になると急増し、3割近くになる。一方、『親しいつきあい』は、30年以上でも17.0%にとどまっている。

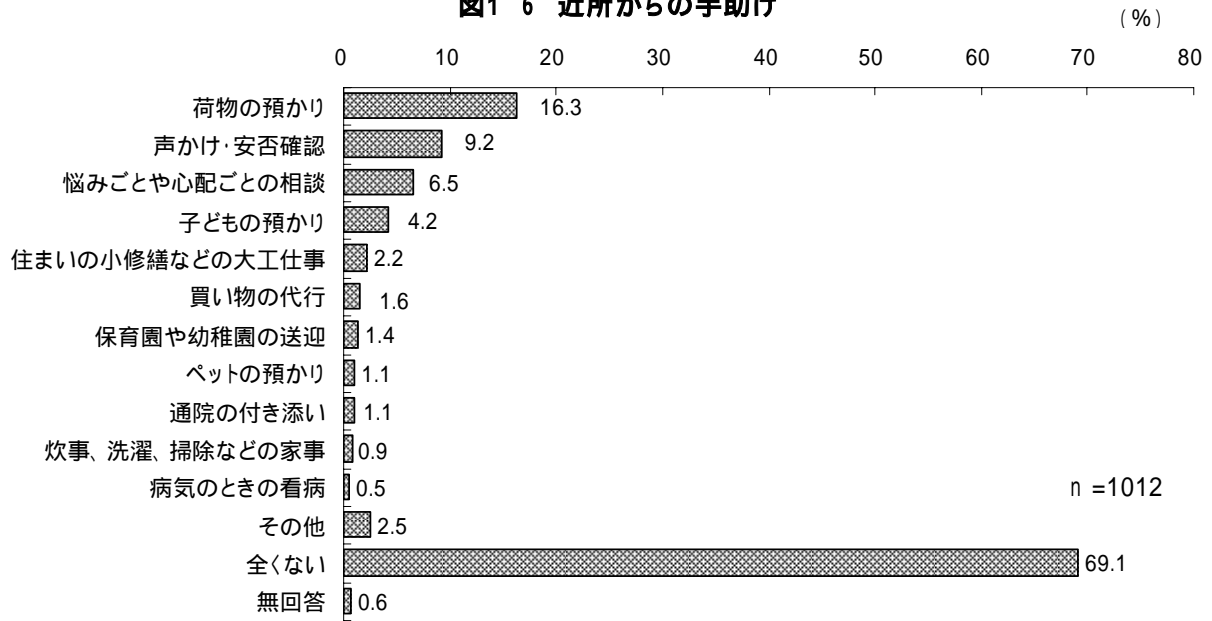
図1 - 5 近所づきあいの程度 - 居住年数別 -



(2)近所からの手助け …… 「全くない」が7割。「荷物の預かり」16.3%

問2 あなたは隣近所の人から、次のような手助けや手伝いをしてもらったことがありますか。
(いくつでも)

図1 6 近所からの手助け



隣近所の人に手助けや手伝いをしてもらったことがあるか尋ねたところ、7割が「全くない」と答えている。手助けしてもらった中で最も割合が高いのは「荷物の預かり」で16.3%、他の項目はいずれも1割に満たない結果となった。

つきあいの程度による手助けの状況をみるため、問1と問2をクロス集計した。

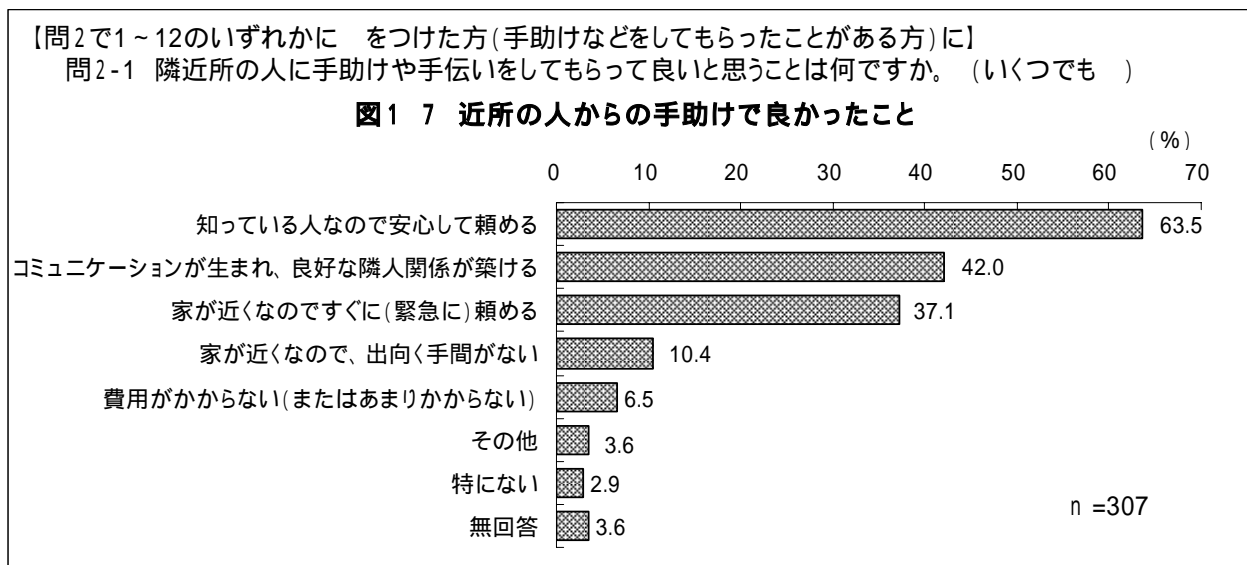
親しいつきあい(「留守をすると声をかけあうなど、親しく話をする」「遠慮なしに日常行き来している」)をしている人は、ほとんどの人が近所からの手助けを受けている。「たまに立ち話をするくらい」では半数が「全くない」と答えている。「顔があえばあいさつするくらい」ではその比率が8割近くになっている。

手助けの内容は、『親しいつきあい』では「荷物の預かり」の他、「声かけ・安否確認」や「悩みごとや心配ごとの相談」などの割合も高い。

表1-1 近所からの手助け - つきあいの程度別 -

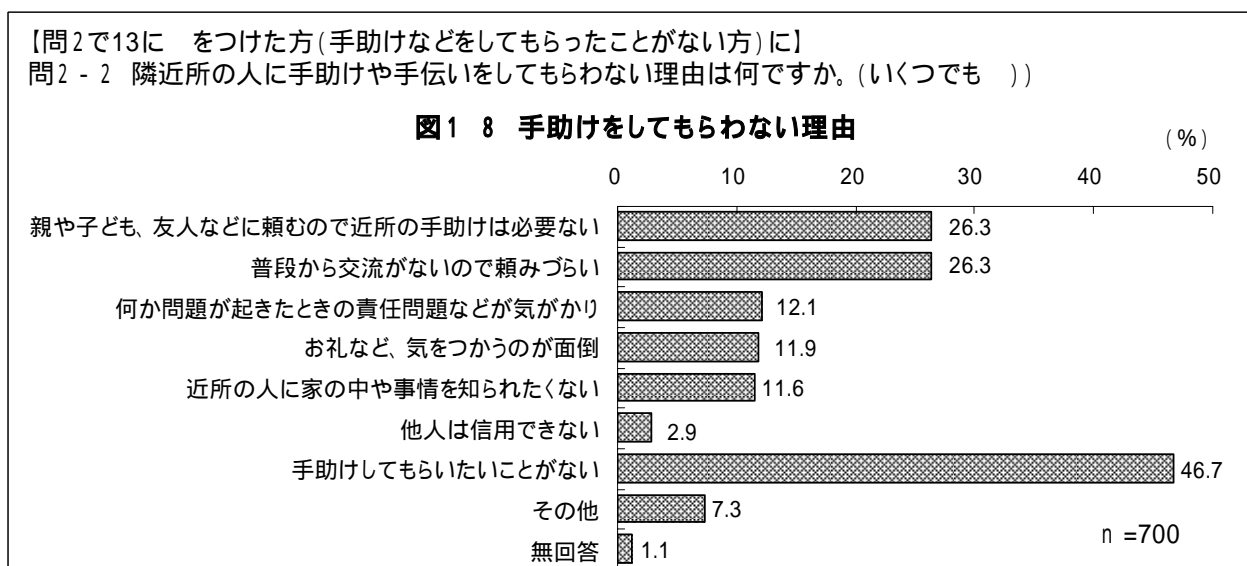
| | | 問2 あなたは隣近所の人から、次のような手助けや手伝いをしてもらったことがありますか。(いくつでも) | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------------------|--|-------------|---------|---------|---------|-------------|----------|--------|---------------|---------|----------|-------------|----------|-------------|------|-----|
| | | n | 荷物の預かり | ペットの預かり | 子どもの預かり | の送迎や幼稚園 | 保育園や幼稚園 | 声かけ・安否確認 | 買い物の代行 | 炊事、洗濯、掃除などの家事 | 通院の付き添い | 病気のときの看病 | 住まのいの大工修繕 | ご悩みごとや心配 | その他 | 全くない | 無回答 |
| お問 つきあ 合な いた は普 段、 隣 所 の 人 と ど れ く ら い の | 総数 | 1012 | 16.3 | 1.1 | 4.2 | 1.4 | 9.2 | 1.6 | 0.9 | 1.1 | 0.5 | 2.2 | 6.5 | 2.5 | 69.1 | 0.6 | |
| | ほとんどつき合いはない | 183 | 1.1 | - | - | - | 0.5 | - | - | - | - | 0.5 | 0.5 | - | 97.3 | - | |
| | 顔があえばあいさつするくらい | 482 | 10.8 | 0.2 | 1.9 | 0.8 | 5.0 | 0.8 | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.8 | 2.9 | 1.5 | 79.5 | 0.2 | |
| | たまに立ち話をするくらい | 252 | 26.2 | 2.0 | 8.3 | 1.2 | 14.7 | 0.4 | - | 0.4 | - | 3.2 | 7.1 | 4.8 | 49.6 | 1.2 | |
| | 留守をするとき声をかけあうなど、親しく話をする | 67 | 46.3 | 4.5 | 14.9 | 6.0 | 28.4 | 4.5 | 3.0 | 6.0 | 3.0 | 13.4 | 29.9 | 7.5 | 13.4 | 1.5 | |
| | 遠慮なしに日常行き来している | 22 | 63.6 | 9.1 | 9.1 | 9.1 | 45.5 | 36.4 | 22.7 | 18.2 | 9.1 | - | 54.5 | 4.5 | 4.5 | - | |
| | その他 | 3 | - | - | 33.3 | 33.3 | 33.3 | - | - | - | - | - | 33.3 | - | 66.7 | - | |
| | 無回答 | 3 | - | - | - | - | 33.3 | - | - | - | - | - | - | - | 33.3 | 33.3 | |

(3) 近所の人からの手助けで良かったこと …… 「安心して頼める」が6割を超えトップ



隣近所から手助けや手伝いをしてもらったことのある人(307人)に、隣近所の人に手助けや手伝いをしてもらって良いと思うことを複数回答(いくつでも)で尋ねた。結果は、「知っている人なので安心して頼める」が63.5%でトップ、「コミュニケーションが生まれ、良好な隣人関係が築ける」42.0%、「家が近くなのですぐに(緊急に)頼める」37.1%が続いた。

(4) 近所の人に手助けをしてもらわない理由 …… 「手助けしてもらいたいことがない」が半数近く

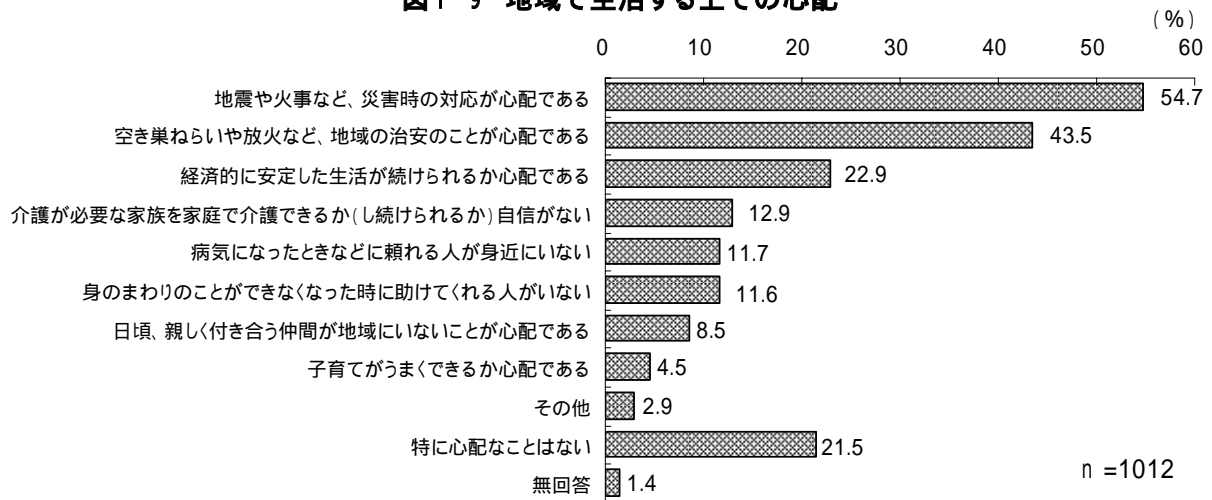


隣近所の人に手助けや手伝いをしてもらったことがない人にその理由を複数回答(いくつでも)で尋ねたところ、「手助けしてもらいたいことがない」(46.7%)、「親や子ども、友人などに頼むので近所の手助けは必要ない」(26.3%)など、隣近所の手助けを必要としない理由を挙げる人の割合が高かった。また、「普段から交流がないので頼みづらい」(26.3%)の割合も高い。

(5) 地域で生活する上での心配 …… 多いのは「災害時の対応」と「地域の治安」

問3 あなたが今後もこの地域で生活していく上で、心配していることは何ですか。(いくつでも)

図1 9 地域で生活する上での心配



地域で生活していく上で心配なことを複数回答(いくつでも)で尋ねたところ、「災害時の対応」(54.7%)と「地域の治安」(43.5%)の割合が特に高かった。

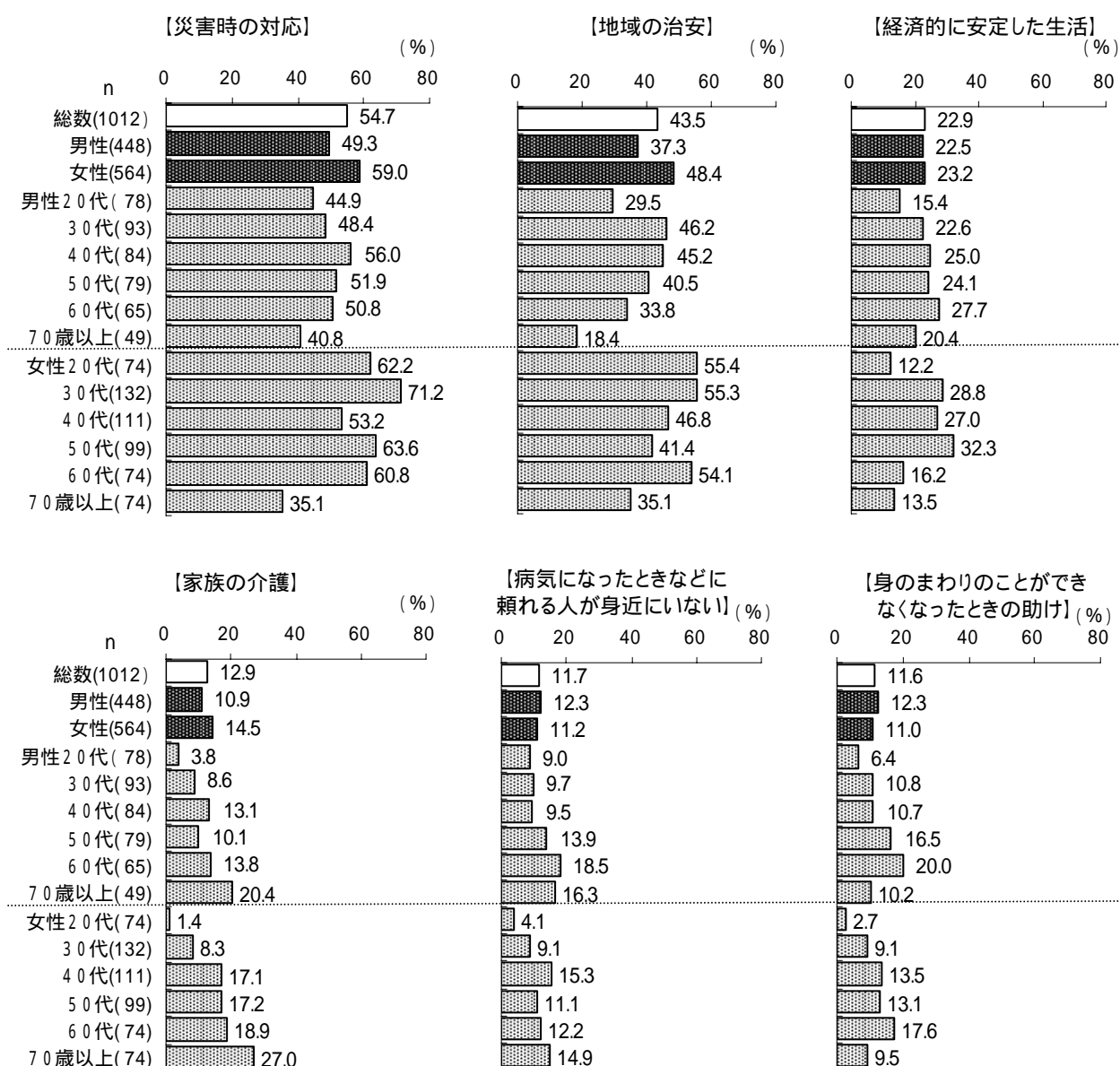
「特に心配なことはない」と答えた人は2割程度だった。

性・年代別でみると、「災害時の対応」は男女ともすべての年代でトップとなっている。「地域の治安」はほとんどの年代で「災害時の対応」に次いで高い割合となっているが、男性 70 歳以上だけが 18.4%と低い。

「経済的に安定した生活」は、男性の場合、20 代（15.4%）を除き、すべての年代が 20% 台で差が少ないが、女性は 20 代（12.2%）・60 代（16.2%）・70 歳以上（13.5%）が低く、30 代～50 代が 30% 前後と高い。

「家族の介護」は男女とも年代が上がるにつれ、増える傾向にある。特に女性 70 歳以上は 27.0%と高い。

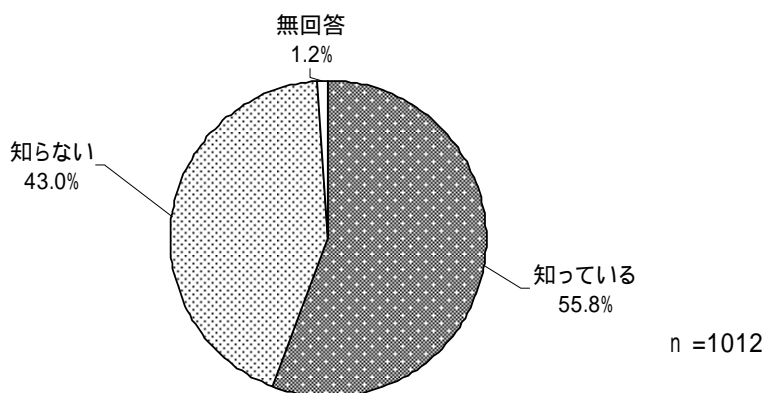
図1 - 10 地域で生活する上での心配 - 性・年代別 - (上位6項目)



(6)町会(または自治会)名の周知度 …… 「知っている」は5割半ば

問4 あなたが住んでいる地域にある町会(または自治会)の名称を知っていますか。

図1 11 町会(または自治会)名の周知度

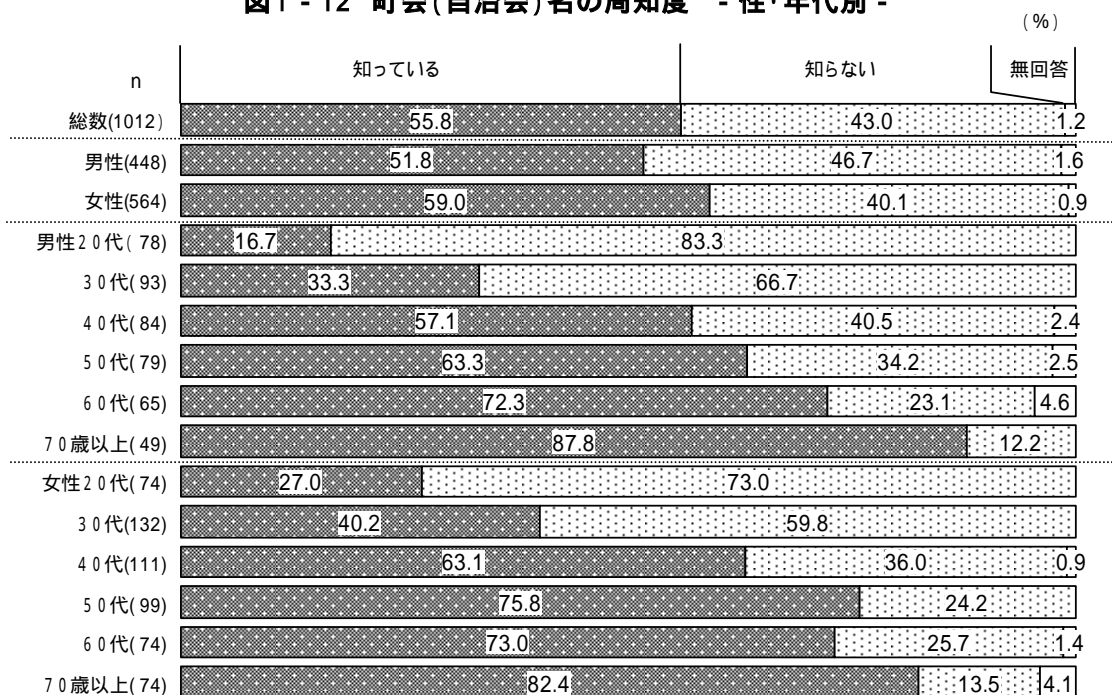


町会や自治会の名称を知っているか尋ねたところ、「知っている」は55.8%、「知らない」は43.0%だった。

性・年代別でみると、「知っている」は男性51.8%に対し、女性は59.0%と女性の方が高い。また、20～50代まではいずれの年代も女性の方が男性よりも「知っている」の割合が高く、60代でほぼ同率、70歳以上になると反対に男性が女性を上回る。

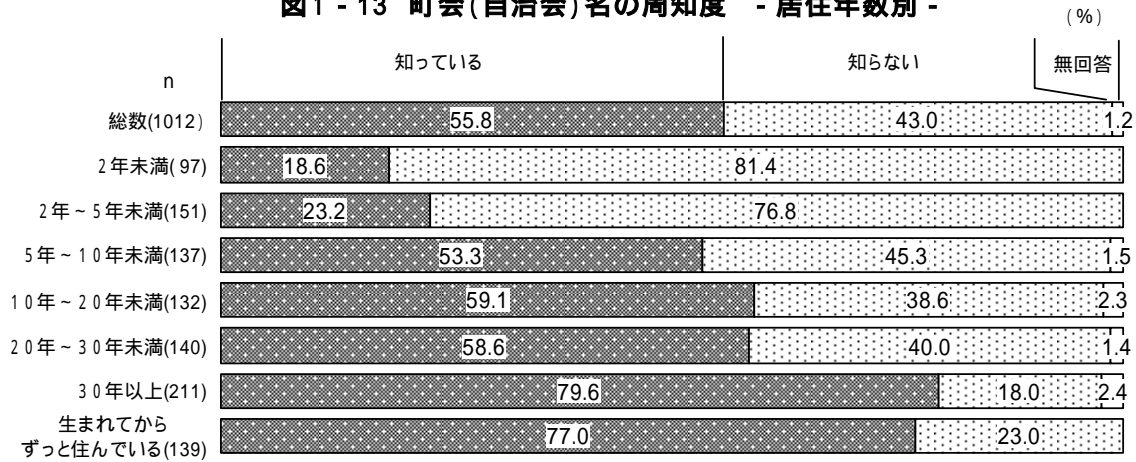
男女とも年代が上がるにつれ、「知っている」の割合が高くなる傾向があり、70歳以上では男性が87.8%、女性が82.4%となっている。

図1 - 12 町会(自治会)名の周知度 - 性・年代別 -



居住年数別にみると、「知っている」の割合は居住年数が長くなるほど高くなる傾向があり、5年以上で半数を超え、30年以上になると8割となる。

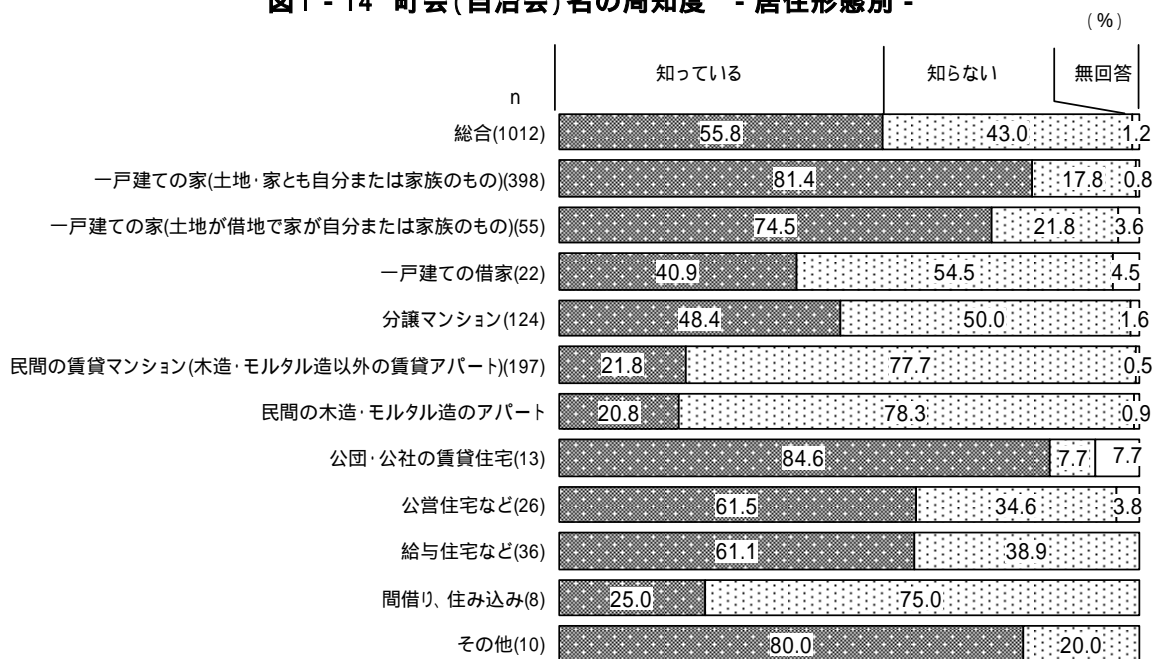
図1 - 13 町会(自治会)名の周知度 - 居住年数別 -



居住形態別でみると、一戸建ての持ち家に住んでいる人は「知っている」人の割合が81.4%、74.5%と高いが、持ち家でも分譲マンションに住んでいる人は半数程度にとどまっている。

賃貸マンションや賃貸アパートに住んでいる人は「知っている」人の割合が2割程度と低い。

図1 - 14 町会(自治会)名の周知度 - 居住形態別 -



(7)町会・自治会の活動 …… 知っているものは「回覧板」「リサイクル活動」「お祭り」。期待するものは「防犯活動」

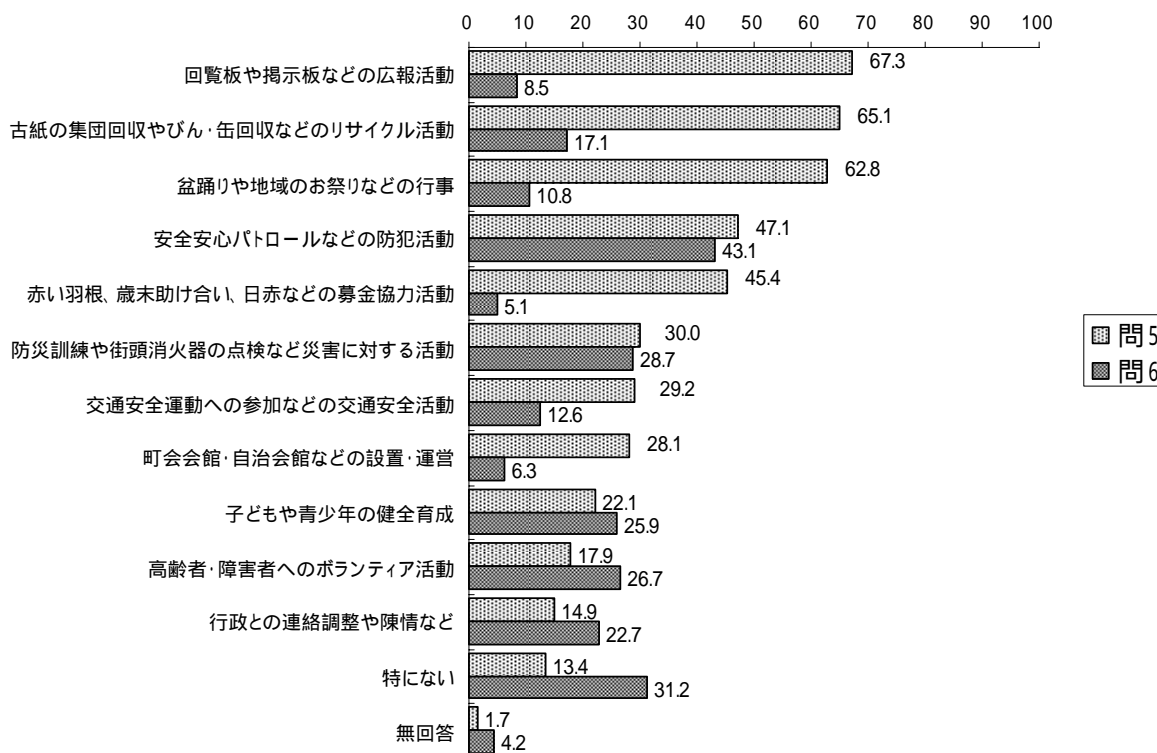
問5 町会・自治会は下表のような活動を行っています。

下表の中で、町会・自治会が行っていることを知っていたものがありましたら、表中の「回答欄」に をつけてください。(いくつでも)

問6 また、下表の中で、町会・自治会に期待するものがありましたら、表中の「回答欄」に をつけてください。(いくつでも)

図1 - 15 町会・自治会の活動

(%)



町会・自治会の活動について知っているものと期待するものについて、それぞれ複数回答(いくつでも)で尋ねた。

知っているものは「回覧板や掲示板などの広報活動」(67.3%)、「古紙の集団回収やびん・缶回収などのリサイクル活動」(65.1%)、「盆踊りや地域のお祭りなどの行事」(62.8%)などの割合が高い。一方、期待するものは「安全安心パトロールなどの防犯活動」(43.1%)、「防災訓練や街頭消火器の点検など災害に対する活動」(28.7%)、「高齢者・障害者へのボランティア活動」(26.7%)の順となっている。

「子どもや青少年の健全育成」「高齢者・障害者へのボランティア活動」「行政との連絡調整や陳情など」は、いずれも認知度は低い、「期待するもの」が「知っているもの」を上回っており、防犯活動、災害に対する活動に次いで期待度が高い。

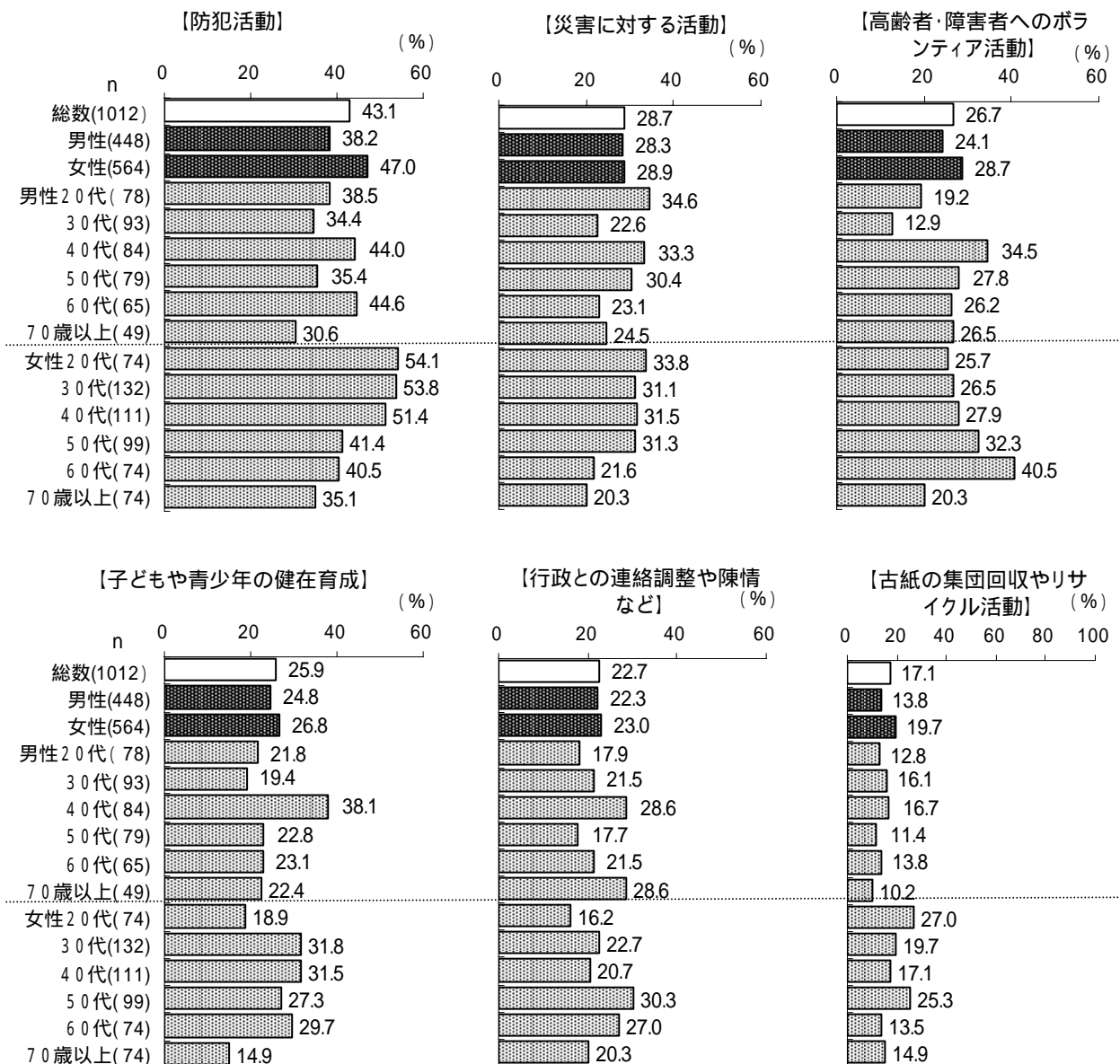
町会の活動について知っているものが「特にない」と答えた人は13.4%だった。

町会・自治会に期待するものを性・年代別にみると、「防犯活動」は男性に比べ女性の割合が高く、女性 20～40 代では 5 割を超えている。「災害に対する活動」は男女間で差異はみられず、年代による差も比較的少ないが、男性 20 代・40 代・50 代、女性 20～50 代が 3 割を超え高い。

「高齢者・障害者へのボランティア活動」は女性 60 代が 40.5% で最も高く、男性 40 代、女性 50 代でも 3 割を超え、高い割合となっている。「子どもや青少年の健全育成」は男性の場合、40 代が 38.1% で目立って高いが、それ以外の年代はいずれも 20% 前後で大差がない。一方、女性は 30～60 代が 30% 前後で比較的高く、20 代（18.9%）と 70 歳以上（14.9%）が他の年代に比べ低い。

「行政との連絡調整や陳情など」は男性 40 代・70 歳以上と女性 50 代・60 代が、「古紙の集団回収やリサイクル活動」は女性 20 代・50 代が他の年代に比べて高い割合となっている。

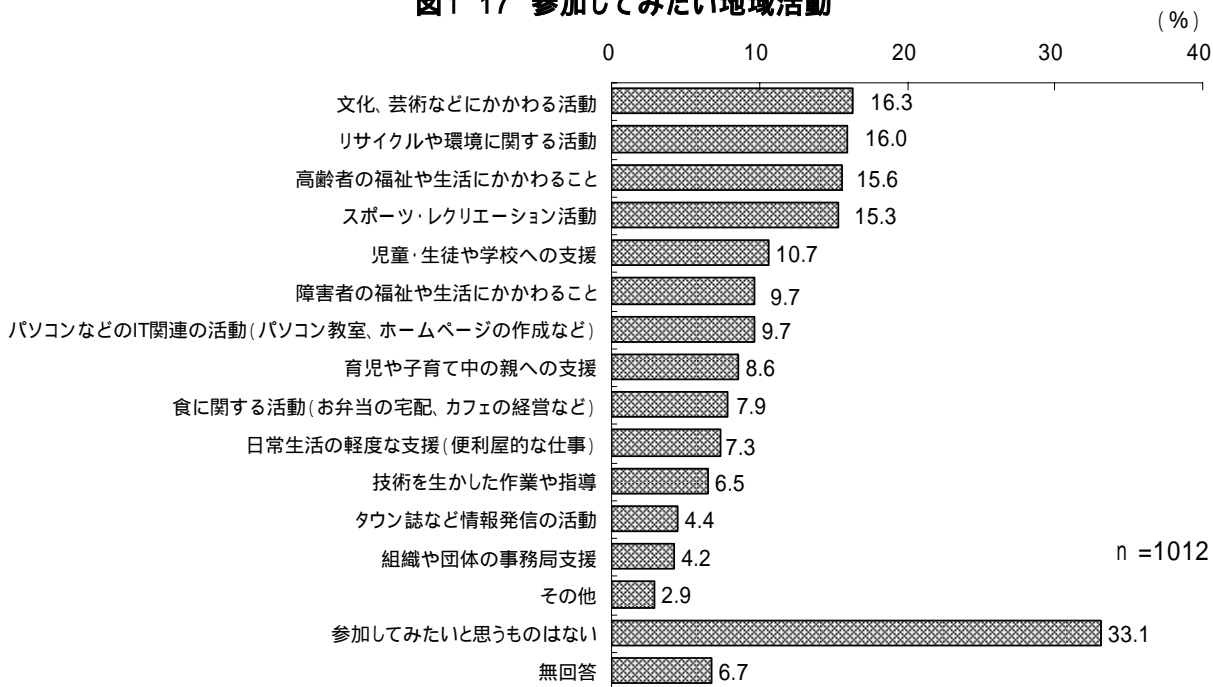
図1 - 16 町会・自治会の活動で期待するもの - 性・年代別 - (上位6項目)



(8) 参加してみたい地域活動 …… 6割の人が参加意向。参加してみたい活動は分散化

問7 地域での公益的な活動(ボランティア活動などの無償で行う活動の他、利益を得る活動も含む)で、あなたが今後、参加してみたいと思う(または参加している)活動はどのようなものですか。(いくつでも)

図1 17 参加してみたい地域活動



地域で参加してみたい(または参加している)公益的な活動について複数回答(いくつでも)で尋ねた。結果は、すべての項目が2割未満で突出した項目はなかったが、「文化、芸術などにかかわる活動」(16.3%)、「リサイクルや環境に関する活動」(16.0%)、「高齢者の福祉や生活にかかわること」(15.6%)、「スポーツ・レクリエーション活動」(15.3%)の割合が比較的高い。

「参加してみたいと思うものはない」と答えた人は3割程度となっている。

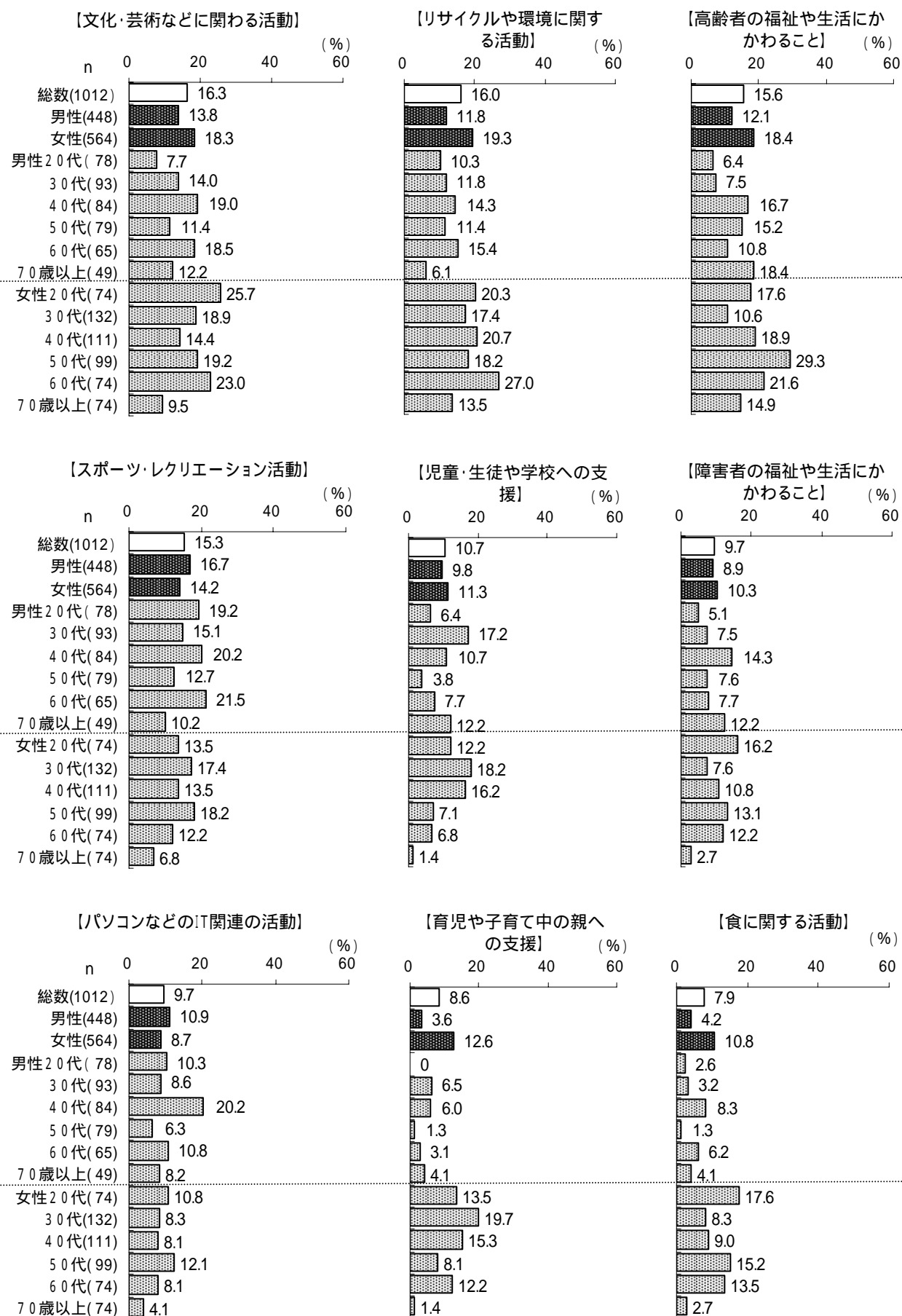
性・年代別でみると、参加意欲は、ほとんどの活動で女性が男性を上回っている。ただし、「スポーツ・レクリエーション活動」「パソコンなどのIT関連の活動」「日常生活の軽度な支援」は男性の方が高い。

「文化・芸術などに関わる活動」は女性20代(25.7%)・60代(23.0%)で高く、「リサイクルや環境に関する活動」は女性60代(27.0%)で高い。「高齢者の福祉や生活にかかわること」は女性50代(29.3%)、「障害者福祉や生活にかかわること」は女性20代(16.2%)が他の年代に比べて高い割合となっている。

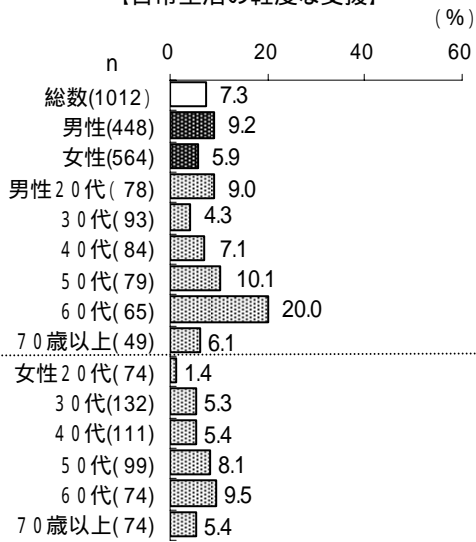
「児童・生徒や学校への支援」は男女の30代(各17.2%、18.2%)で高い。「育児や子育て中の親への支援」は男性3.6%に対し、女性12.6%と男女間での差が大きい。男性20代ではこの項目を挙げた人はいないが、女性20代では13.5%、女性30代で19.7%となっている。「パソコンなどのIT関連の活動」は男性40代(20.2%)が、「食に関する活動」は女性20代(17.6%)が、「日常生活の軽度な支援」は男性60代(20.0%)が他の年代に比べて高い。

また、「参加してみたいと思うものはない」の割合は、女性よりも男性の方が高く、特に男性20代は半数が「参加してみたいと思うものはない」と答えている。反対に割合が低いのは、女性50代(16.2%)・60代(17.6%)となっている。

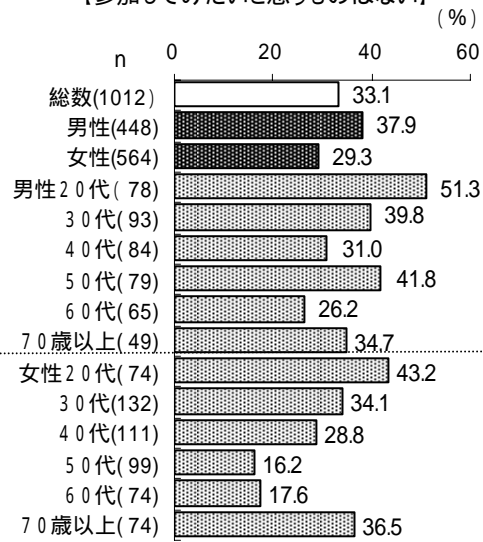
図1 - 18 参加してみたい地域活動 - 性・年代別 - (上位10項目と「参加してみたいと思うものはない」)



【日常生活の軽度な支援】

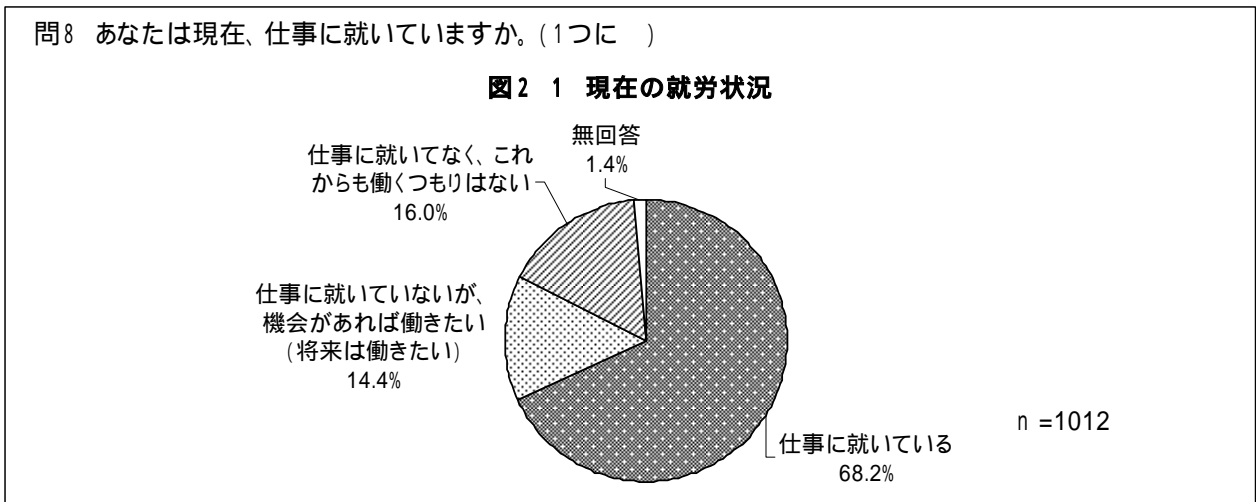


【参加してみたいと思うものはない】



2.働くこと

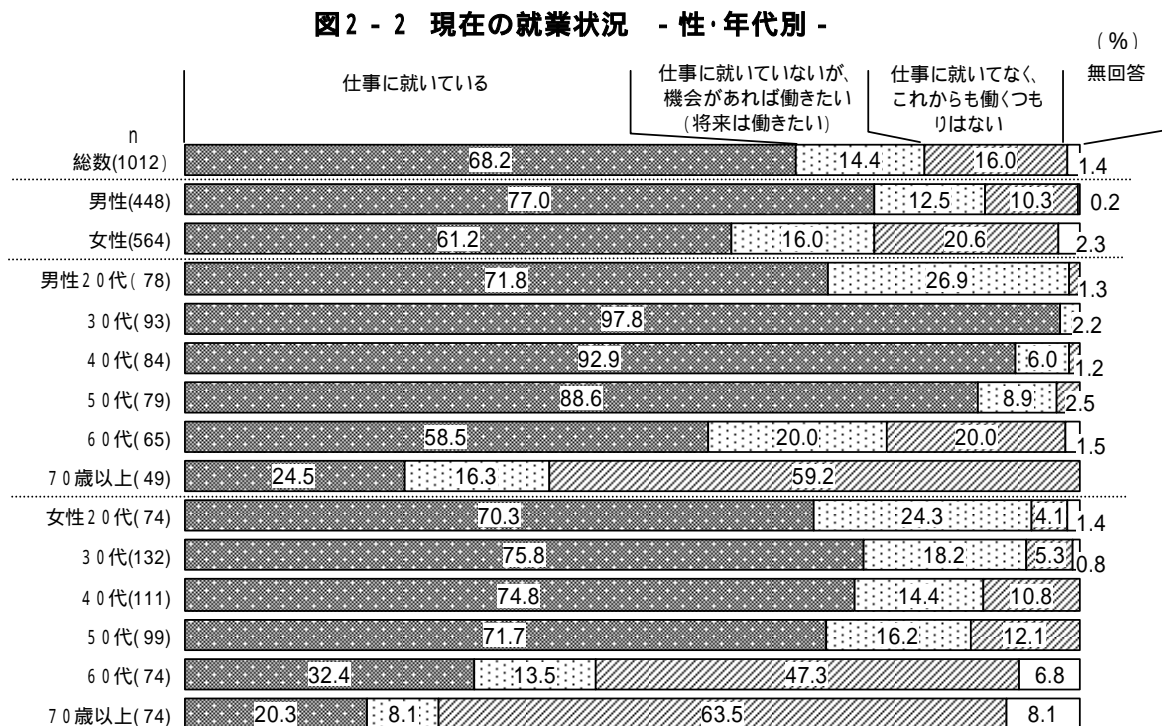
(1)現在の就労状況 …… 約7割が「仕事に就いている」



現在の就労状況について尋ねたところ、「仕事に就いている」は7割程度、「仕事に就いていないが、機会があれば働きたい(将来は働きたい)」と「仕事に就いてなく、これからは働くつもりはない」はそれぞれ1割半ばであった。

性・年代別でみると、「仕事に就いている」は20代では男女とも7割程度と差はないが、30代以降は男女間で開きがあり、特に60代は男性が58.5%に対し、女性が32.4%と差が大きい。

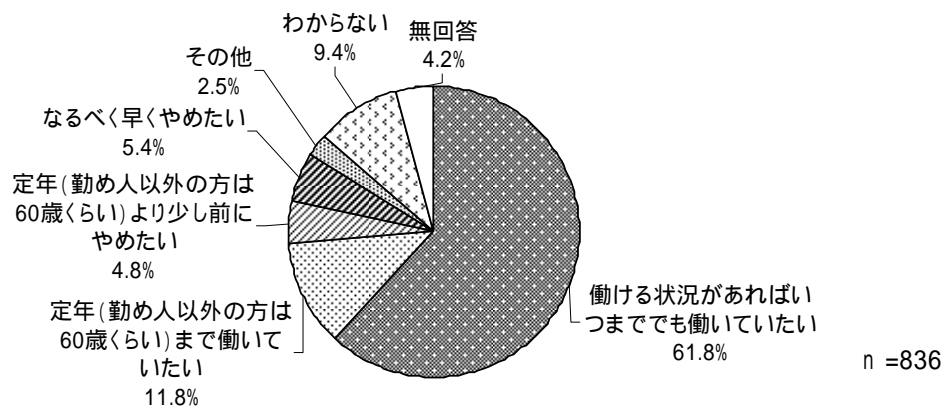
「仕事に就いている」と「仕事に就いていないが、機会があれば働きたい(将来は働きたい)」を合わせた『仕事に就いているか仕事に就く意向のある人』は、男性では20～50代で100%に近く(30代は100%)60代でも8割近い。一方、女性は20代と30代が9割を超えているが、年代が上がるにつれ低くなり、60代(45.9%)で激減する。



(2)いつまで働きたいか …… 6割が「いつまでも働いていたい」

【問8で1、2に をつけた方(仕事に就いているか、仕事に就きたいと思っている方)に]
 (現在、仕事に就いていない方は、働くことを想定してお答えください)
 問8 - 1 現在の仕事にかかわらず、いつまで働きたいと思いますか。(1つに)

図2 3 いつまで働きたいか



仕事に就いているか、仕事に就きたいと思っている人(836人)に、いつまで働きたいか尋ねた。結果は、「働ける状況があればいつまでも働いていたい」が61.8%で突出して高く、「定年(勤め人以外の方は60歳くらい)まで働いていたい」11.8%が続いた。「なるべく早くやめたい」は5.4%だった。

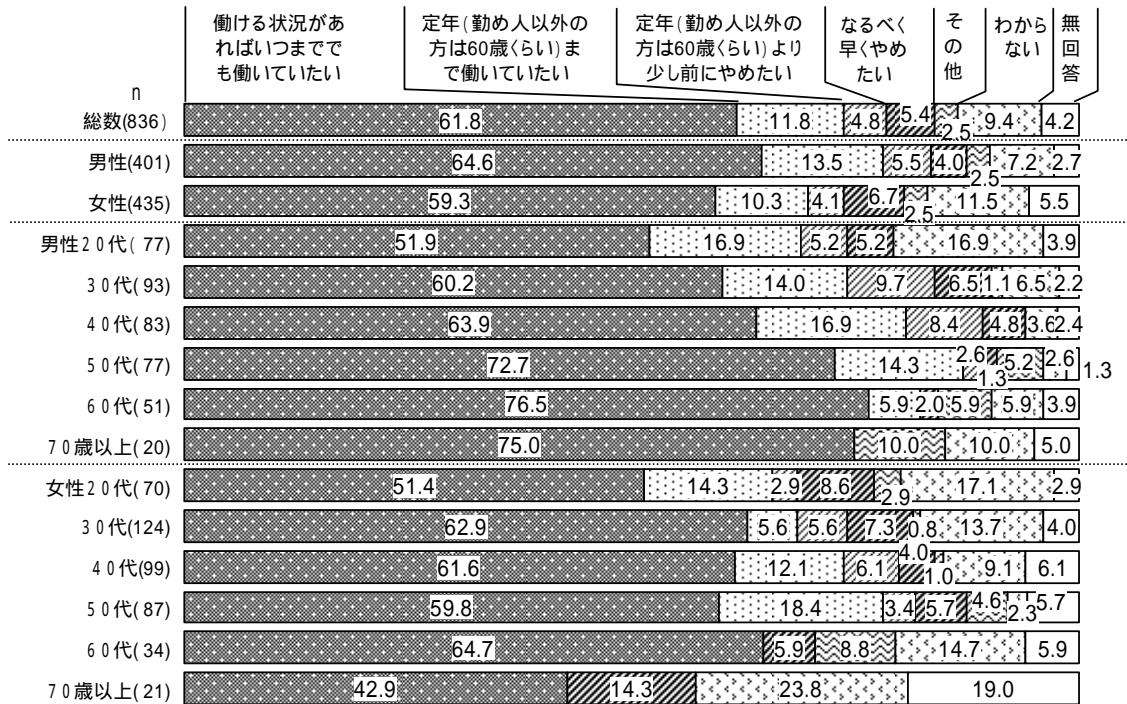
性・年代別でみると、「働ける状況があればいつまでも働いていたい」と答えた人の割合は、男性は年代が上がるにつれ高くなる傾向にある。女性では30~60代が高く、20代と70歳以上が他の年代に比べ低い。

現役世代(20~50代)で「定年まで働いていたい」と答えた人は、男性の場合、年代による差があまりない。一方、女性は最高が50代の18.4%、最低が30代の5.6%と年代間で開きがある。また、「定年より少し前にやめたい」と答えた人は、男性30代(9.7%)・40代(8.4%)が他の年代に比べ高い割合となっている。

「なるべく早くやめたい」は、男性では30代(6.5%)が、女性では20代(8.6%)・30代(7.3%)・70歳以上(14.3%)が他の年代に比べて高い。

図2 - 4 いつまで働きたいか - 性・年代別 -

(%)

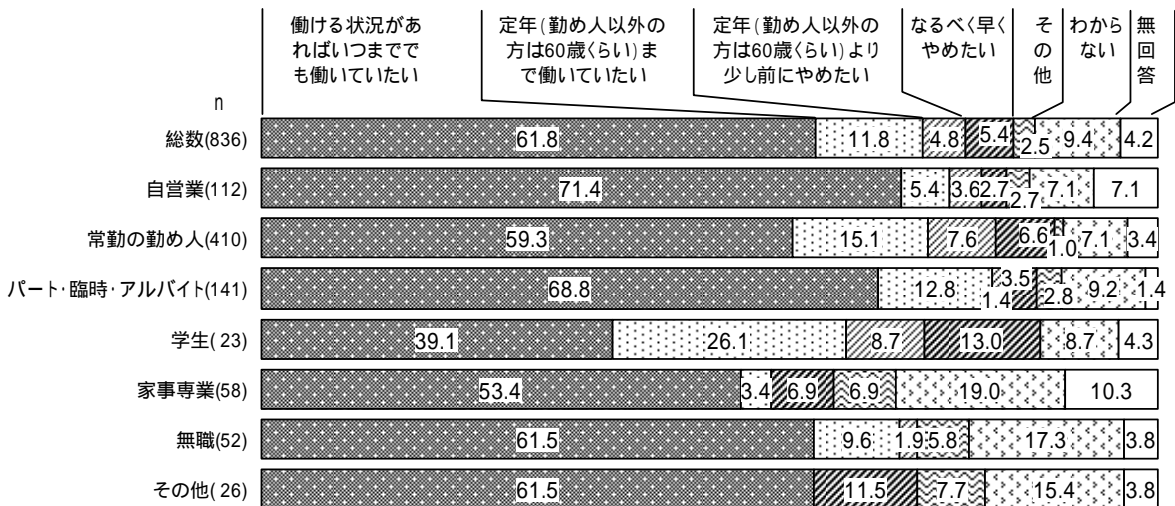


職業別でみると、「働ける状況があればいつまでも働いていたい」は自営業の71.4%が最も高く、パート・臨時・アルバイトが68.8%で続いている。反対に低いのは、学生の39.1%となっている。

「定年まで働いていたい」「定年より少し前にやめたい」「なるべく早くやめたい」はいずれも他の職業に比べ、学生の割合が高くなっている。

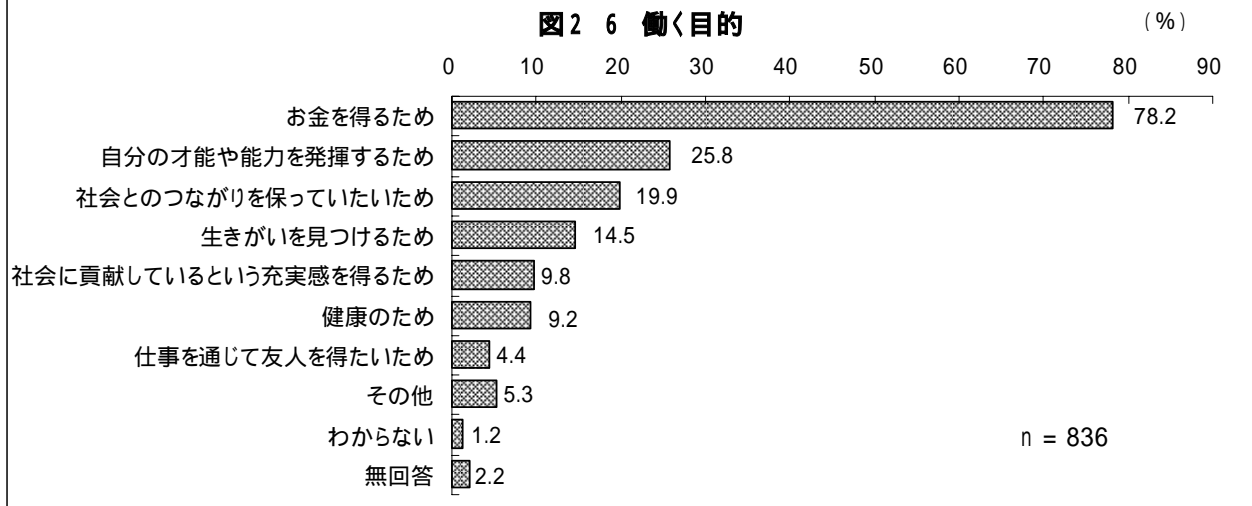
図2 - 5 いつまで働きたいか - 職業別 -

(%)



(3)働く目的 …… 「お金を得るため」が突出

【問8で1、2に をつけた方(仕事に就いているか、仕事に就きたいと思っている方に)
 (現在、仕事に就いていない方は、働くことを想定してお答えください)
 問8 - 2 あなたは何のために働いていますか。重要と思うものを2つ以内でお答えください。



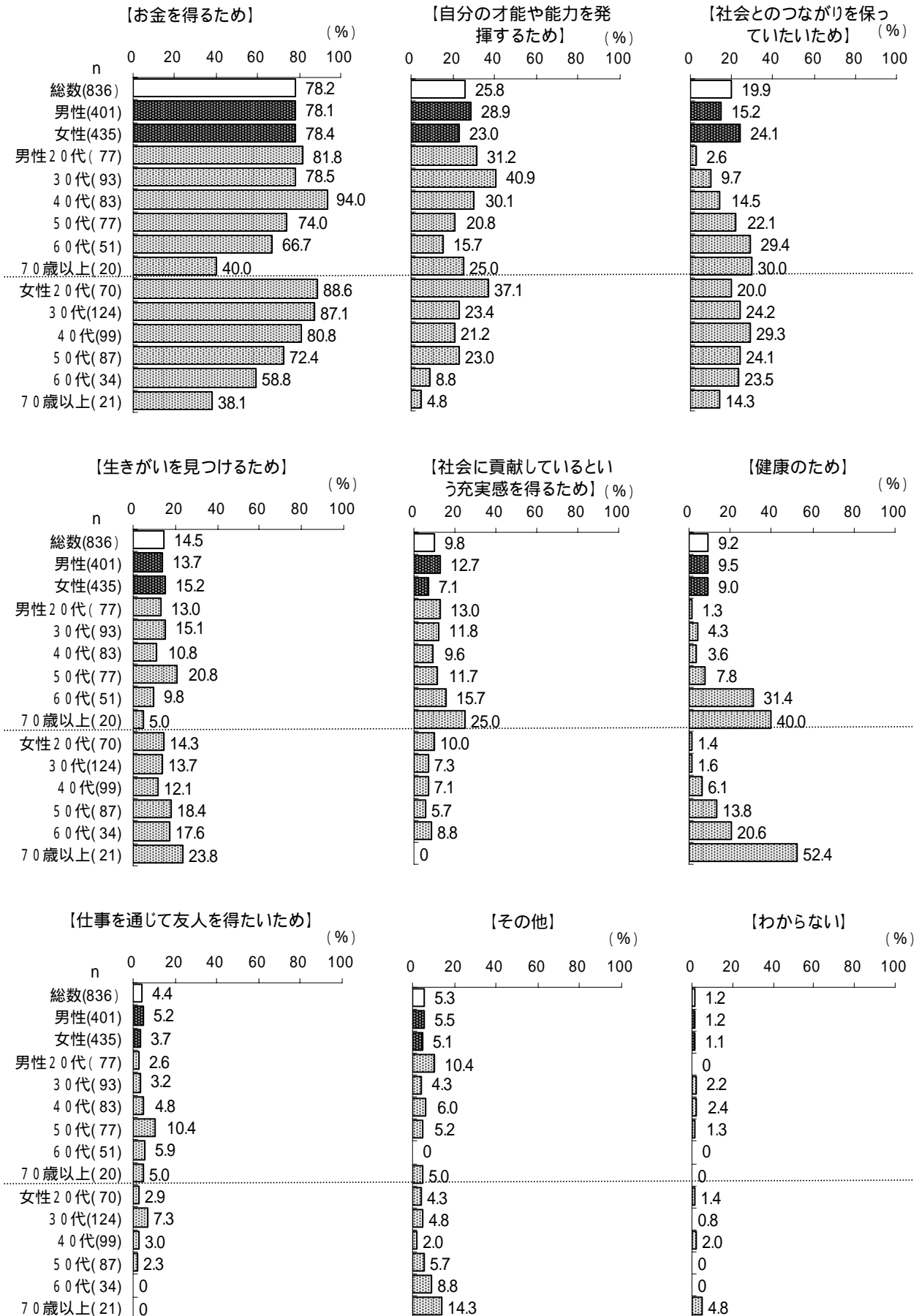
仕事に就いているか、仕事に就きたいと思っている人(836人)に、働く目的を2つ以内で挙げてもらったところ、「お金を得るため」と答えた人が78.2%で突出して高く、「自分の才能や能力を発揮するため」(25.8%)、「社会とのつながりを保っていたいため」(19.9%)が続いた。

性・年代別でみると、男女とも「お金を得るため」が8割近くでトップとなっているが、第2位は男性が「自分の才能や能力を発揮するため」(28.9%)、女性が「社会とのつながりを保っていたいため」(24.1%)となっている。

「お金を得るため」は、男性40代が94.0%で最も高い割合となっているが、男女とも年代が上がるほど低くなる傾向がある。「自分の才能や能力を発揮するため」は男性30代(40.9%)、女性20代(37.1%)で高い。「社会とのつながりを保っていたいため」は、男性は年代が上がるにつれ高くなり、20代では2.6%だが70歳以上では30.0%と年代による差が大きい。一方、女性は20代(20.0%)から40代(29.3%)まで徐々に割合が高くなっていくが、50代以降徐々に低くなり、70歳以上で14.3%となる。

「社会に貢献しているという充実感を得るため」は、男性70歳以上では25.0%と4人にひとりが挙げている。「健康のため」は、男性60代(31.4%)と70歳以上(40.0%)、女性70歳以上(52.4%)で高い。

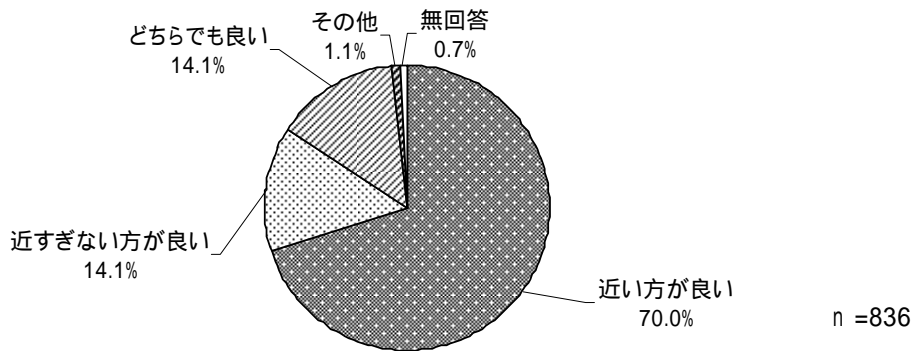
図2-7 働く目的 - 性・年代別 -



(4) 職住接近の賛否 …… 7割が「近い方が良い」

【問8で1、2に つけた方(仕事に就いているか、仕事に就きたいと思っている方)に]
 (現在、仕事に就いていない方は、働くことを想定してお答えください)
 問8-3 職場と住まいは近い方が良いと思いますか。(1つに)

図2-8 職住接近の賛否



仕事に就いているか、仕事に就きたいと思っている人(836人)に、職場と住まいが近い方が良いか尋ねたところ、7割の人が「近い方が良い」と答えた。

性・年代別でみると、「近い方が良い」「近すぎない方が良い」ともに男女間での差はほとんどみられない。「近い方が良い」はすべての年代で5割を超え、女性20代が78.6%で最も高い割合となっている。「近すぎない方が良い」は、女性30代(17.7%)・40代(17.2%)・60代(17.6%)が他の年代に比べやや高い。

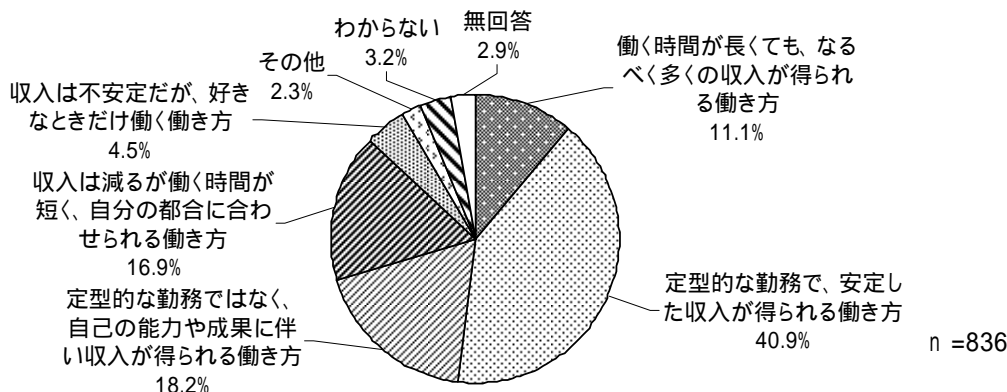
図2-9 職住接近の賛否 - 性・年代別 -



(5) 就労形態の希望 …… 4割が「定型的な勤務で、安定した収入が得られる働き方」を希望

【問8で1、2に つけた方(仕事に就いているか、仕事に就きたいと思っている方)に]
 (現在、仕事に就いていない方は、働くことを想定してお答えください)
 問8-4 あなたは、どのような働き方を望みますか。(1つに)

図2 10 就労形態の希望



仕事に就いているか、仕事に就きたいと思っている人(836人)に、どのような働き方を望むか尋ねた。

結果は、「定型的な勤務で、安定した収入が得られる働き方」を望む人が4割で最も高く、「定型的な勤務ではなく、自己の能力や成果に伴い収入が得られる働き方」を望む人は2割程度であった。「収入は減るが働く時間が短く、自分の都合に合わせられる働き方」(16.9%)や「収入は不安定だが、好きなどきだけ働く働き方」(4.5%)など、仕事よりも自分の生活を重視する働き方を望む人は合わせて2割程度となっている。

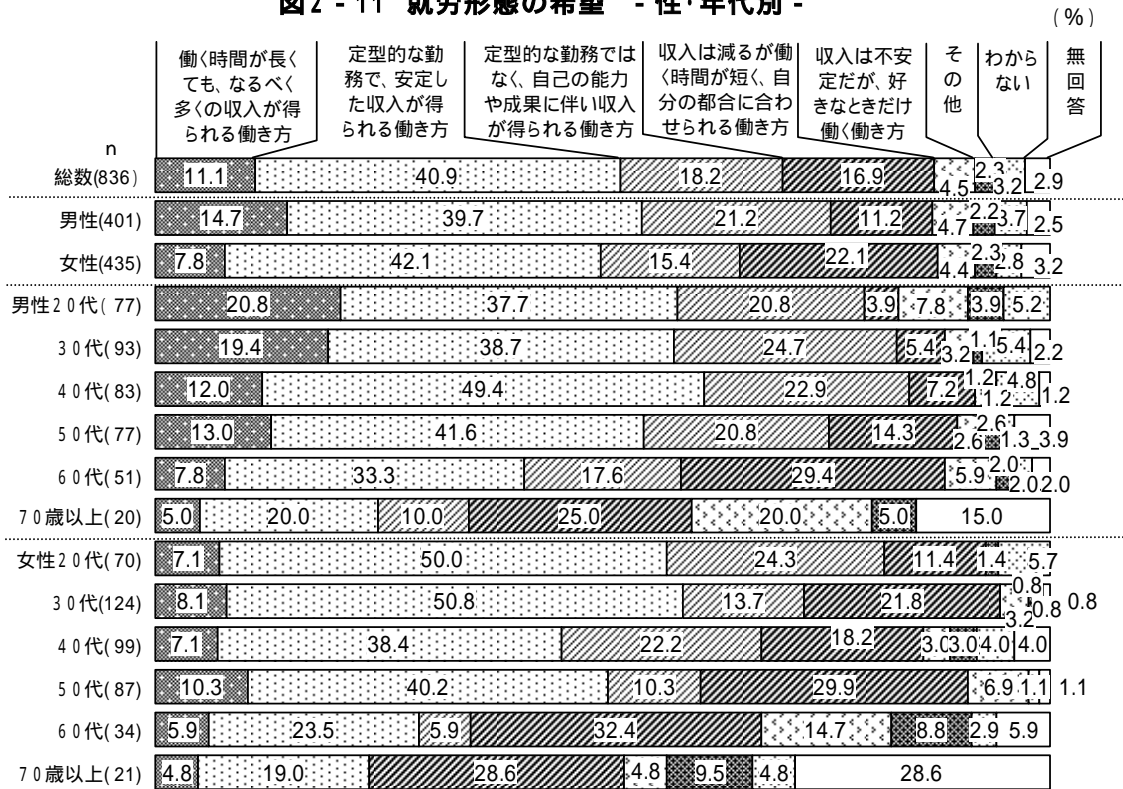
性・年代別でみると、ほとんどの年代で「定型的な勤務で、安定した収入が得られる働き方」の割合が最も高い。しかし、男性70歳以上と女性60代・70歳以上は「収入は減るが働く時間が短く、自分の都合に合わせられる働き方」がトップとなっている。

「働く時間が長くて、なるべく多くの収入が得られる働き方」は男性14.7%に対し、女性7.8%と男女間での差が大きい。この働き方は、男性は若い世代での割合が他の年代に比べて高く、20代20.8%、30代19.4%となっている。一方、女性は50代の10.3%が最も高く、その他の年代はいずれも1割に満たない。

「自己の能力や成果に伴い収入が得られる働き方」も男女間で開きがあり、男性21.2%に対し、女性は15.4%となっている。年代別では、男性の場合、70歳以上を除く他の年代はいずれも2割前後で大きな差は見られない。一方、女性は20代24.3%・40代22.2%であるのに対し、60代が5.9%、70歳以上では答えた人がなく、年代による差が大きい。

「収入は減るが働く時間が短く、自分の都合に合わせられる働き方」は男性60代以降と女性50代以降の割合が高い。「収入は不安定だが、好きなどきだけ働く働き方」は全体では4.5%と少ないが、男性70歳以上(20.0%)と女性60代(14.7%)が目立っている。また、この働き方は、男性20代が7.8%であるのに対し、女性20代では答えた人がいない。

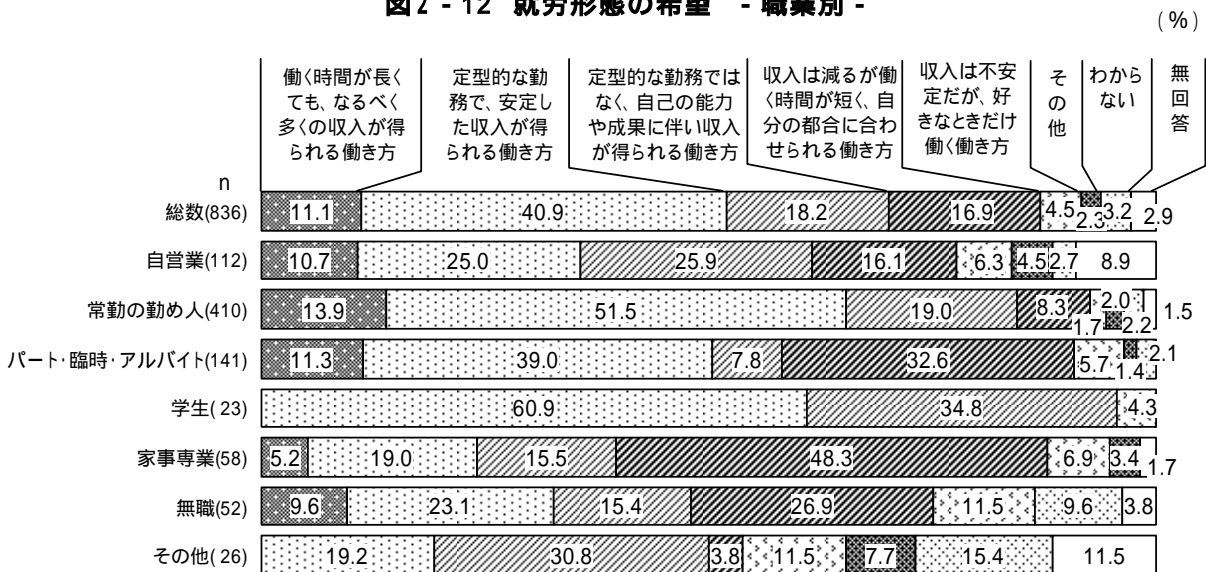
図2 - 11 就労形態の希望 - 性・年代別 -



職業別でみると、「働く時間が長くても、なるべく多くの収入が得られる働き方」を選んだ人は常勤の勤め人でも 13.9%である。「定型的な勤務で、安定して収入が得られる働き方」は学生が 60.9%で最も高く、次いで常勤の勤め人 51.5%となっている。「自己の能力や成果に伴い収入が得られる働き方」は学生(34.8%)で高く、パート・臨時・アルバイト(7.8%)で低い。

「収入は減るが働く時間が短く、自分の都合に合わせられる働き方」は、家事専業で半数近い割合となっている。「収入は不安定だが、好きなときだけ働く働き方」は無職 11.5%が最も高い。

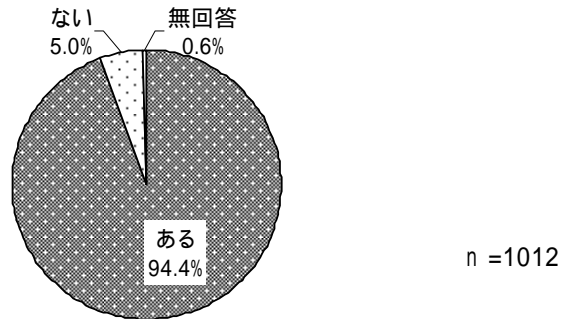
図2 - 12 就労形態の希望 - 職業別 -



(6)「ニート」ということばの周知度 …… ほとんどの人が「聞いたことがある」

問9 ところで、最近、学校にも行かず仕事を探そうともしない、いわゆる「ニート」と呼ばれる若者が増えているといわれています。あなたは、「ニート」ということばを、これまでに聞いたことがありますか。

図2 13 「ニート」ということばの周知度



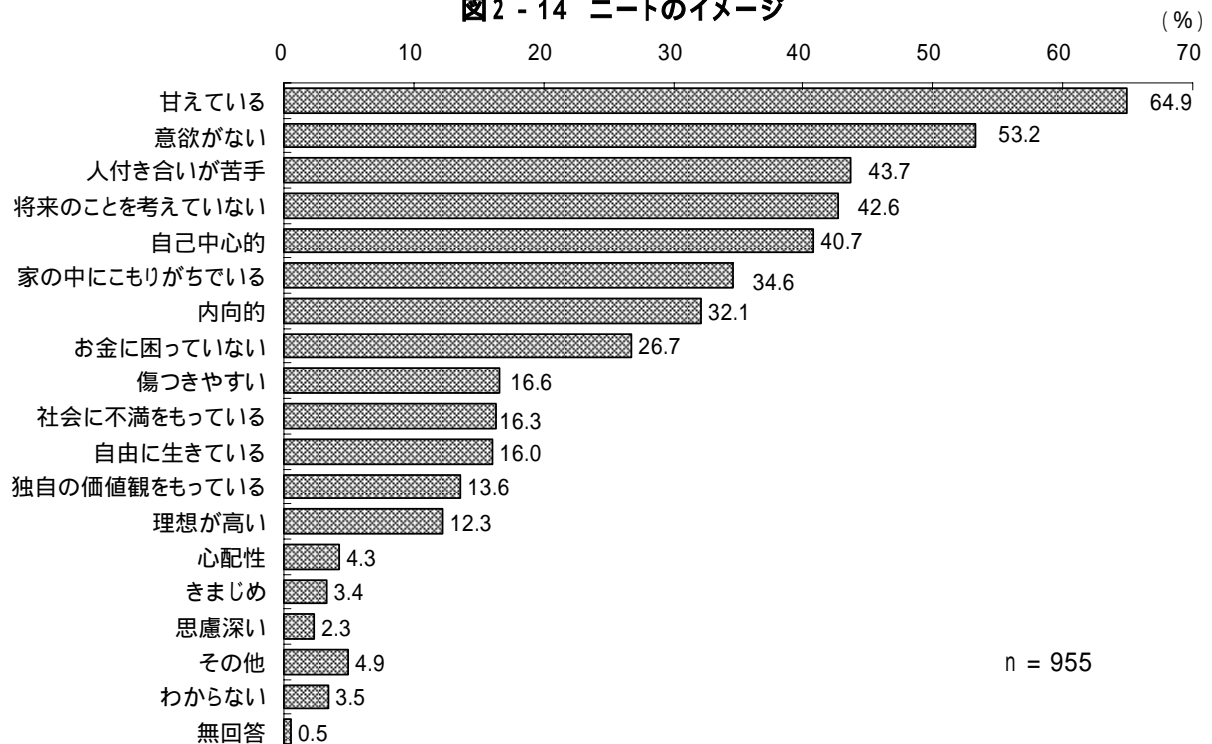
「ニート」ということばを聞いたことがあるか尋ねたところ、「ある」が 94.4%、「ない」は 5.0% だった。

(7)ニートのイメージ …… 「甘えている」が 64.9%、「意欲がない」が 53.2%

【問9で「1 ある」に つけた方に】

問9 - 1 あなたは「ニート」にどんなイメージをもっていますか。(いくつでも)

図2 - 14 ニートのイメージ



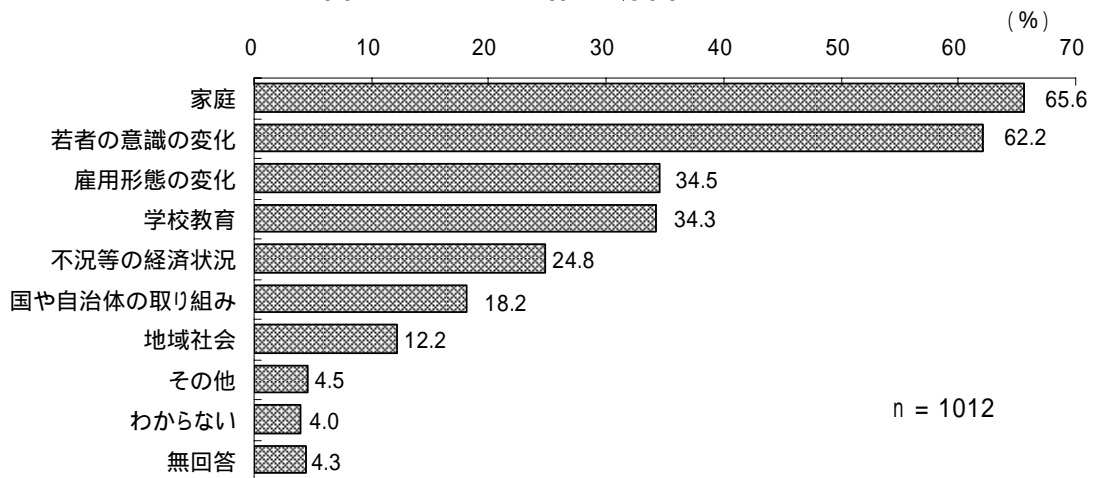
ニートについてどんなイメージをもっているか複数回答(いくつでも)で尋ねた。

結果は、「甘えている」「意欲がない」「人付き合いが苦手」「将来のことを考えていない」「自己中心的」などの項目が上位をしめるが、トップの「甘えている」が6割半ば、「意欲がない」も半数程度にとどまっている。「きまじめ」「思慮深い」はそれぞれ3.4%、2.3%と低い。

(8) ニートが増える原因 …… 「家庭」、「若者の意識の変化」に集中

問10 あなたは、ニートが増える原因はどこにあると思いますか。(いくつでも)

図2 15 ニートが増える原因

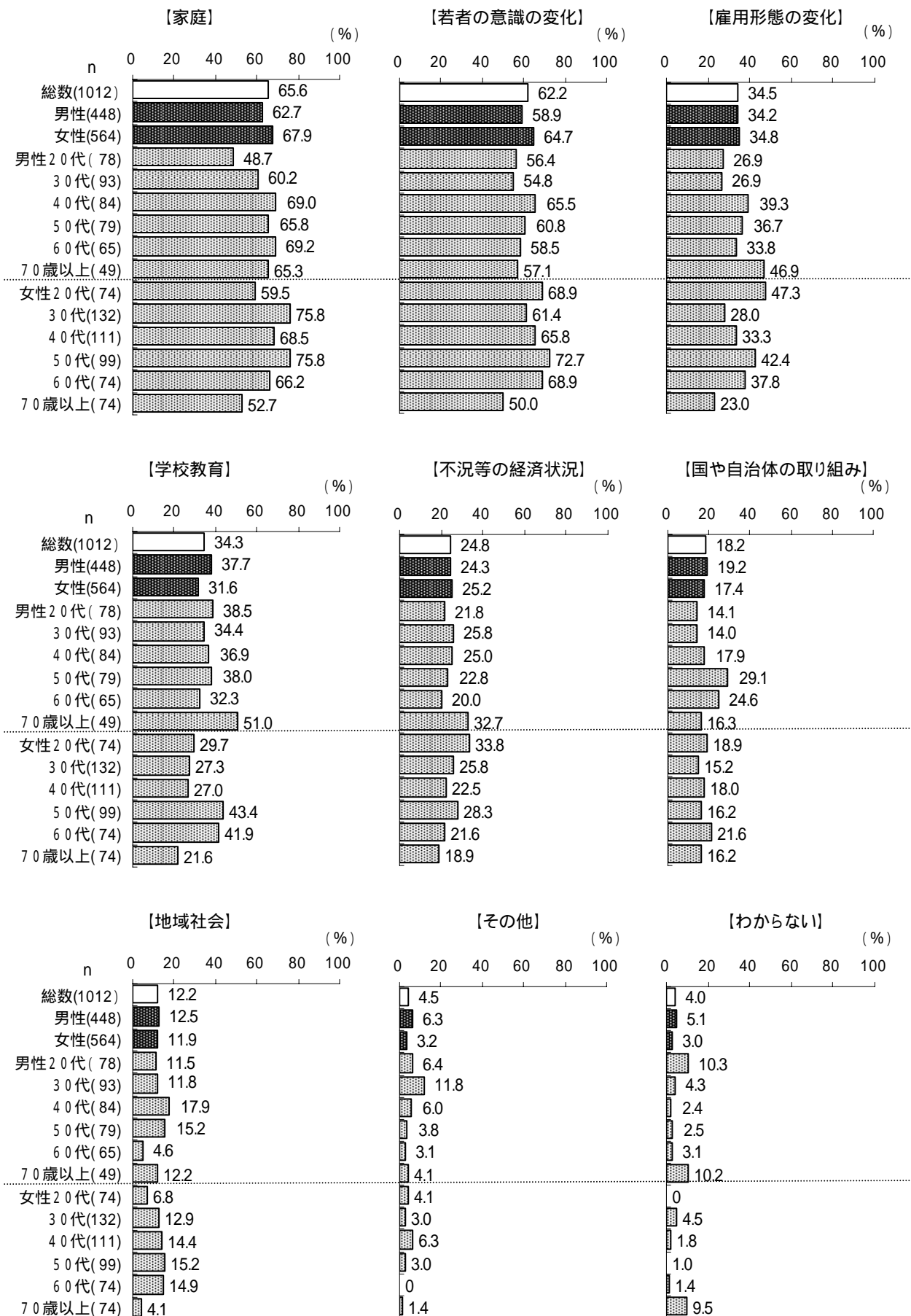


ニートが増える原因がどこにあるか複数回答(いくつでも)で尋ねたところ、「家庭」(65.6%)と「若者の意識の変化」(62.2%)が突出して高く、雇用形態の変化(34.5%)、学校教育(34.3%)が続いた。

性・年代別でみると、「家庭」は女性(67.9%)が男性(62.7%)をやや上回り、女性30代・50代がともに75.8%で最も高く、男性20代が48.7%で最も低い。「若者の意識の変化」も女性(64.7%)が男性(58.9%)を上回るが、年代による差は比較的少なく、すべての年代で5割を超えている。「雇用形態の変化」は男女間の差異はないが、男性70歳以上(46.9%)と女性20代(47.3%)の割合が他の年代に比べ高い。「学校教育」は男性(37.7%)が女性(31.6%)を上回り、男性70歳以上が51.0%と半数を超えている。

ほとんどの年代で「家庭」を挙げる人の割合が最も高いが、男性20代と女性20代・60代は「若者の意識の変化」がトップとなっている。

図2 - 16 ニートが増える原因 - 性・年代別 -

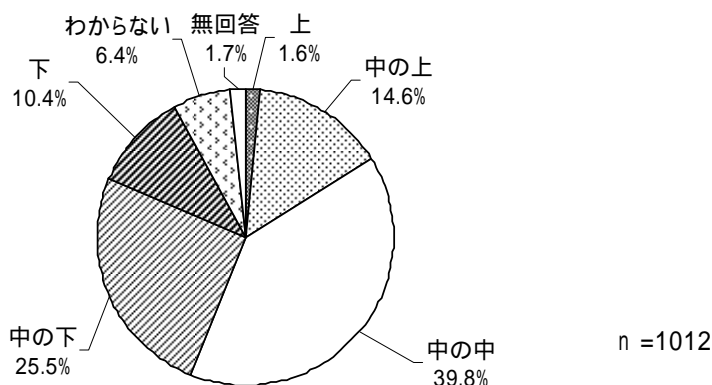


3. 生活意識

(1) 生活程度の自己評価 …… 4割が「中の中」

問11 あなたの生活程度は、世間一般からみてどの程度だと思いますか。(1つに)

図3 1 生活程度



生活程度を5段階で聞いたところ、「上」1.6%、「中の上」14.6%、「中の中」39.8%、「中の下」25.5%、「下」10.4%となった。「中の上」、「中の中」、「中の下」を合わせた『中(計)』は79.9%となり、8割を占める。

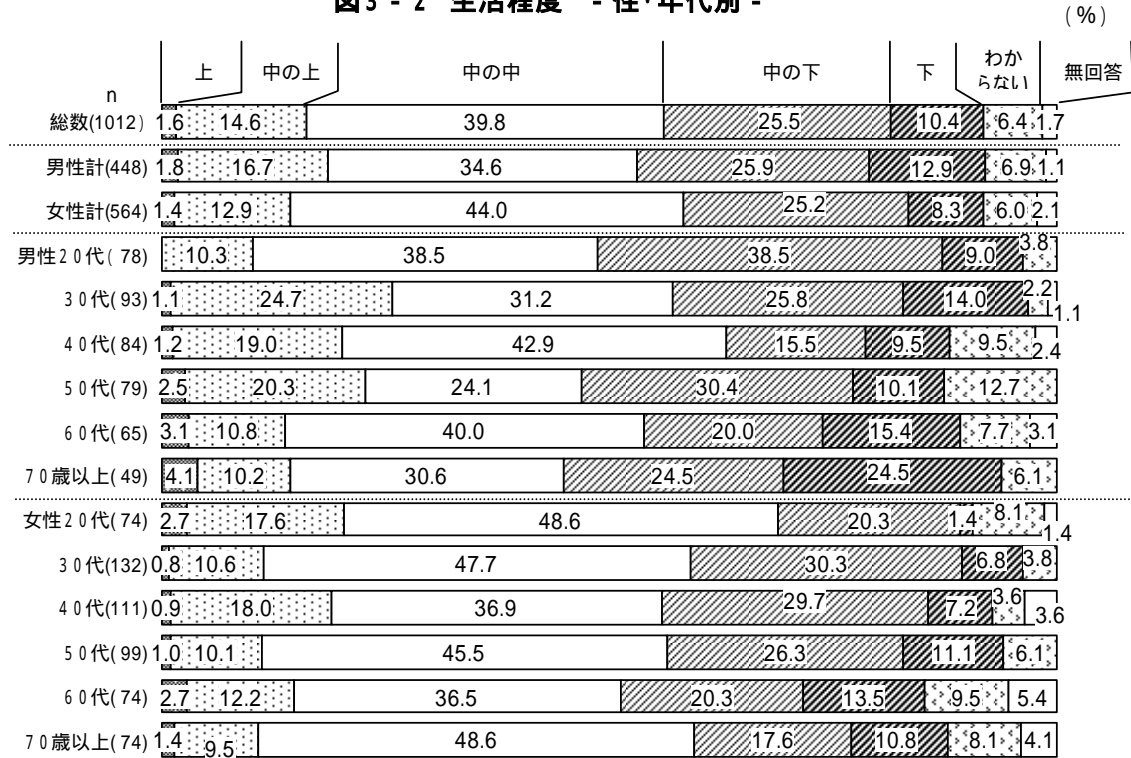
性・年代別でみると、「上」はいずれの年代も低く、男性20代では「上」を挙げた人はいない。

「中の上」は男性(16.7%)が女性(12.9%)を上回り、男性30代(24.7%)・50代(20.3%)の割合が高い。「中の中」は女性(44.0%)が男性(34.6%)を上回り、女性の20代と70歳以上がともに48.6%と高い割合になっている。「中の下」は男女間での差異はなく、男性20代が38.5%で最も割合が高い。

「下」は男女間でやや開きがあり、男性12.9%に対し、女性は8.3%となっている。また、年代別にみると、40~60代は男女間の差が少ないが、20代・30代・70歳以上は差が大きく、特に70歳以上は男性が24.5%であるのに対し、女性は10.8%となっている。

「中の上」、「中の中」、「中の下」を合わせた『中(計)』は男女とも年代が上がるにつれ低くなる傾向にある。

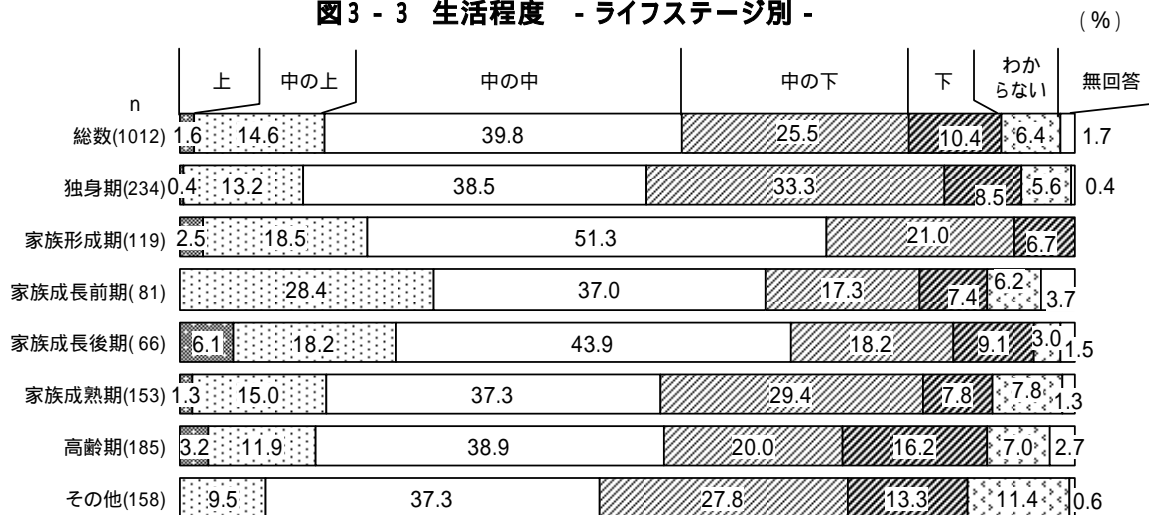
図3 - 2 生活程度 - 性・年代別 -



ライフステージ別でみると、「上」は家族成長後期(6.1%)で高く、家族成長前期とその他では「上」を選んだ人がいない。一方、「下」は高齢期(16.2%)で高く、家族形成期(6.7%)で低い。

「中の上」は家族成長前期(28.4%)が、「中の中」は家族形成期(51.3%)が、「中の下」(33.3%)は独身期が、他の年代に比べ高い割合となっている。

図3 - 3 生活程度 - ライフステージ別 -

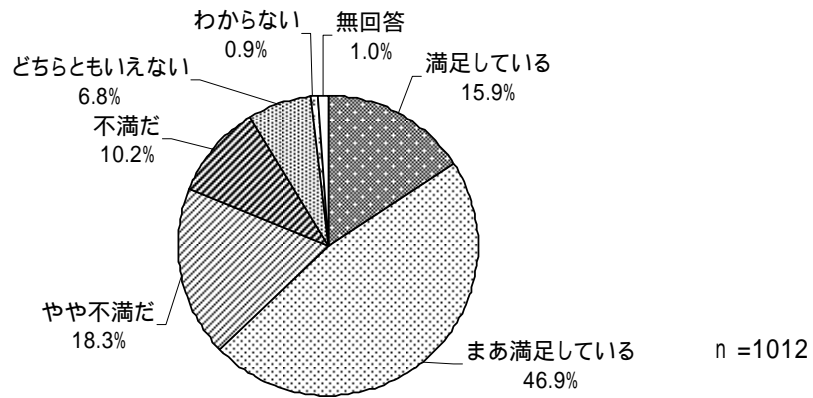


独身期：20・30代の独身者 家族形成期：20代・30代で子どもがいない夫婦 一番上の子どもが小学校入学前
 家族成長前期：一番上の子どもが小・中学生 家族成長後期：一番上の子どもが高校・大学生 家族成熟期：本人が64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業 高齢期：65歳以上 その他：40～64歳で、独身か夫婦のみ

(2)生活の満足度 …… 『満足層』は6割強

問12 あなたは、現在の生活に満足していますか、満足していませんか。(1つに)

図3 4 生活の満足度

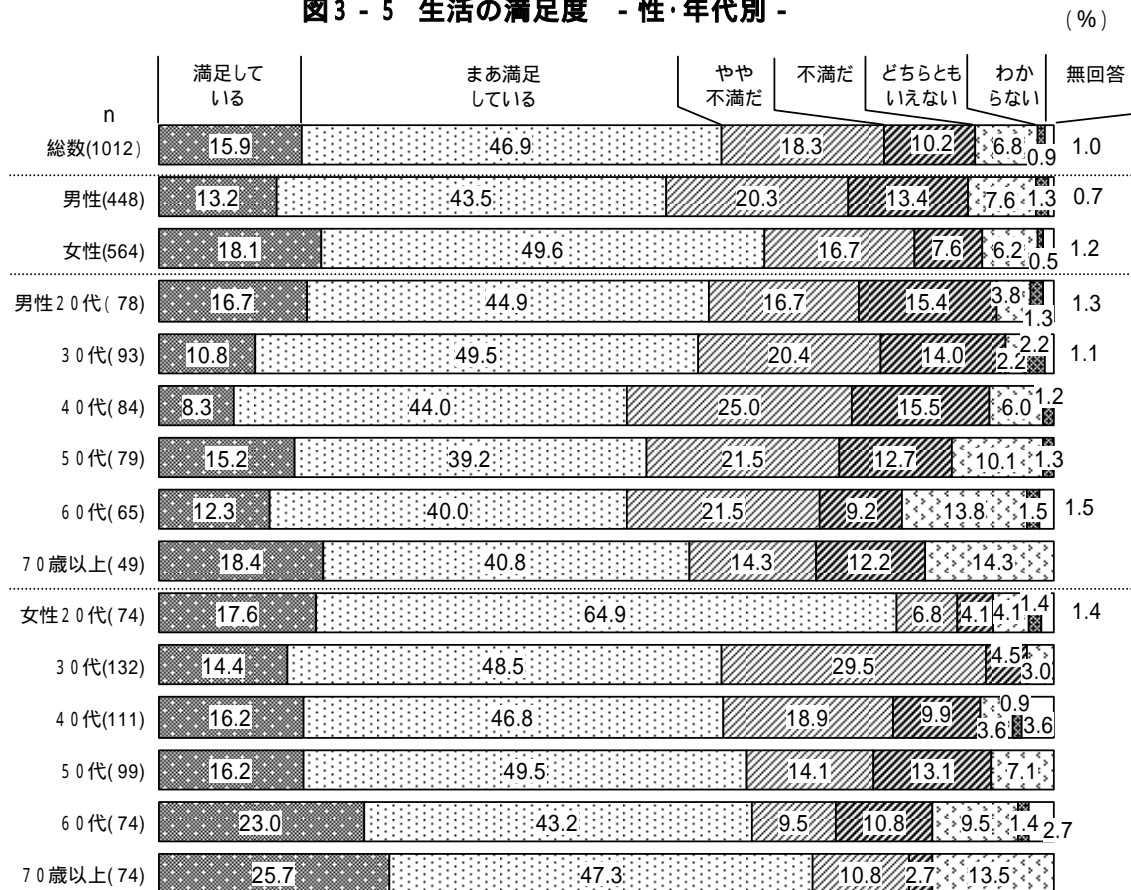


生活の満足度について4段階で尋ねたところ、「まあ満足している」が4割半ばで最も高かった。「満足している」(15.9%)と「まあ満足している」(46.9%)を合わせた『満足層』は62.8%、「やや不満だ」(18.3%)と「不満だ」(10.2%)を合わせた『不満層』は28.5%となる。

性・年代別でみると、『満足層』は男性が56.7%、女性が67.7%で、女性が男性を11ポイント上回っている。

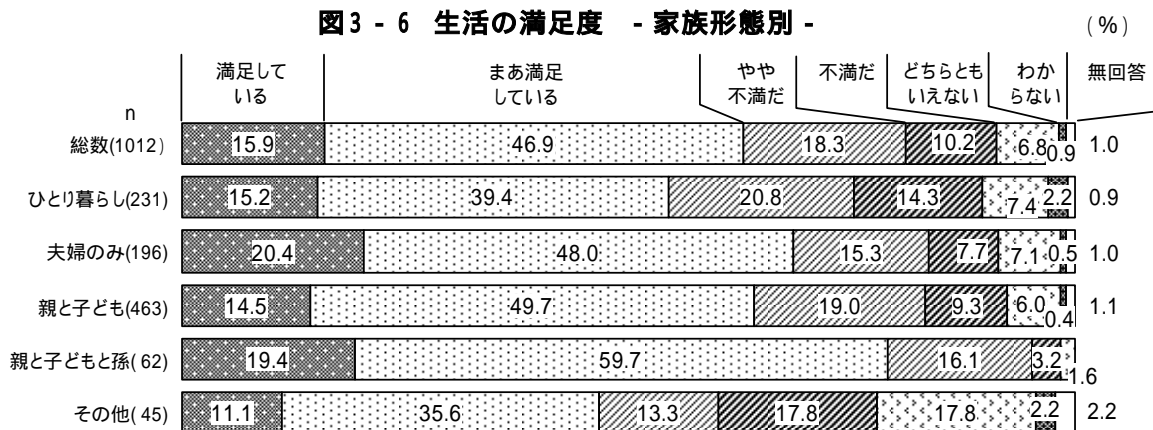
『満足層』が最も高いのは女性20代(82.5%)、最も低いのは男性40代・60代(ともに52.3%)となっている。一方、『不満層』が最も高いのは男性40代(40.5%)、最も低いのは女性20代(10.9%)となっている。

図3 - 5 生活の満足度 - 性・年代別 -



家族形態別でみると、『満足層』は、3世代家族である親と子どもと孫(79.1%)の割合が高い。一方、『不満層』が高いのは、一人暮らし(35.1%)となっている。

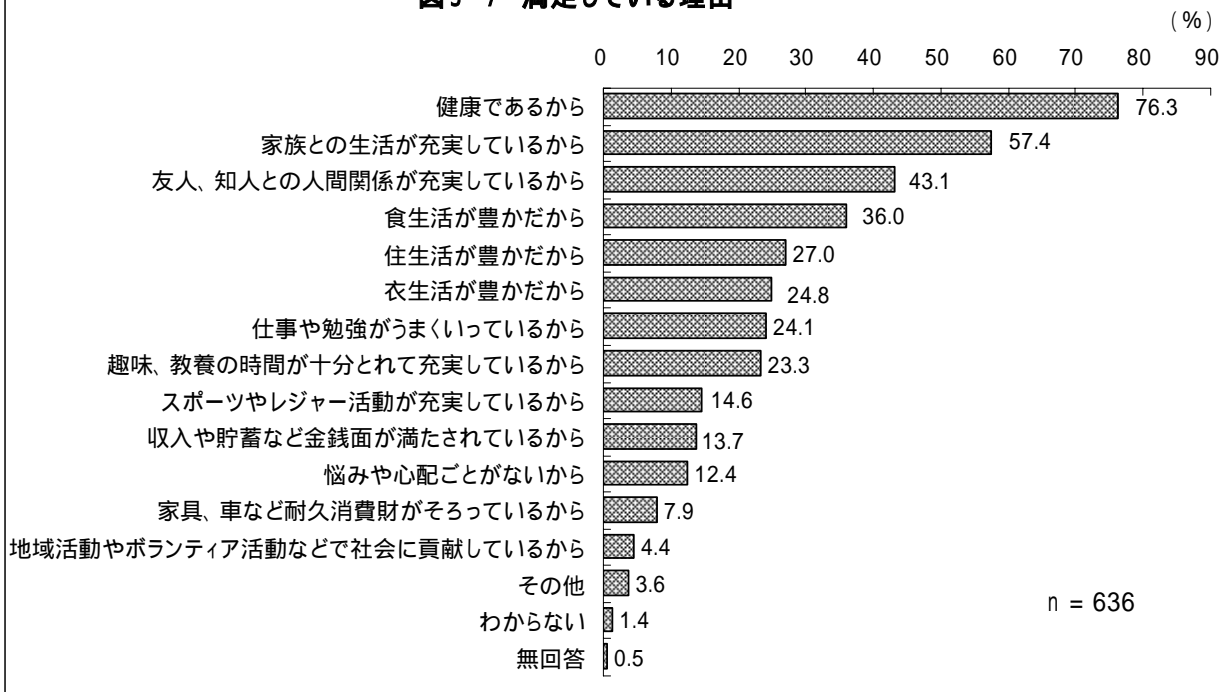
図3 - 6 生活の満足度 - 家族形態別 -



(3)満足している理由 …… 8割近くが「健康であるから」。「家族との生活の充実」「友人・知人との人間関係」が次ぐ

【問12で「1 満足している」「2 まあ満足している」に つけた方に】
問12 - 1 どのような理由で満足していますか。(いくつでも)

図3 7 満足している理由



現在の生活に「満足している」「まあ満足している」と答えた人(636人)に、その理由を複数回答(いくつでも)で尋ねた。結果は、「健康であるから」が76.3%でトップ、「家族との生活が充実しているから」(57.4%)、「友人、知人との人間関係が充実しているから」(43.1%)が続いた。

性・年代別でみると、「健康であるから」はすべての年代で高い割合となっているが、70歳以上は男性が58.6%、女性が63.0%と他の年代に比べやや低い。

「家族との生活が充実しているから」は全体では女性(60.2%)が男性(53.1%)を上回っている。男性では40代(72.7%)・60代(67.6%)、女性では30代(68.7%)・50代(70.8%)の割合が高い。

「友人・知人との人間関係が充実しているから」は男性35.4%に対し、女性48.2%と男女間で開きがあり、女性20代(50.8%)・60代(63.3%)・70歳以上(51.9%)で高い。「地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから」は全体では4.4%と極めて低いが、男性70歳以上が17.2%、女性60代が12.2%と目立っている。

「スポーツやレジャー活動が充実しているから」「趣味や教養の時間が十分とれているから」は男性60代と70歳以上、女性60代での割合が高く、「仕事や勉強がうまくいっているから」は男性40代、女性20代の割合が高い。

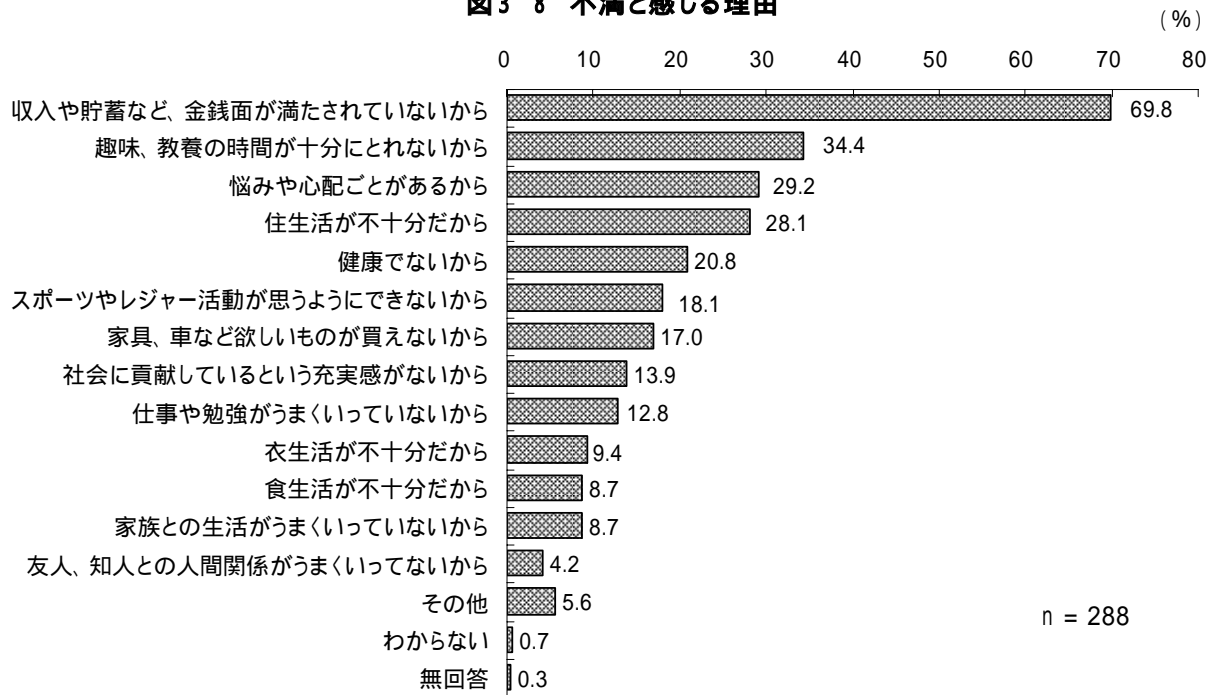
表3 - 1 満足している理由 - 性・年代別 -

| | n | 健康であるから | 衣生活が豊かだから | 食生活が豊かだから | 住生活が豊かだから | 家族との生活が充実しているから | 友人・知人との人間関係が充実しているから | 地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから | スポーツやレジャー活動が充実しているから | 仕事や勉強がうまくいっているから | 趣味、教養の時間が十分とれているから | 家具、車など耐久消費財がそろっているから | 収入や貯蓄など金銭面が満たされているから | 悩みや心配ごとがないから | その他 | わからない | 無回答 |
|--------|-----|---------|-----------|-----------|-----------|-----------------|----------------------|-----------------------------|----------------------|------------------|--------------------|----------------------|----------------------|--------------|-----|-------|-----|
| 総数 | 636 | 76.3 | 24.8 | 36.0 | 27.0 | 57.4 | 43.1 | 4.4 | 14.6 | 24.1 | 23.3 | 7.9 | 13.7 | 12.4 | 3.6 | 1.4 | 0.5 |
| 性別 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 男性 | 254 | 73.6 | 22.4 | 37.0 | 28.7 | 53.1 | 35.4 | 2.8 | 14.6 | 26.8 | 23.2 | 8.3 | 14.2 | 12.2 | 5.1 | 1.6 | 0.0 |
| 女性 | 382 | 78.0 | 26.4 | 35.3 | 25.9 | 60.2 | 48.2 | 5.5 | 14.7 | 22.3 | 23.3 | 7.6 | 13.4 | 12.6 | 2.6 | 1.3 | 0.8 |
| 性・年代 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 男性 20代 | 48 | 68.8 | 18.8 | 37.5 | 35.4 | 33.3 | 41.7 | 2.1 | 18.8 | 33.3 | 29.2 | 8.3 | 12.5 | 6.3 | 6.3 | 4.2 | |
| 30代 | 56 | 78.6 | 26.8 | 42.9 | 25.0 | 46.4 | 23.2 | | 12.5 | 30.4 | 12.5 | 5.4 | 21.4 | 8.9 | 7.1 | 1.8 | |
| 40代 | 44 | 75.0 | 13.6 | 36.4 | 15.9 | 72.7 | 29.5 | | 9.1 | 38.6 | 18.2 | 13.6 | 15.9 | 9.1 | 4.5 | | |
| 50代 | 43 | 79.1 | 20.9 | 30.2 | 30.2 | 53.5 | 44.2 | 2.3 | 11.6 | 16.3 | 16.3 | 4.7 | 4.7 | 7.0 | 2.3 | 2.3 | |
| 60代 | 34 | 76.5 | 26.5 | 32.4 | 29.4 | 67.6 | 41.2 | | 20.6 | 20.6 | 35.3 | 5.9 | 11.8 | 23.5 | 2.9 | | |
| 70歳以上 | 29 | 58.6 | 31.0 | 41.4 | 41.4 | 51.7 | 37.9 | 17.2 | 17.2 | 13.8 | 37.9 | 13.8 | 17.2 | 27.6 | 6.9 | | |
| 女性 20代 | 61 | 72.1 | 42.6 | 50.8 | 31.1 | 50.8 | 50.8 | | 13.1 | 41.0 | 24.6 | 8.2 | 18.0 | 4.9 | 3.3 | | 1.6 |
| 30代 | 83 | 78.3 | 18.1 | 30.1 | 19.3 | 68.7 | 42.2 | 3.6 | 15.7 | 21.7 | 18.1 | 4.8 | 10.8 | 8.4 | 2.4 | 1.2 | |
| 40代 | 70 | 81.4 | 28.6 | 32.9 | 24.3 | 58.6 | 45.7 | 4.3 | 10.0 | 28.6 | 14.3 | 8.6 | 14.3 | 14.3 | | 2.9 | |
| 50代 | 65 | 89.2 | 18.5 | 29.2 | 20.0 | 70.8 | 41.5 | 7.7 | 13.8 | 23.1 | 21.5 | 7.7 | 13.8 | 7.7 | 3.1 | 1.5 | |
| 60代 | 49 | 81.6 | 24.5 | 34.7 | 24.5 | 59.2 | 63.3 | 12.2 | 22.4 | 10.2 | 40.8 | 10.2 | 10.2 | 16.3 | | | |
| 70歳以上 | 54 | 63.0 | 29.6 | 37.0 | 40.7 | 48.1 | 51.9 | 7.4 | 14.8 | 3.7 | 27.8 | 7.4 | 13.0 | 27.8 | 7.4 | 1.9 | 3.7 |

(4) 不満と感ずる理由 …… 「金銭面が満たされていないから」が突出

【問12で「3 やや不満だ」「4 不満だ」に つけた方に】
 問12 - 2 どのような理由で不満と感ずていますか。(いくつでも)

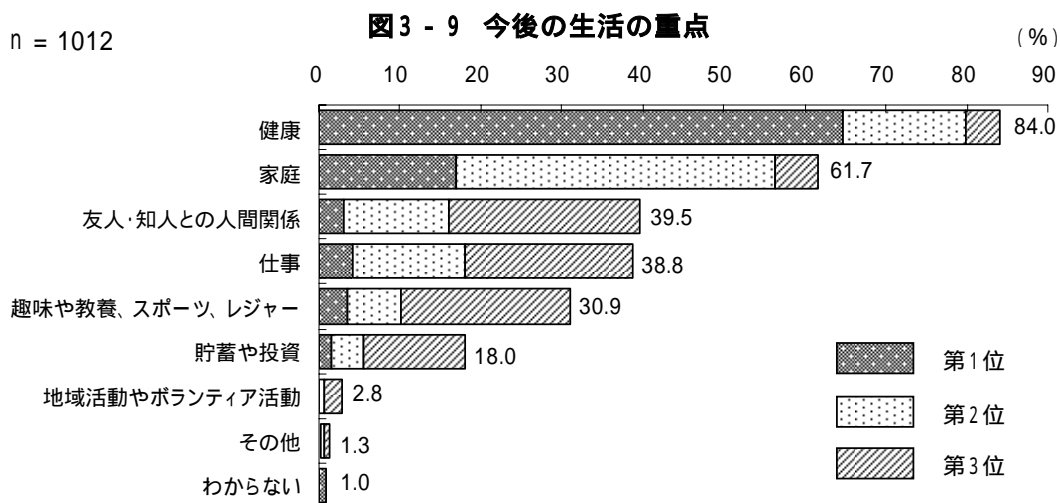
図3 8 不満と感ずる理由



現在の生活に不満を感ずている人(288人)にその理由を複数回答(いくつでも)で尋ねた。結果は、「収入や貯蓄など、金銭面が満たされていないから」が69.8%で突出して高く、「趣味、教養の時間が十分にとれないから」(34.4%)、「悩みや心配ごとがあるから」(29.2%)、「住生活が不十分だから」(28.1%)が続いた。

(5) 今後の生活の重点 …… トップは「健康」、2位は「家庭」

問13 あなたは今後の生活において、何を重視していきたいと思いませんか。重要と思うものを3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、それぞれの番号を 内に記入してください。



今後の生活で重視したいことを3つ以内で第1位から第3位まで順位をつけて挙げてもらった。第1位に「健康」を挙げる人の割合が極めて高く、第2位では「家庭」を挙げる人の割合が高い。第1位から3位の合計では、「健康」が84.0%でトップとなり、「家庭」が61.7%が続いた。

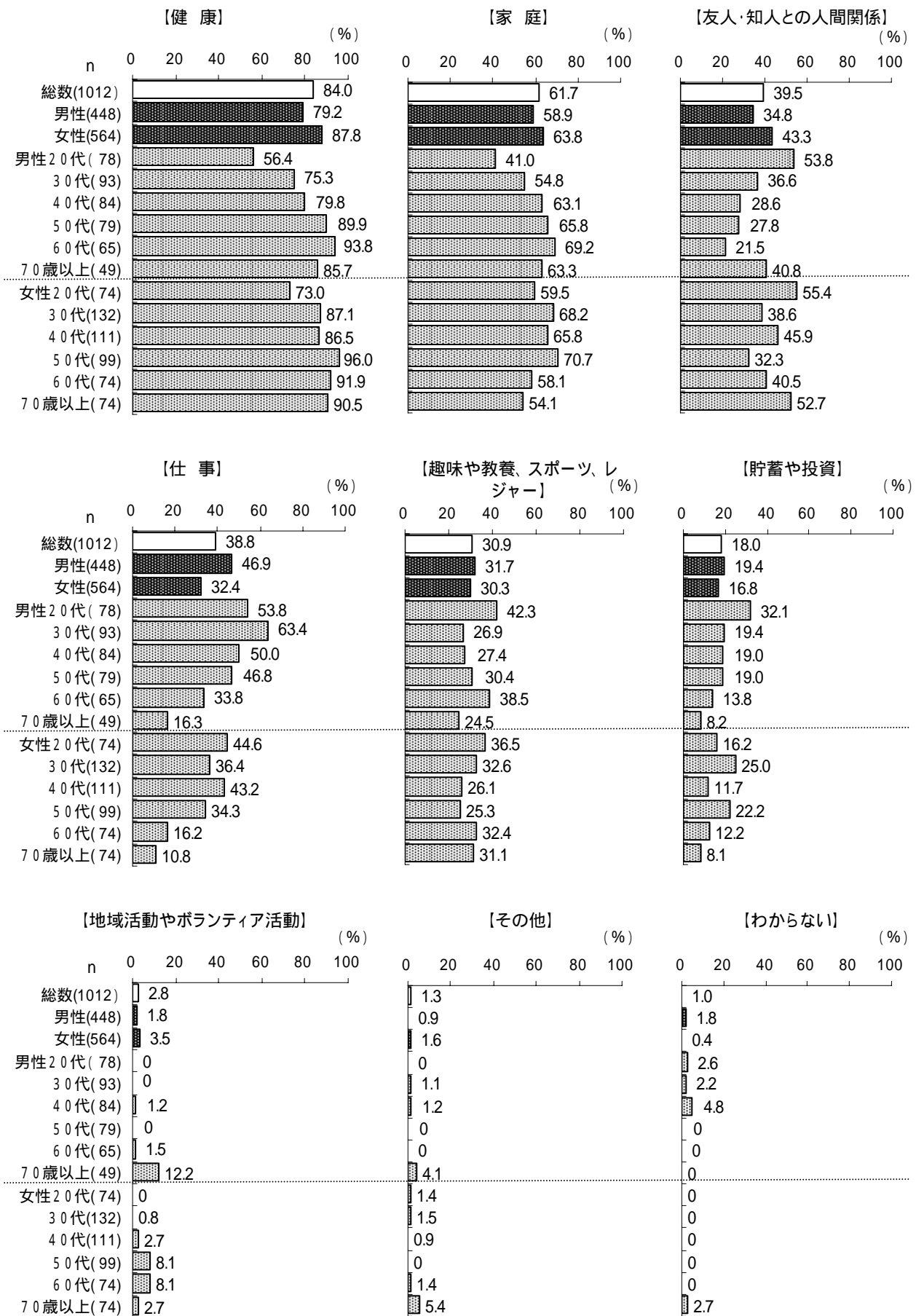
「地域活動やボランティア活動」を第1位に挙げた人はなく、総合でも2.8%と極端に低い。

性・年代別でみると、男女間で開きがあるもので、女性の方が高い項目は「健康」(男性79.2%、女性87.8%)と「友人・知人との人間関係」(男性34.8%、女性43.3%)、男性の方が高い項目は「仕事」(男性46.9%、女性32.4%)となっている。

「健康」は、すべての年代で割合が高く、男性60代と女性50代以降の年代では9割を超えている。

「家庭」は、男性20代(41.0%)以外はすべて5割を超え、年代間による差が比較的少ない。「友人・知人との人間関係」は、男性では20代が53.8%と最も高く、年代が上がるにつれ低くなり60代で21.5%となるが、70歳以上では40.8%と高くなる。一方、女性は20代と70歳以上では5割を超え、最も低い50代でも32.3%となっている。「仕事」は、男女とも年代が上がるにしたがい割合が低くなる傾向にあるが、男性は30代が63.4%で他の年代に比べ最も高い。

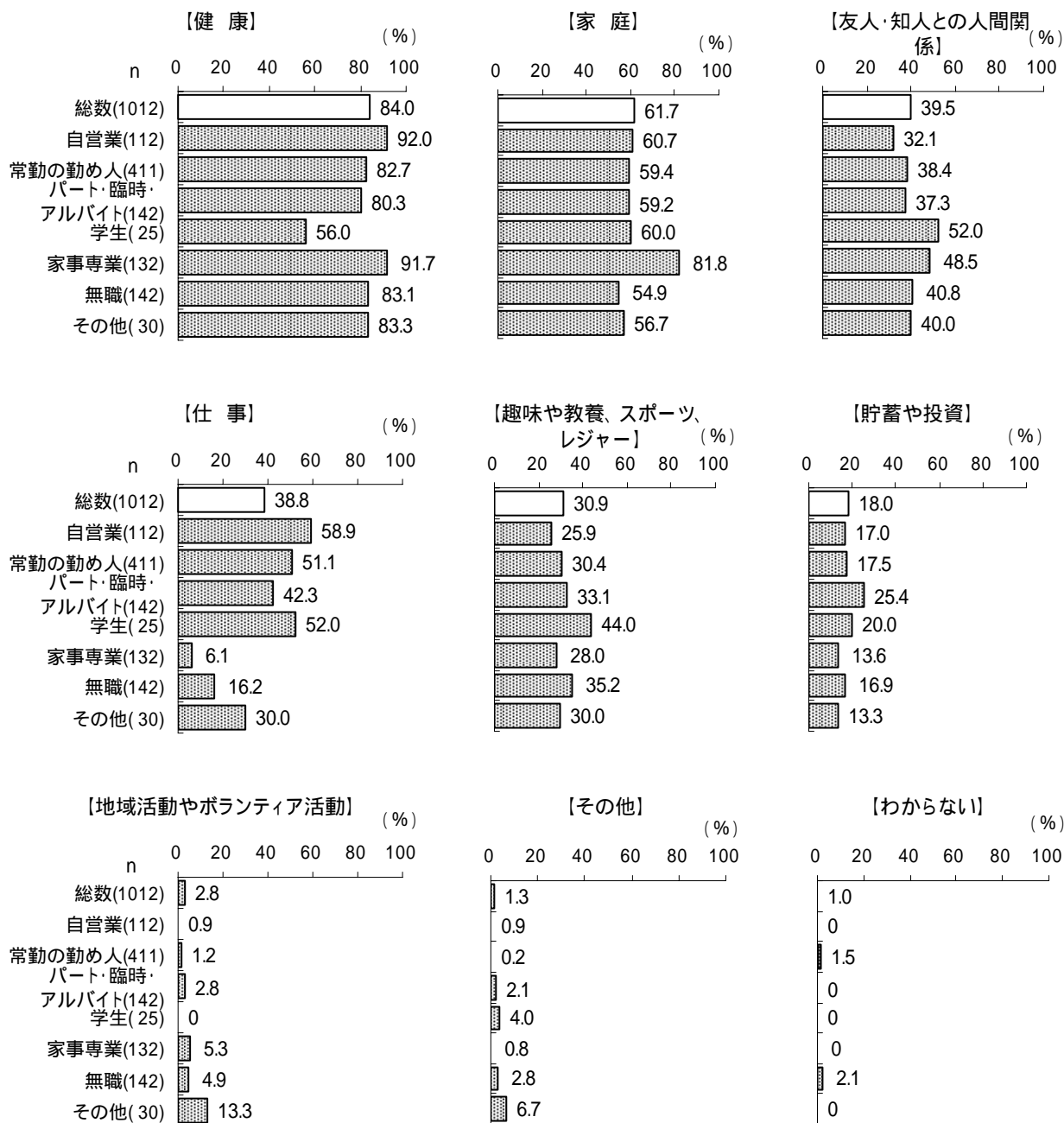
図3 - 10 今後の生活の重点 - 性・年代別 -



職業別で見ると、「健康」は学生（56.0%）を除き、各職業で8割を超え、自営業と家事専業では9割を超えている。「家庭」は家事専業が8割を超え、目立っている。「友人・知人との人間関係」は学生（52.0%）と家事専業（48.5%）が他の年代に比べ高い。「仕事」は自営業（58.9%）が最も高く、常勤の勤め人、学生でも5割を超えている。

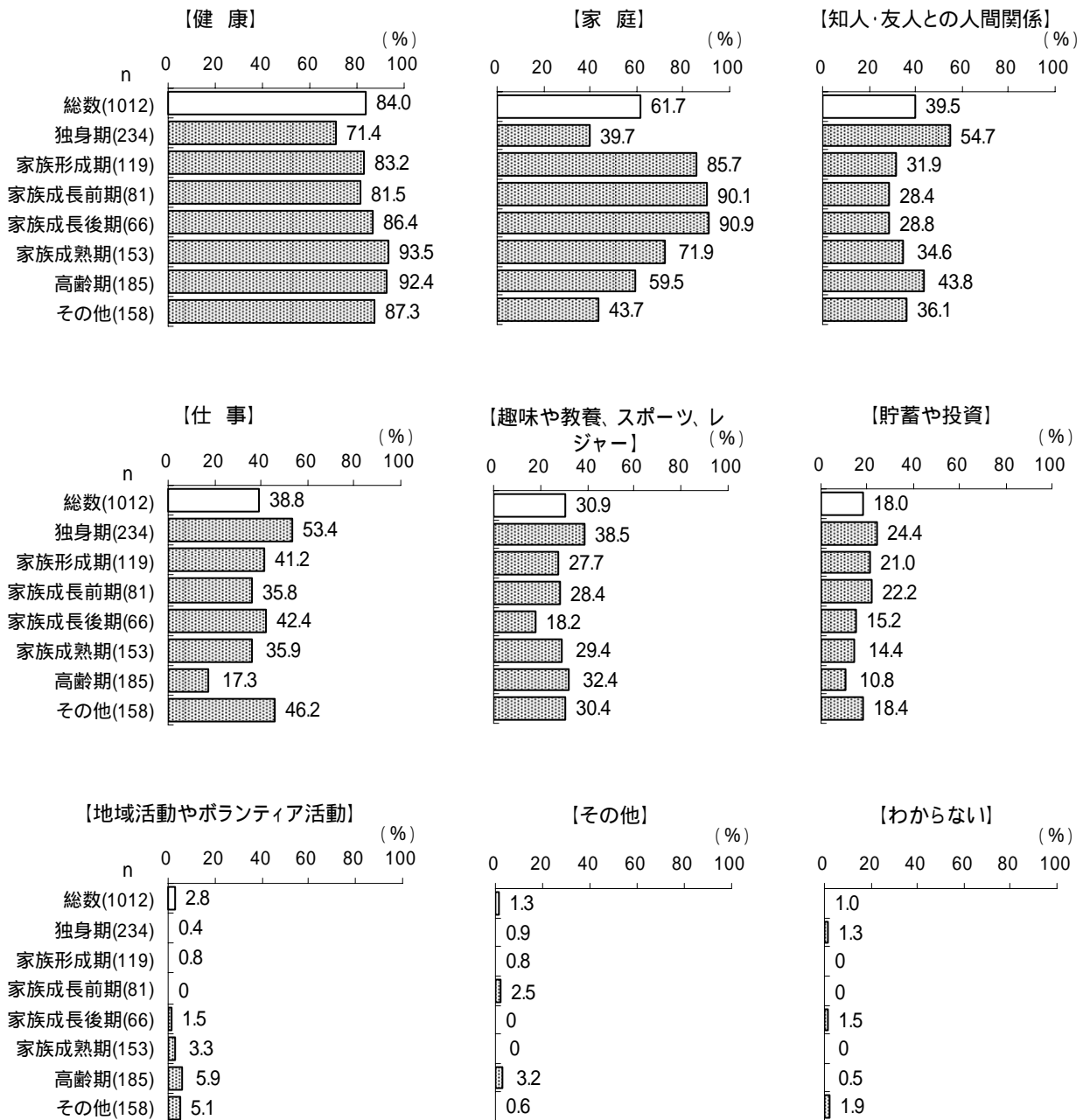
「趣味や教養、スポーツ、レジャー」は学生（44.0%）が、「貯蓄や投資」はパート・臨時・アルバイト（25.4%）が他の年代に比べ高い。

図3 - 11 今後の生活の重点 - 職業別 -



ライフステージ別でみると、「健康」はすべてのライフステージで高い割合となっており、最も低い独身期でも71.4%となっている。「家庭」は家族形成期(85.7%)、家族成長前期(90.1%)、家族成長後期(90.9%)で高く、独身期(39.7%)とその他(43.7%)で低い。「友人・知人との人間関係」は独身期が54.7%で最も高く、続いて高齢期43.8%となっている。「仕事」は独身期(53.4%)とその他(46.2%)で高く、高齢期(17.3%)で低い。「趣味や教養、スポーツ、レジャー」は独身期が38.5%で他の年代に比べ高く、家族成長後期が18.2%で低い。「貯蓄や投資」は独身期(24.4%)、家族形成期(21.0%)、家族成長前期(22.2%)が他のライフステージに比べやや高い。「地域活動やボランティア活動」は高齢者の5.9%が他の年代に比べ高い。

図3 - 12 今後の生活の重点 - ライフステージ別 -



独身期：20・30代の独身者 家族形成期：20代・30代で子どもがいない夫婦 一番上の子どもが小学校入学前
 家族成長前期：一番上の子どもが小・中学生 家族成長後期：一番上の子どもが高校・大学生 家族成熟期：本人が64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業 高齢期：65歳以上 その他：40～64歳で、独身か夫婦のみ

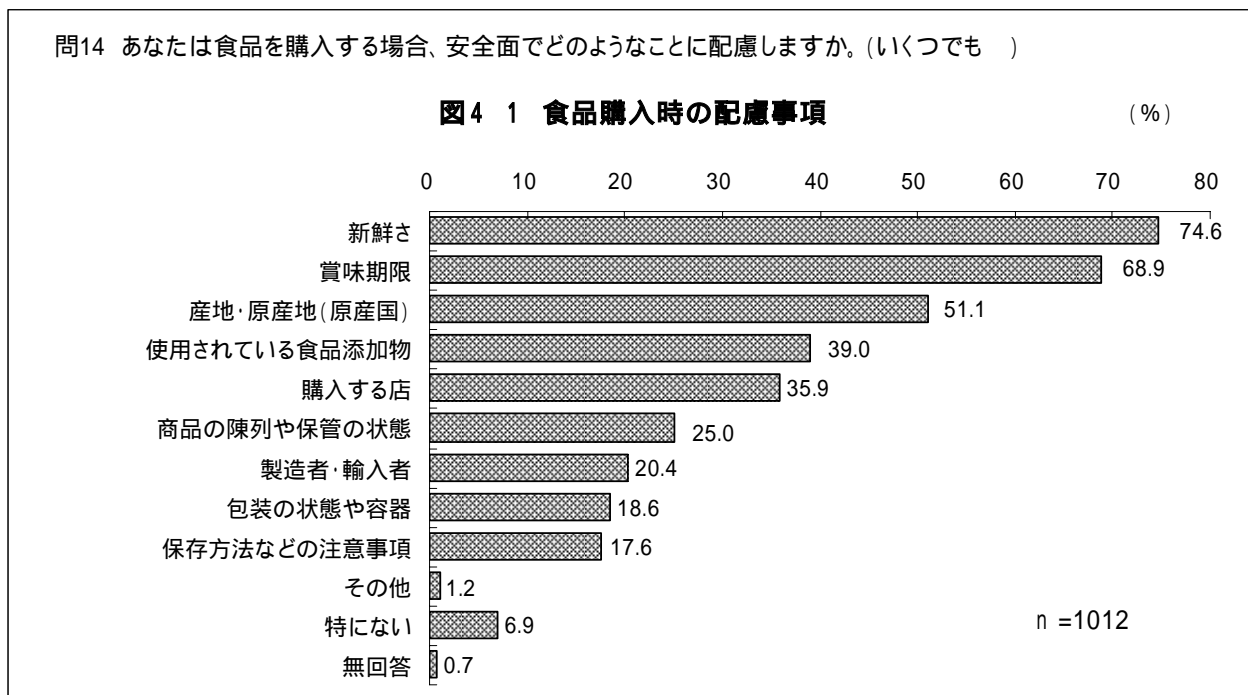
生活の満足度別に今後の生活の重点をみると、いずれの満足度でも第1位が「健康」、第2位が「家庭」となっているが、第3位は満足層である「満足している」「まあ満足している」では「友人・知人との人間関係」、不満層である「やや不満だ」「不満だ」では「仕事」となっている。

表3 - 2 今後の生活の重点 - 生活の満足度別 -

| | | 問13 あなたは今後の生活において何を重視していきたいと思いますか。 | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|-----------|------------------------------------|------|------|-------------|---------------|------|-----------------|-------|-----|-------|------|
| | | n | 健康 | 家庭 | 友人・知人との人間関係 | 地域活動やボランティア活動 | 仕事 | 趣味や教養、スポーツ、レジャー | 貯蓄や投資 | その他 | わからない | 無回答 |
| | | 1012 | 84.0 | 61.7 | 39.5 | 2.8 | 38.8 | 30.9 | 18.0 | 1.3 | 1.0 | 10.3 |
| 問12 ますか。 あなたは現在の生活に満足していますか。 | 満足している | 161 | 90.1 | 67.1 | 39.8 | 3.1 | 38.5 | 33.5 | 11.8 | 1.9 | - | 6.2 |
| | まあ満足している | 475 | 85.9 | 67.8 | 42.3 | 2.5 | 36.6 | 28.8 | 15.6 | 0.6 | 0.6 | 8.2 |
| | やや不満だ | 185 | 80.5 | 55.1 | 36.8 | 2.2 | 41.6 | 37.8 | 24.9 | 1.1 | 0.5 | 8.6 |
| | 不満だ | 103 | 74.8 | 52.4 | 36.9 | 2.9 | 50.5 | 31.1 | 29.1 | 2.9 | 1.9 | 8.7 |
| | どちらともいえない | 69 | 94.2 | 50.7 | 34.8 | 5.8 | 34.8 | 24.6 | 18.8 | 2.9 | 1.4 | 24.6 |
| | わからない | 9 | 44.4 | 22.2 | 33.3 | - | 33.3 | 33.3 | - | - | 33.3 | 55.6 |
| | 無回答 | 10 | 20.0 | 10.0 | 20.0 | - | 10.0 | - | - | - | - | 80.0 |

4. 食の安全・安心

(1) 食品購入時の配慮事項………トップは「新鮮さ」。「賞味期限」「産地・原産地」にも配慮

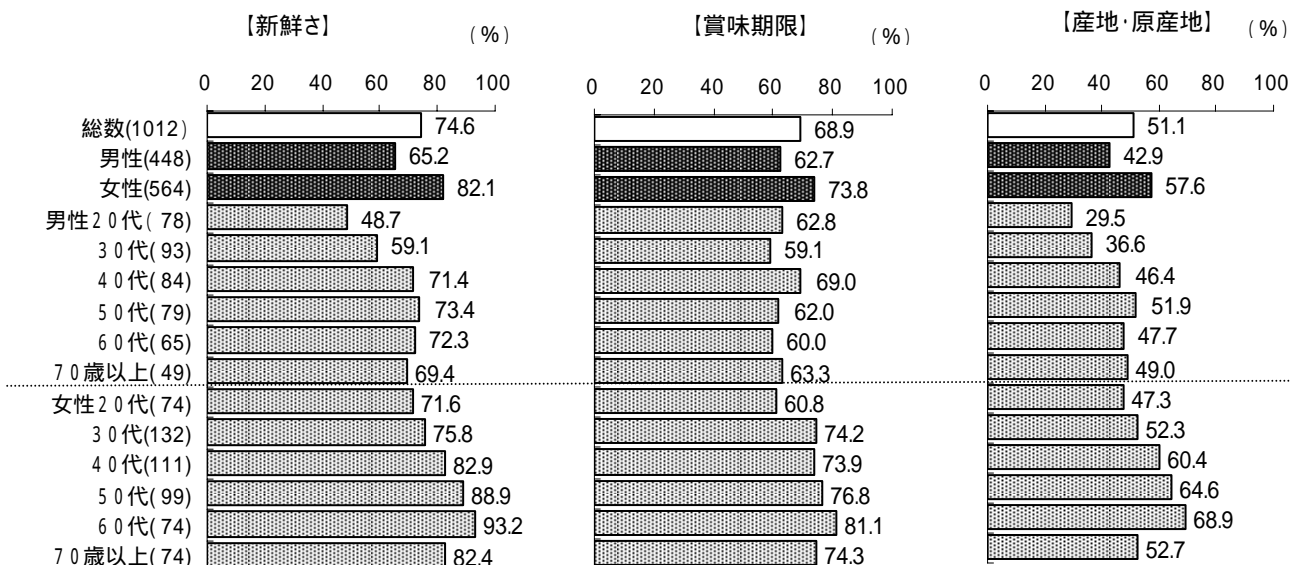


食品を購入する場合の安全面での配慮について複数回答(いくつでも)で尋ねた。

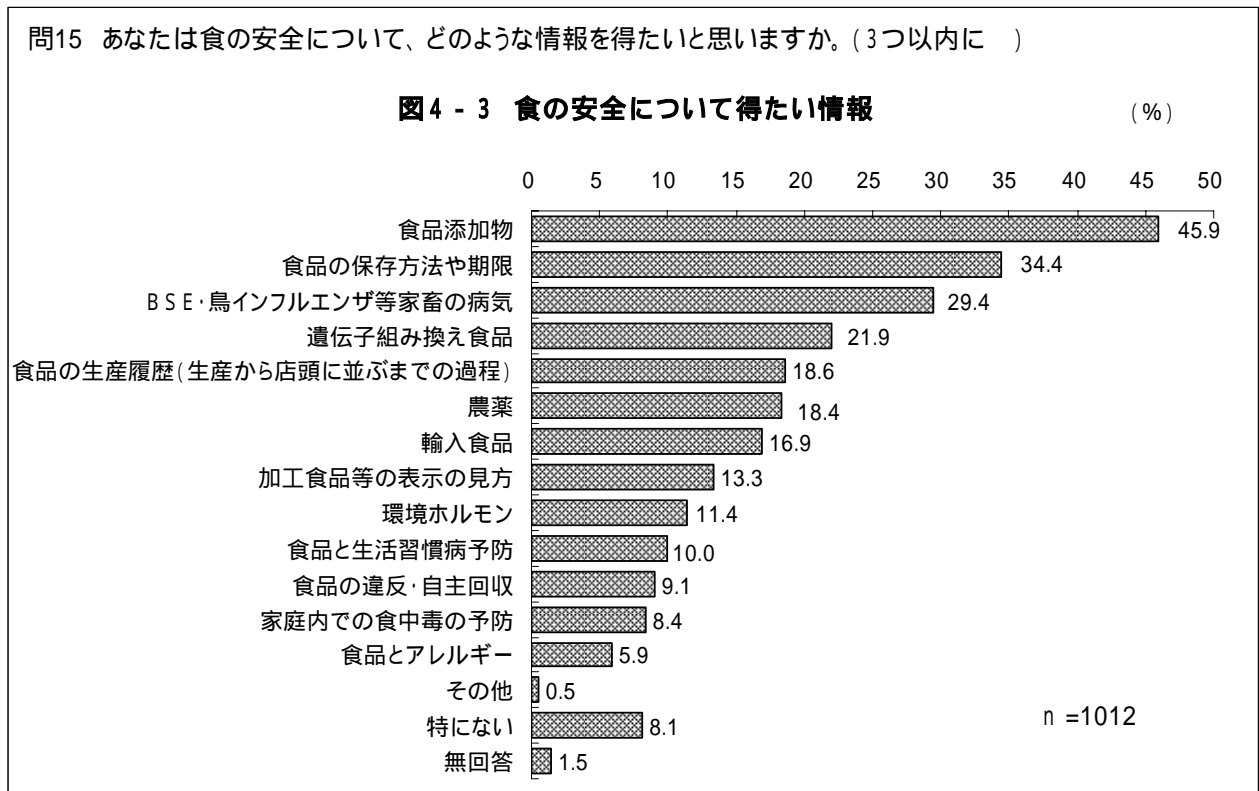
結果は「新鮮さ」が74.6%で最も高く、「賞味期限」(68.9%)、「産地・原産地(原産国)」(51.1%)と続いている。

性・年代別でみると、上位3項目はいずれも男性に比べ女性の割合が高く、女性60代が「新鮮さ」「賞味期限」「産地・原産地」ともに高い。ほとんどの年代で「新鮮さ」がトップとなっているが、男性の20代は「賞味期限」がトップ、30代は「新鮮さ」と「賞味期限」が同率1位となっている。

図4-2 食品購入時の配慮事項 - 性・年代別 - (上位3項目)



(2) 食の安全について得たい情報………トップは「食品添加物」

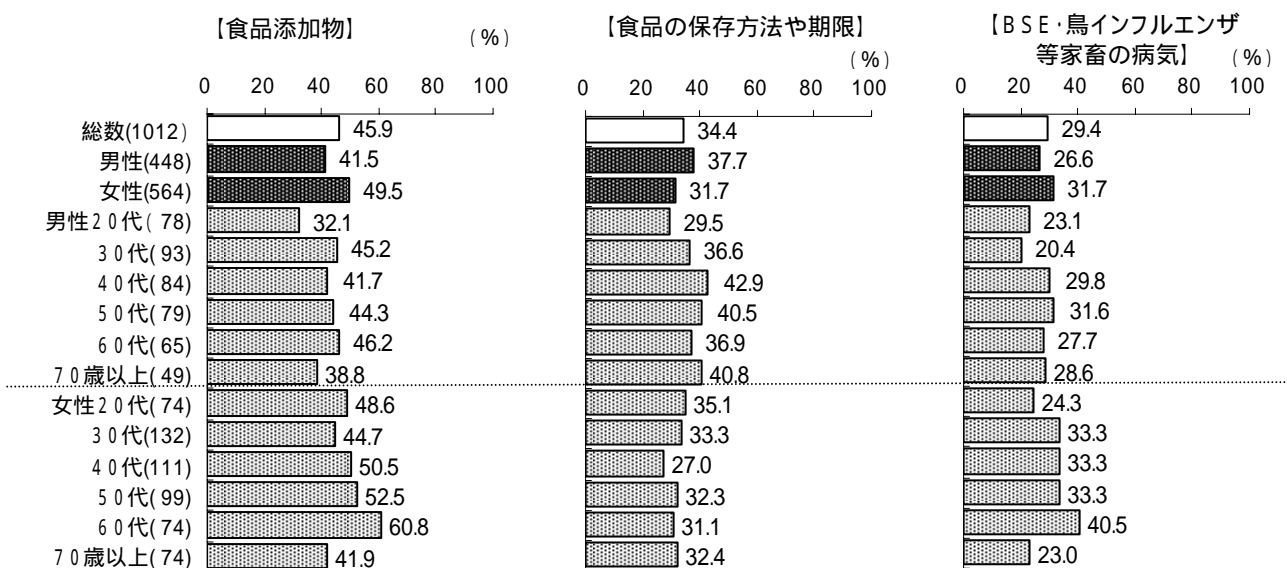


食の安全についてどのような情報を得たいかを複数回答(3つ以内)で尋ねた。

結果は「食品添加物」が45.9%で最も高く、「食品の保存方法や期限」(34.4%)、「BSE・鳥インフルエンザ等家畜の病気」(29.4%)と続いている。

性・年代別でみると、「食品添加物」と「BSE・鳥インフルエンザ等家畜の病気」は女性60代が最も高い。また、「食品の保存方法や期限」は女性より男性が高く、男性40代が42.9%と最も高い。

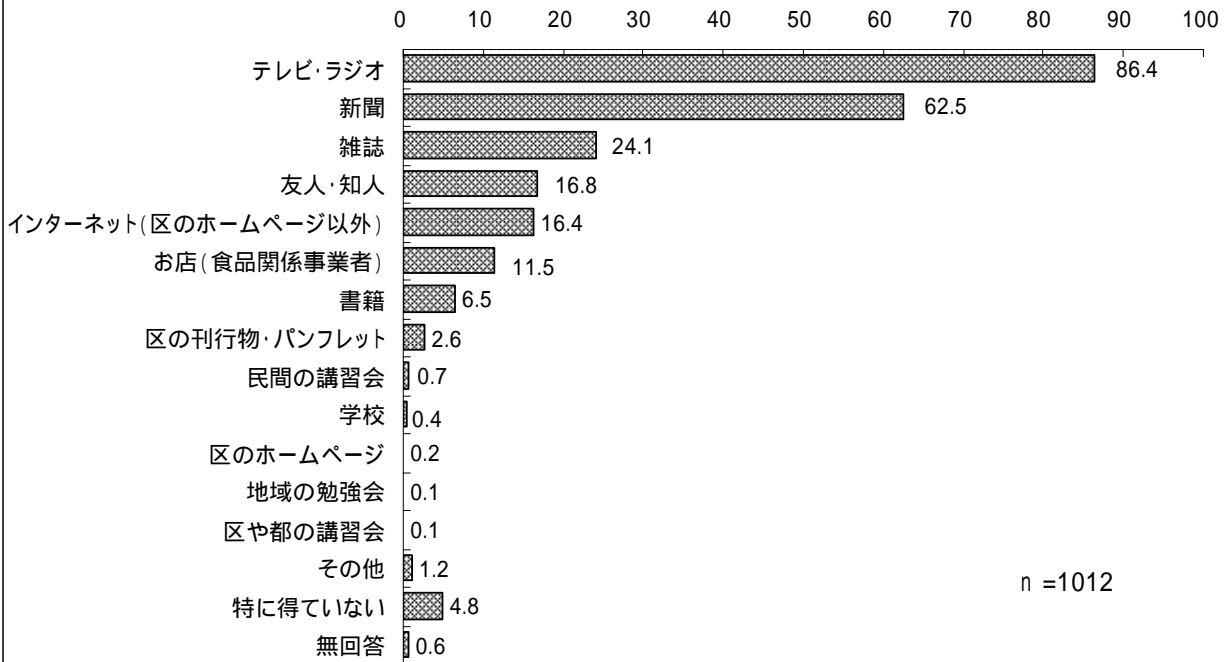
図4 - 4 食の安全について得たい情報 - 性・年代別 - (上位3項目)



(3) 食の安全に関する情報の入手方法……9割近くが「テレビ・ラジオ」より

問16 あなたは普段、食の安全に関する情報をどのような方法で知ることが多いですか。
(3つ以内に)

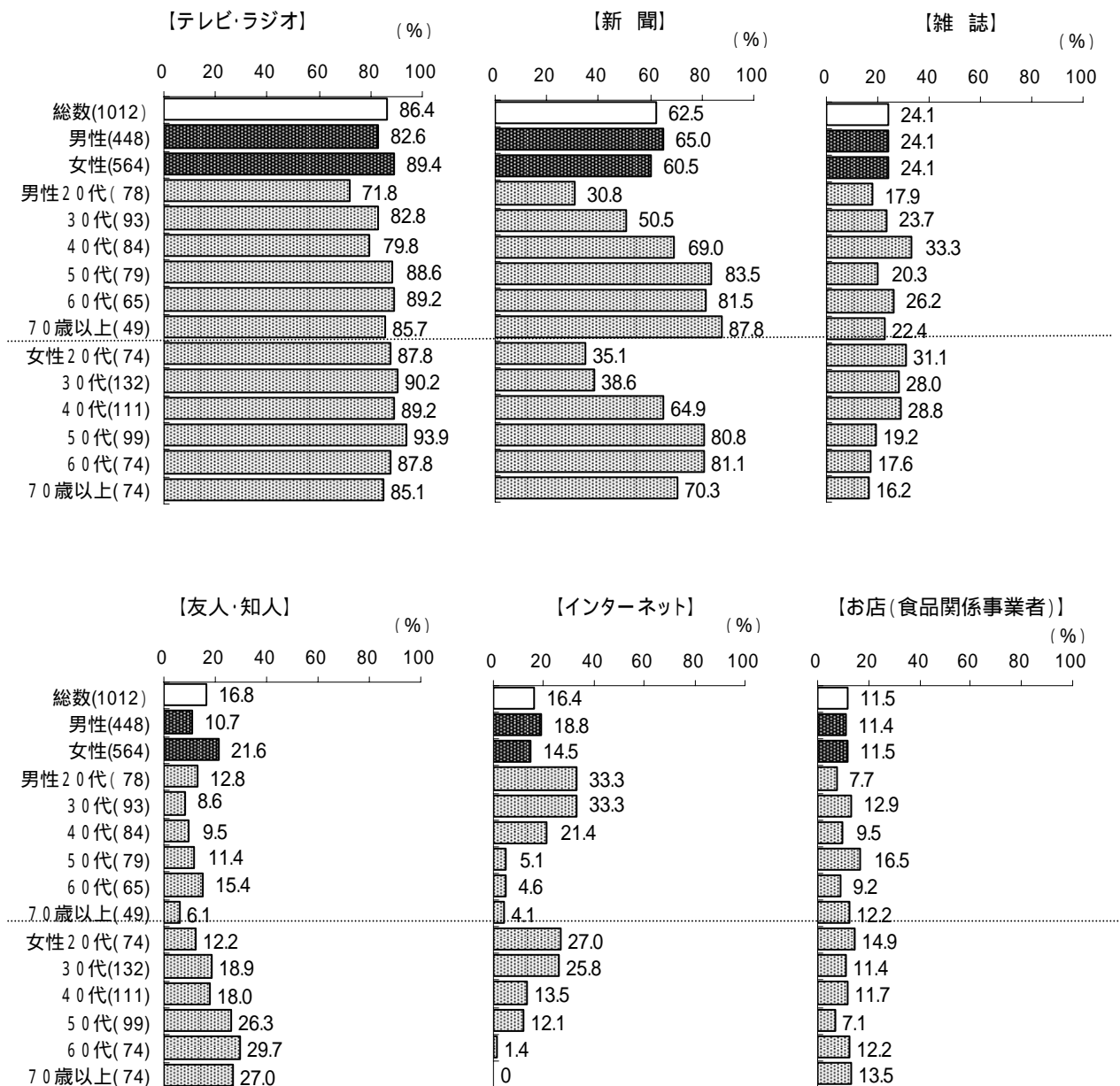
図4 5 食の安全に関する情報の入手方法 (%)



食の安全に関する情報をどのような方法で入手するかを複数回答(3つ以内)で尋ねた。結果はトップの「テレビ・ラジオ」(86.4%)と2位の「新聞」(62.5%)が他を大きく引き離している。

性・年代別で見ると、「テレビ・ラジオ」は男性20代が71.8%で他の年代に比べやや低い、その他の年代は8～9割程度と年代間による差はあまりない。「新聞」は年代による差が大きく若い世代が低い。「雑誌」は男性40代と女性20～40代が3割程度とやや高い。「友人・知人」は50代以降の女性が高く、「インターネット」は若い世代、特に男性20代・30代がいずれも33.3%と高い。

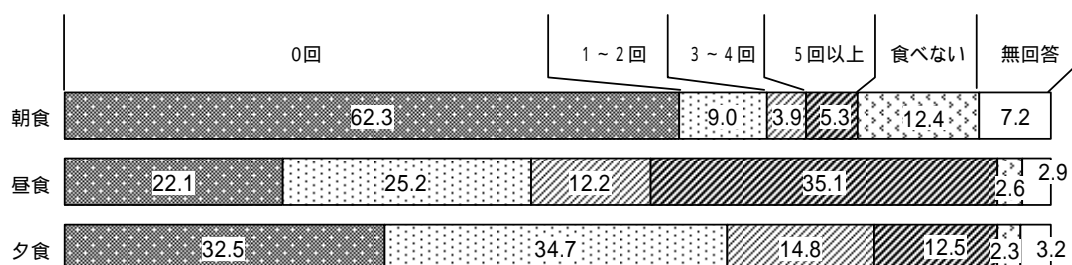
図4 - 6 食の安全に関する情報の入手方法 - 性・年代別 - (上位6項目)



(4) 1週間の外出回数……「朝食」0回 62.3%、一方「食べない」も12.4%

問17 あなたは最近1週間のうち、何回くらい外出(出前、市販の弁当を含む)をしましたか。朝食、昼食、夕食ごとにそれぞれあてはまるものをつけてください。
 食べる習慣がない場合は「食べない」の欄に をしてください。

図4-7 1週間の外出回数



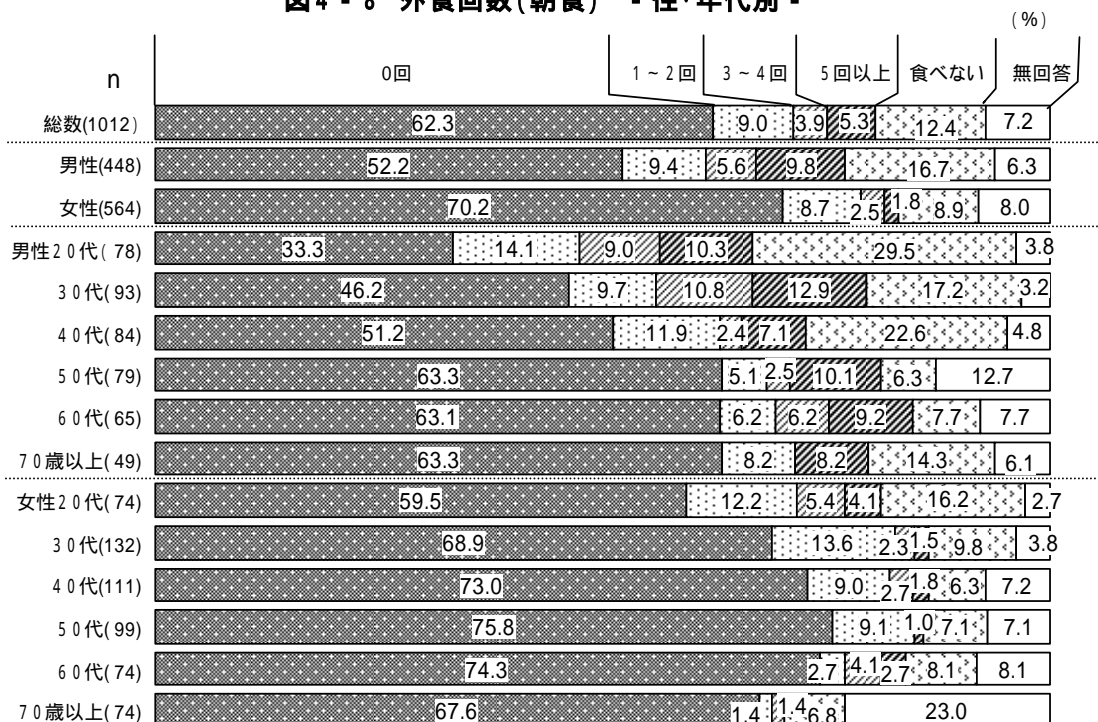
最近1週間の外出回数について朝食、昼食、夕食についてそれぞれ尋ねた。

「朝食」では0回の62.3%が最も割合が高く、『外出をした(「1~2回」「3~4回」「5回以上」の計)』は18.2%であった。「昼食」では5回以上の35.1%が最も高く、『外出をした』は72.5%であった。「夕食」では1~2回の34.7%が最も高く、『外出をした』は62.0%であった。一方、「食べない」と答えた割合は「朝食」の12.4%が最も高かった。

性・年代別でみると、「朝食」では外出が「0回」と答えた割合は男女間では女性が高く、女性50代の75.8%がトップで20代でも59.5%であった。男性では、20代が33.3%と全体で最も低く、30代、40代がこれに次いでいる。

また、朝食を「食べない」と答えた割合が最も高いのは、男性20代の29.5%で40代でも22.6%を占めている。

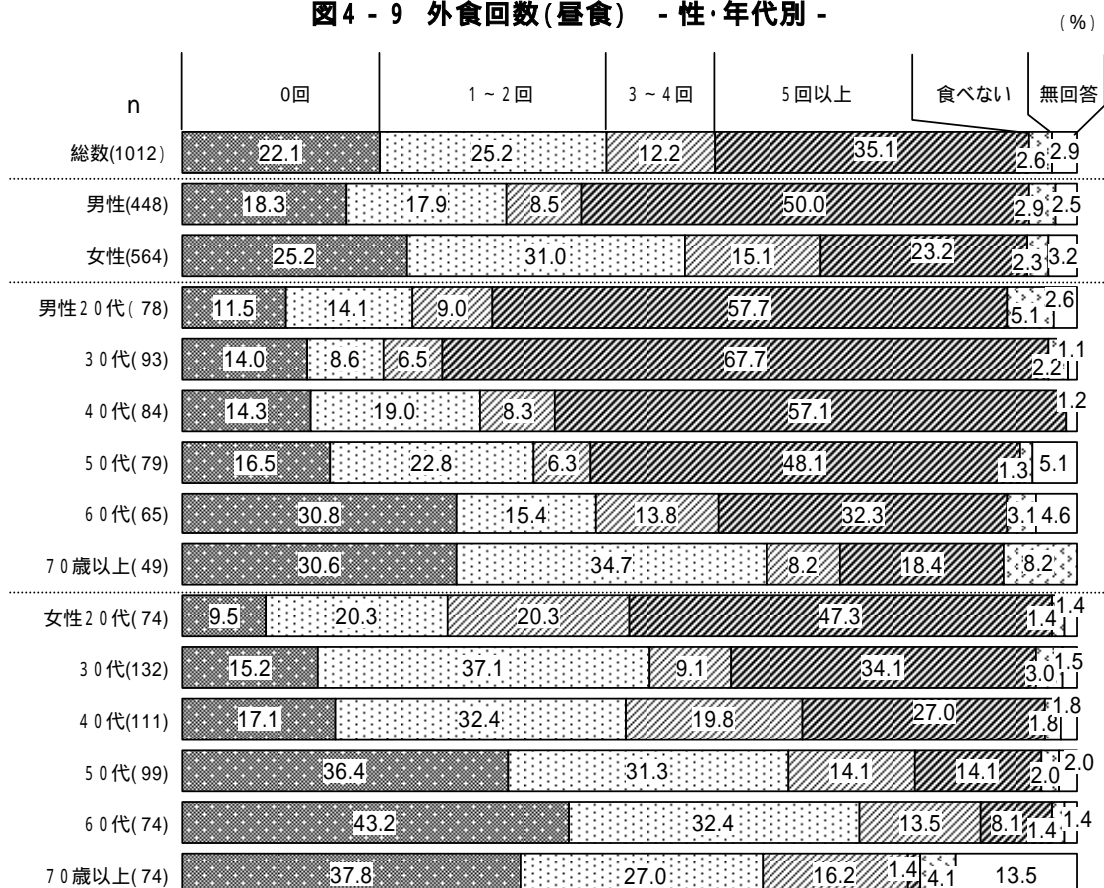
図4-8 外出回数(朝食) - 性・年代別 -



昼食の外出回数を性・年代別で見ると、昼食の外出回数として全体で最も割合の高かった「5回以上」は、男性30代の67.7%がトップで、これを含め男性の20～40代が5割を超えている。一方、女性で「5回以上」と答えた割合は、20代女性の47.3%をトップに年代が上がるにつれて減少傾向にある。

また、昼食の外出回数が「0回」と答えた割合が高かったのは、男性60代以降と女性50代以降で、ともに3割を超え、女性60代の43.2%が最も高い。

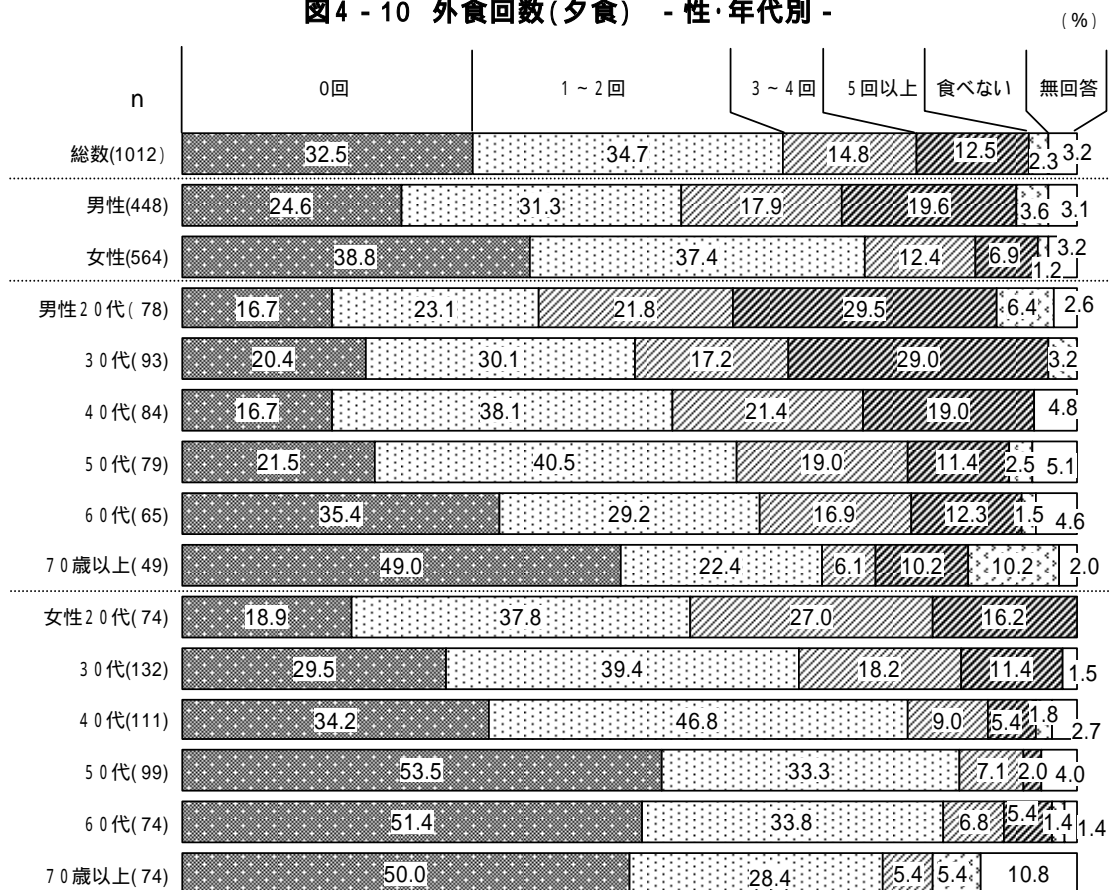
図4-9 外出回数(昼食) - 性・年代別 -



夕食の外出回数を性・年代別で見ると、夕食の外出回数として全体で最も割合が高かった「1～2回」は、女性40代の46.8%がトップだった。外出回数が「5回以上」では、男性20代・30代が3割程度と多い。

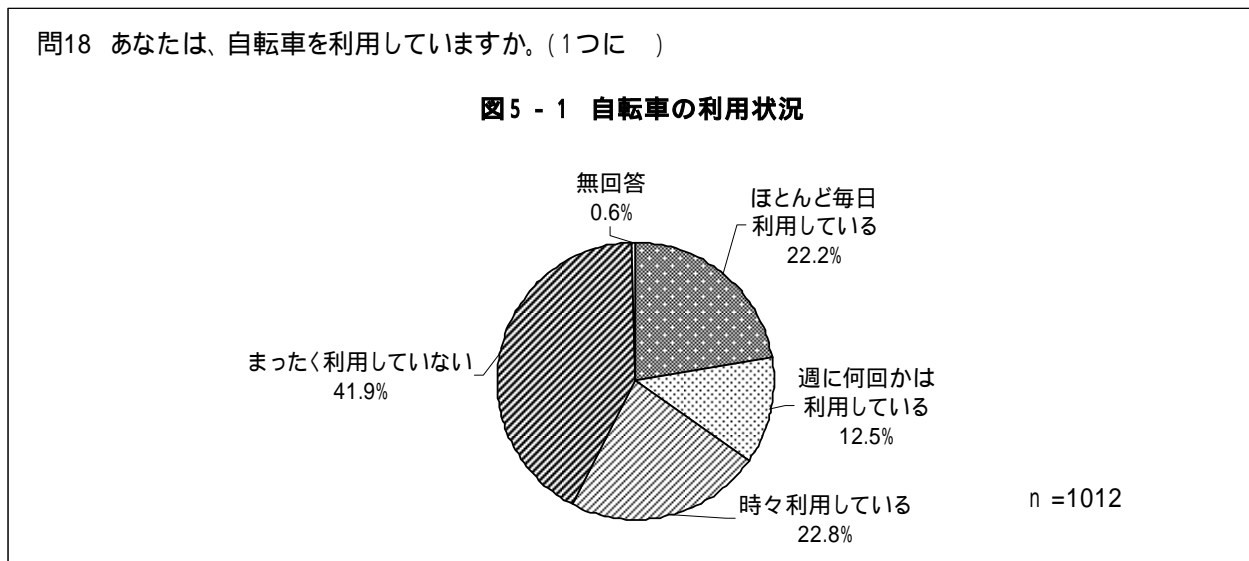
また、「0回」と答えた人は男性では70歳以上と女性50代～70歳以上が5割前後で多く、逆に男性20代～50代と女性20代が比較的少ない。

図4 - 10 外出回数(夕食) - 性・年代別 -



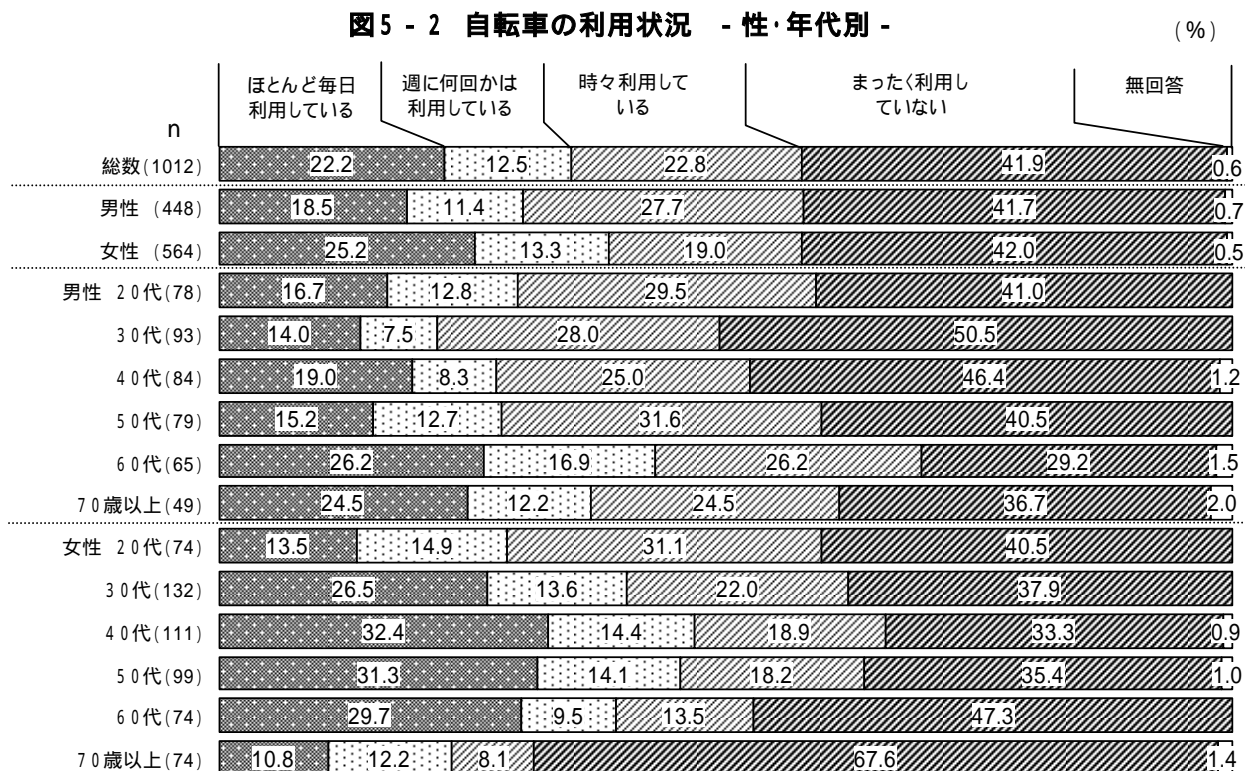
5. 自転車の利用

(1) 自転車の利用状況……約6割が『利用層』（「ほとんど毎日利用」+「週に何回かは利用」+「時々利用」）



まず、日頃どの程度、自転車を利用しているかを尋ねた。その結果「ほとんど毎日利用している」が22.2%、「週に何回かは利用している」が12.5%、「時々利用している」が22.8%で、これを合計した『利用層』は57.5%となっている。

『利用層』を性・年代別でみると、男女間ではほとんど差異がなく、最も利用しているのは男性60代の69.3%で、女性40代、50代が続いている。利用の少ない年代は男性では30代、続いて40代で、女性70代は目立って少なくなっている。

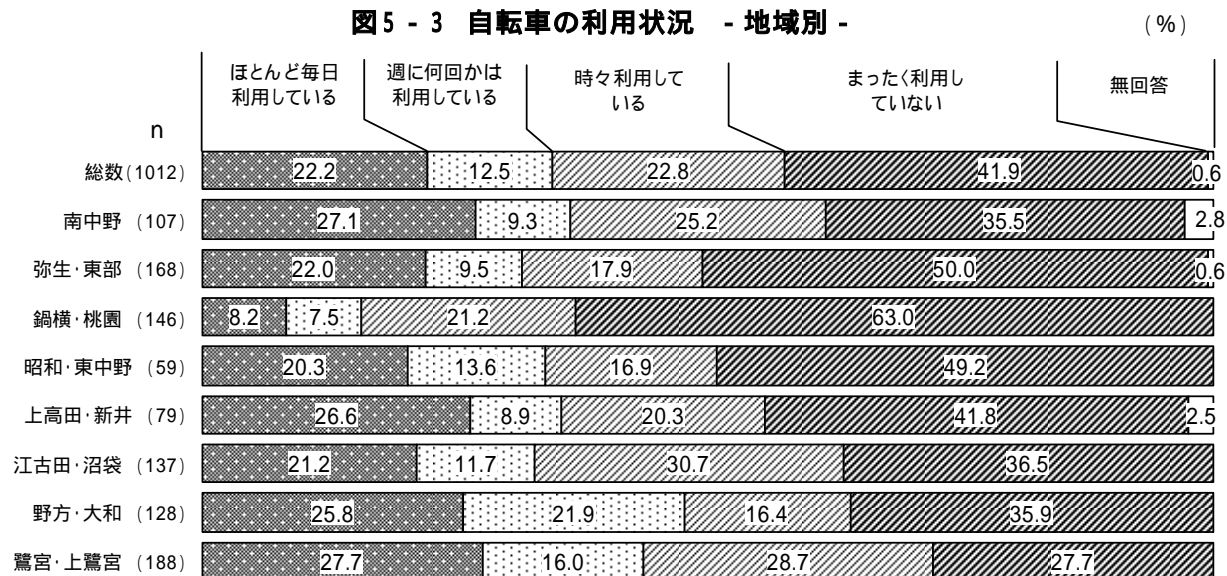


地域別の『利用層』は鷺宮・上鷺宮が72.4%で最も多く、続いて野方・大和、江古田・沼袋、南中野の順で、いずれも6割を超えている。

「ほとんど毎日利用している」が多かったのは鷺宮・上鷺宮の27.7%で、南中野の27.1%がこれに続く。「週に何回かは利用している」は野方・大和の21.9%が他の地域に比べて多くなっている。「時々利用している」は江古田・沼袋の30.7%がトップで、鷺宮・上鷺宮の28.7%がこれに続いている。

これに対し、最も『利用層』が少なかったのは鍋横・桃園の36.9%で、その中の「ほとんど毎日利用している」も同地域が8.2%と最も低かった。

図5 - 3 自転車の利用状況 - 地域別 -

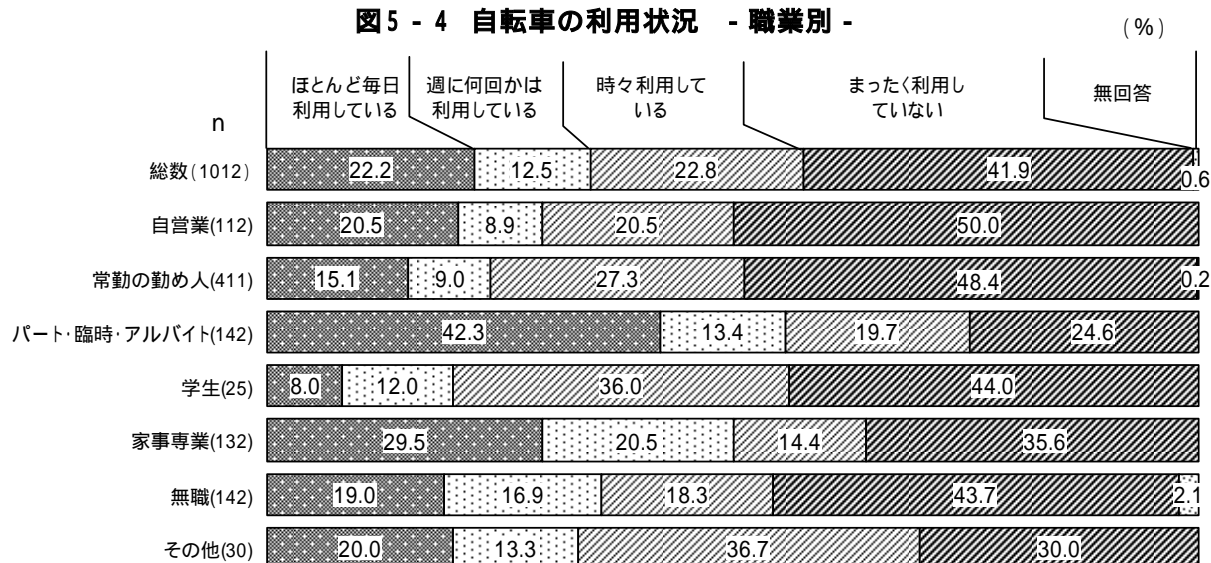


職業別の『利用層』はパート・臨時・アルバイトが75.4%で最も高く、家事専業も64.4%と高い。

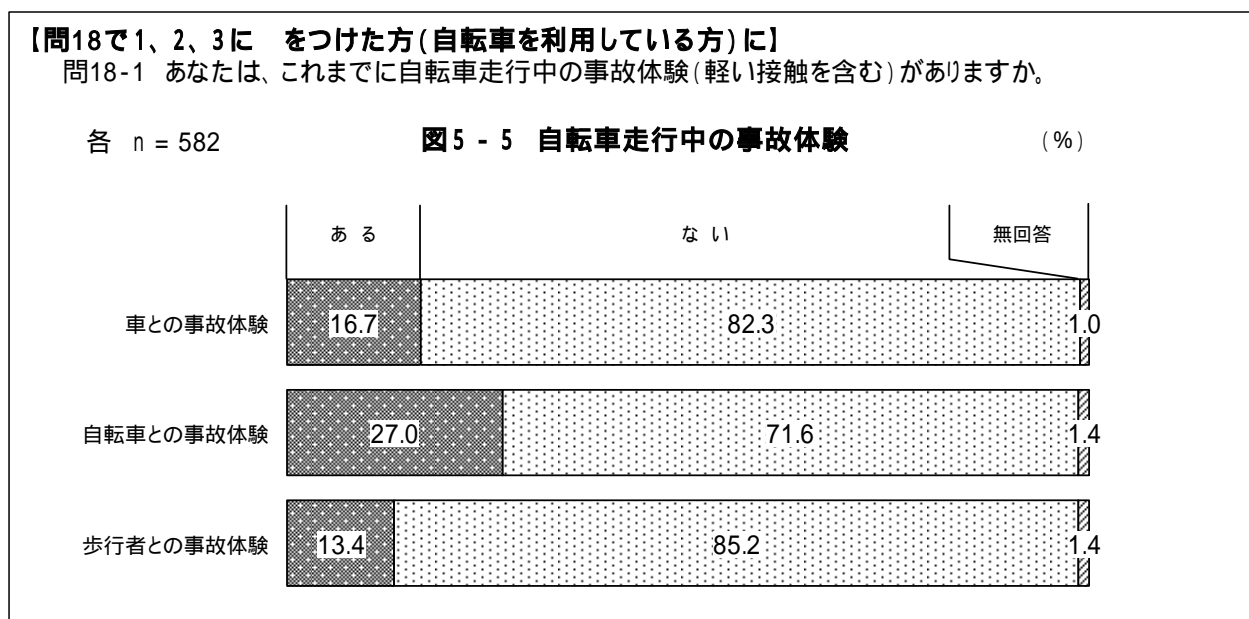
「ほとんど毎日利用している」の割合が高かったのはパート・臨時・アルバイトの42.3%で、家事専業の29.5%がこれに続く。「週に何回かは利用している」は家事専業の20.5%が他の職業に比べて高く、「時々利用している」は学生の36.0%が高い。

これに対し、最も『利用層』の割合が低かったのは自営業の49.9%となっている。

図5 - 4 自転車の利用状況 - 職業別 -



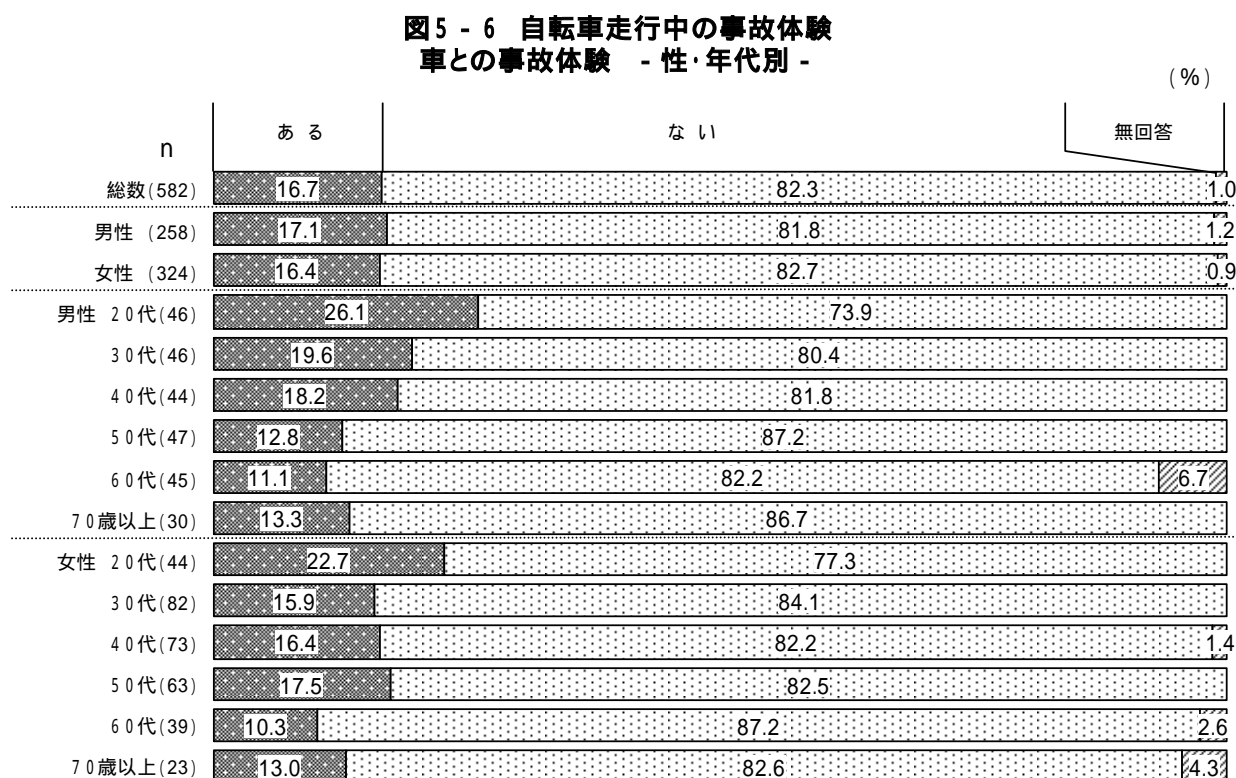
(2) 自転車走行中の事故体験……利用層の約3割が「自転車との事故体験」



自転車を「ほとんど毎日利用する」「週に何回か利用する」「時々利用する」という『利用層』に、自転車走行中の事故体験の有無について尋ねた。

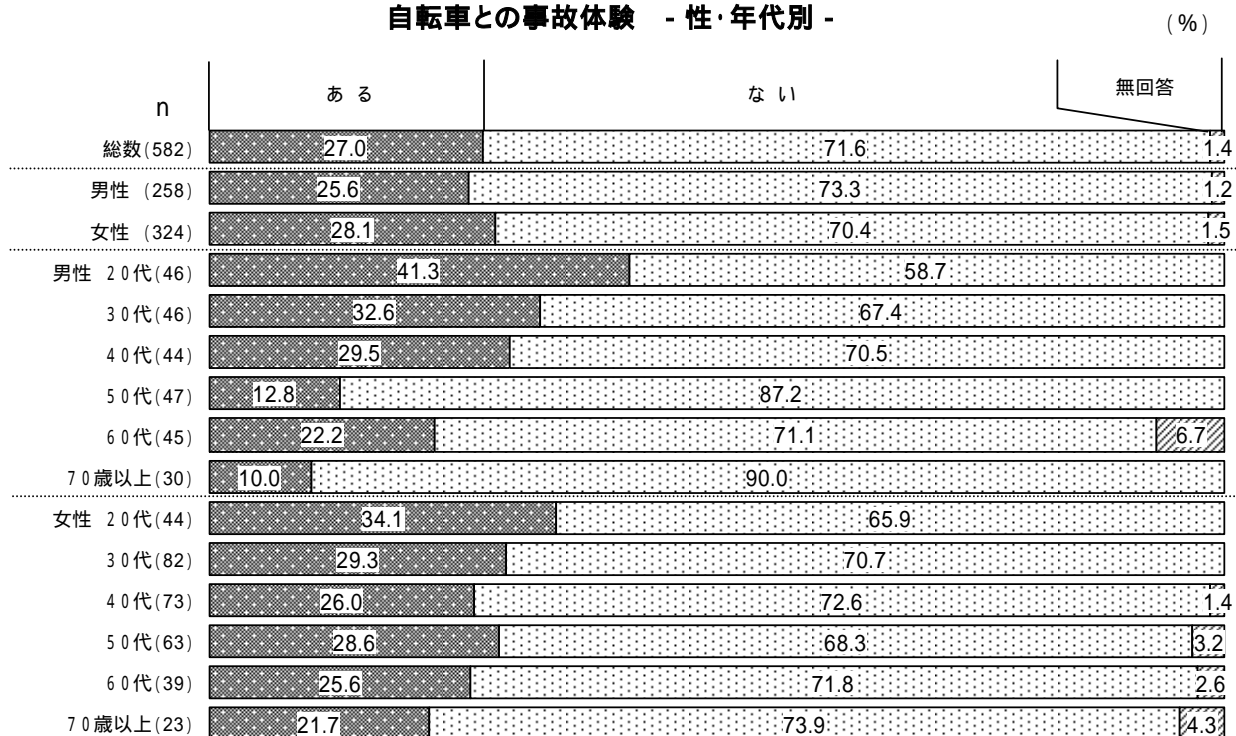
「ある」と答えた割合が最も高かったのは「自転車との事故体験」(27.0%)で、「車との事故体験」(16.7%)、「歩行者との事故体験」(13.4%)と続く。

また、性・年代別にみると「車との事故体験」では、「ある」と答えた人の割合は男女間の差異は少ないものの、男女とも20代が最も高く、男性は70歳以上を除き年代が上がるにつれて減少する。



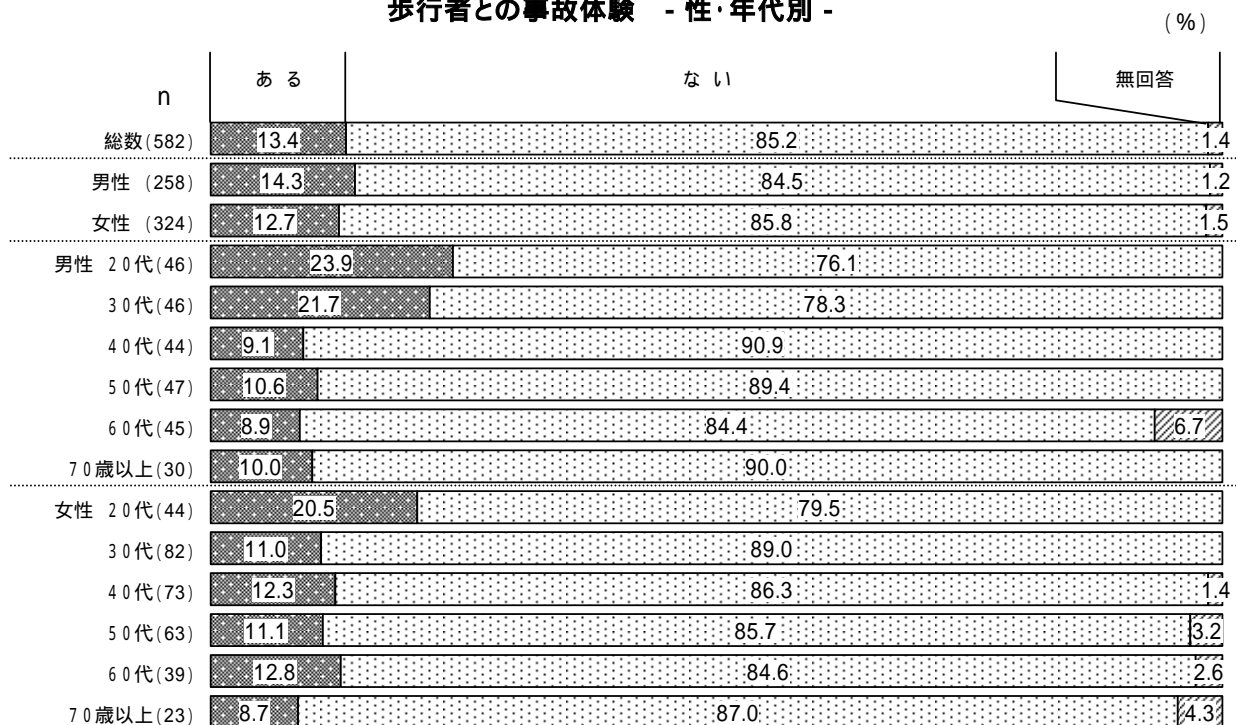
性・年代別の「自転車との事故体験」では、「ある」と答えた人の割合は女性が男性に比べやや高く、男性 20 代が 41.3%と最も高くなっており、逆に男性 70 歳以上が 10.0%と最も低い。

図5 - 7 自転車走行中の事故体験
自転車との事故体験 - 性・年代別 -



性・年代別の「歩行者との事故体験」では、「ある」と答えた人の割合は男性が女性に比べやや高く、男性 20 代、30 代と女性 20 代が 20%を超えているが、その他の年代は 10%前後で大きな差は見られない。

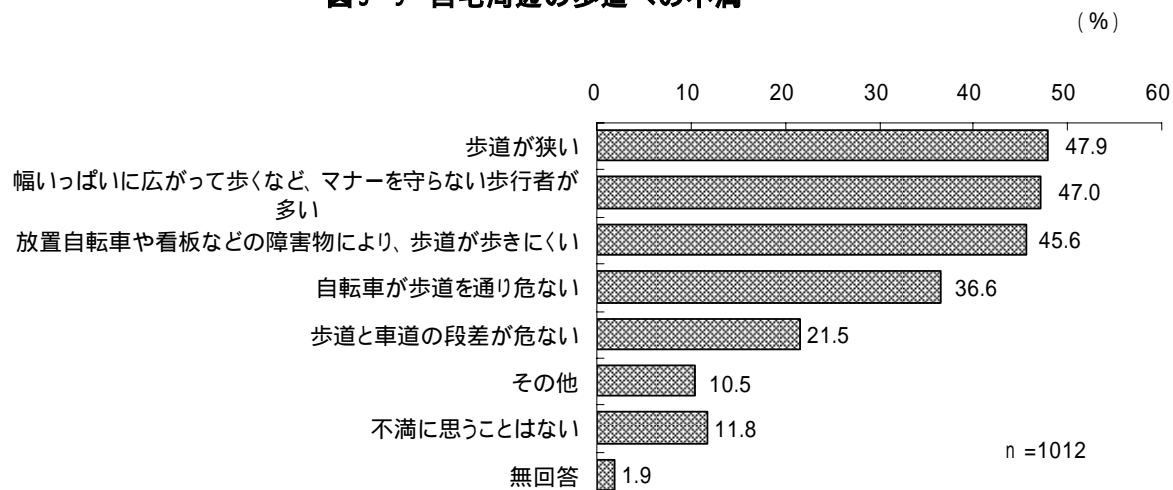
図5 - 8 自転車走行中の事故体験
歩行者との事故体験 - 性・年代別 -



(3) 自宅周辺の歩道への不満……半数近くが「歩道が狭い」「マナーを守らない歩行者が多い」「障害物により歩道が歩きにくい」を選択

問19 あなたは、ご自宅周辺の歩道を歩いていて不満に思うことがありますか。(いくつでも)

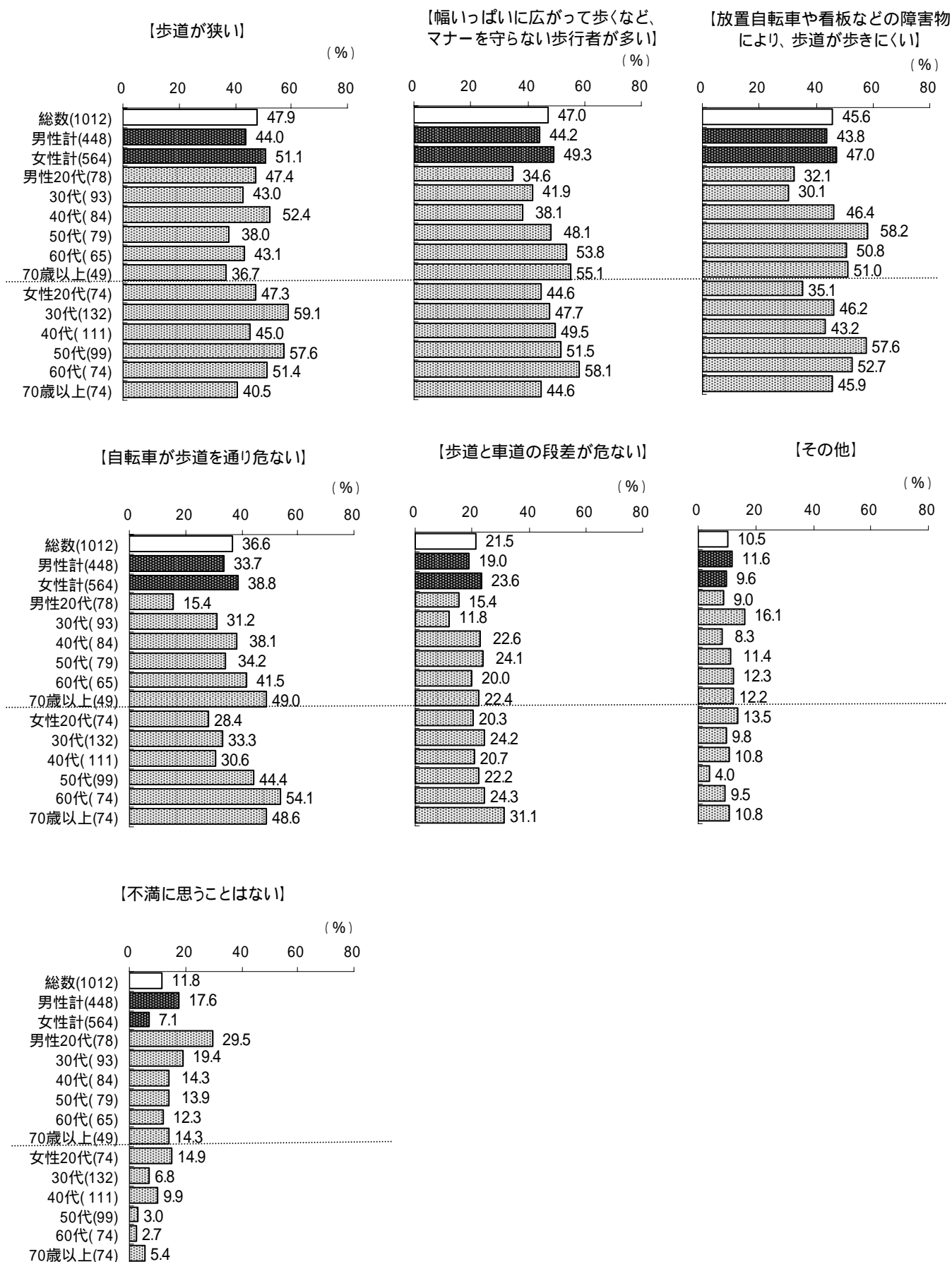
図5 9 自宅周辺の歩道への不満



自宅周辺の歩道への不満を尋ねたところ、「歩道が狭い」が47.9%で最も多く挙げられ、「幅いっぱいになって歩くなど、マナーを守らない歩行者が多い」47.0%、「放置自転車や看板などの障害物により、歩道が歩きにくい」45.6%が続いている。

性・年代別でみると「歩道が狭い」は、女性30代の59.1%が最も高く、男性70歳以上が36.7%と最も低い。また、「幅いっぱいになって歩くなど、マナーを守らない歩行者が多い」は、女性60代の58.1%が最も高くなっており、男性20代が34.6%と最も低い。「放置自転車や看板などの障害物により、歩道が歩きにくい」は、男性50代の58.2%が最も高く、男性30代が30.1%と最も低い。

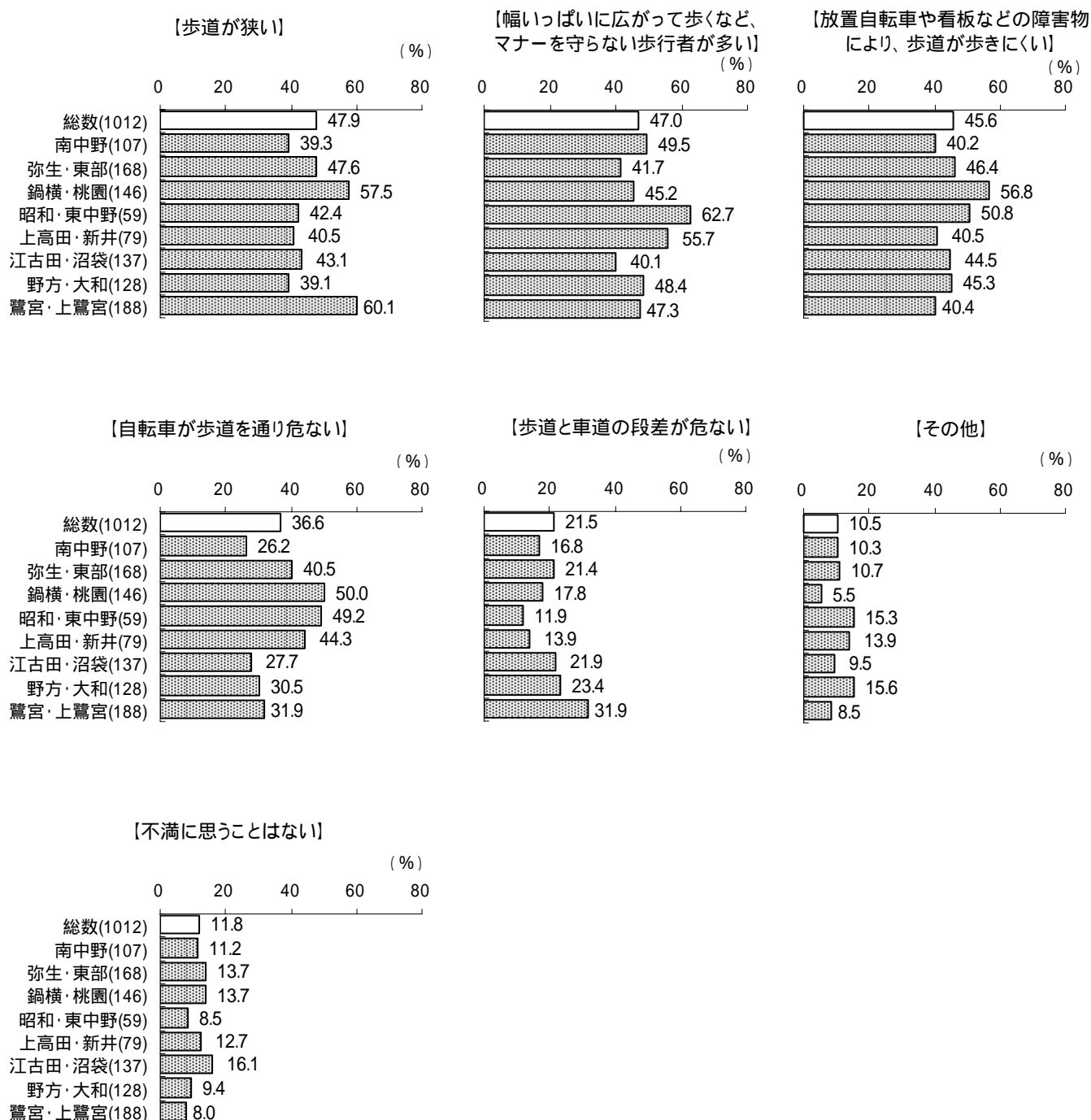
図5 - 10 自宅周辺の歩道への不満 - 性・年代別 -



地域別でみると「歩道が狭い」は、鷺宮・上鷺宮の60.1%、鍋横・桃園の57.5%が高く、南中野、野方・大和はともに4割未満と他の地域に比べやや低い。また、「幅いっぱい広がって歩くなど、マナーを守らない歩行者が多い」は、昭和・東中野の62.7%が最も高く、江古田・沼袋の40.1%が最も低い。

「放置自転車や看板などの障害物により、歩道が歩きにくい」は、鍋横・桃園の56.8%が最も高く、南中野、上高田・新井、鷺宮・上鷺宮がそれぞれ4割程度と他の地域に比べやや低くなっている。

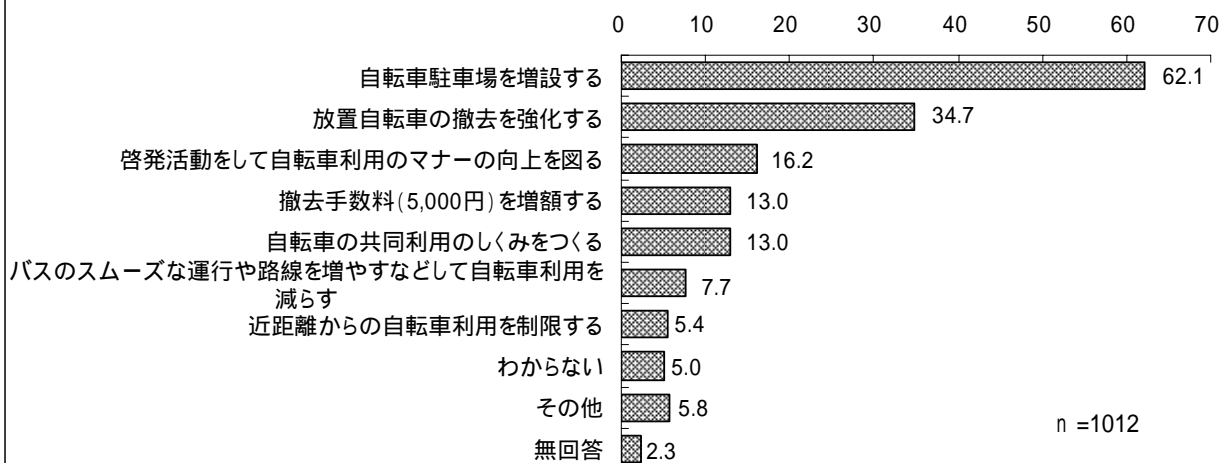
図5 - 11 自宅周辺の歩道への不満 - 地域別 -



(4) 放置自転車をなくすための方策……約6割が「自転車駐車を増設する」

問20 自転車は手軽で便利な乗り物ですが、駅周辺などの放置自転車が後をたたず、通行の妨げになっています。放置自転車をなくすため、どのような施策を優先して行うべきだと思いますか。(2つ以内に)

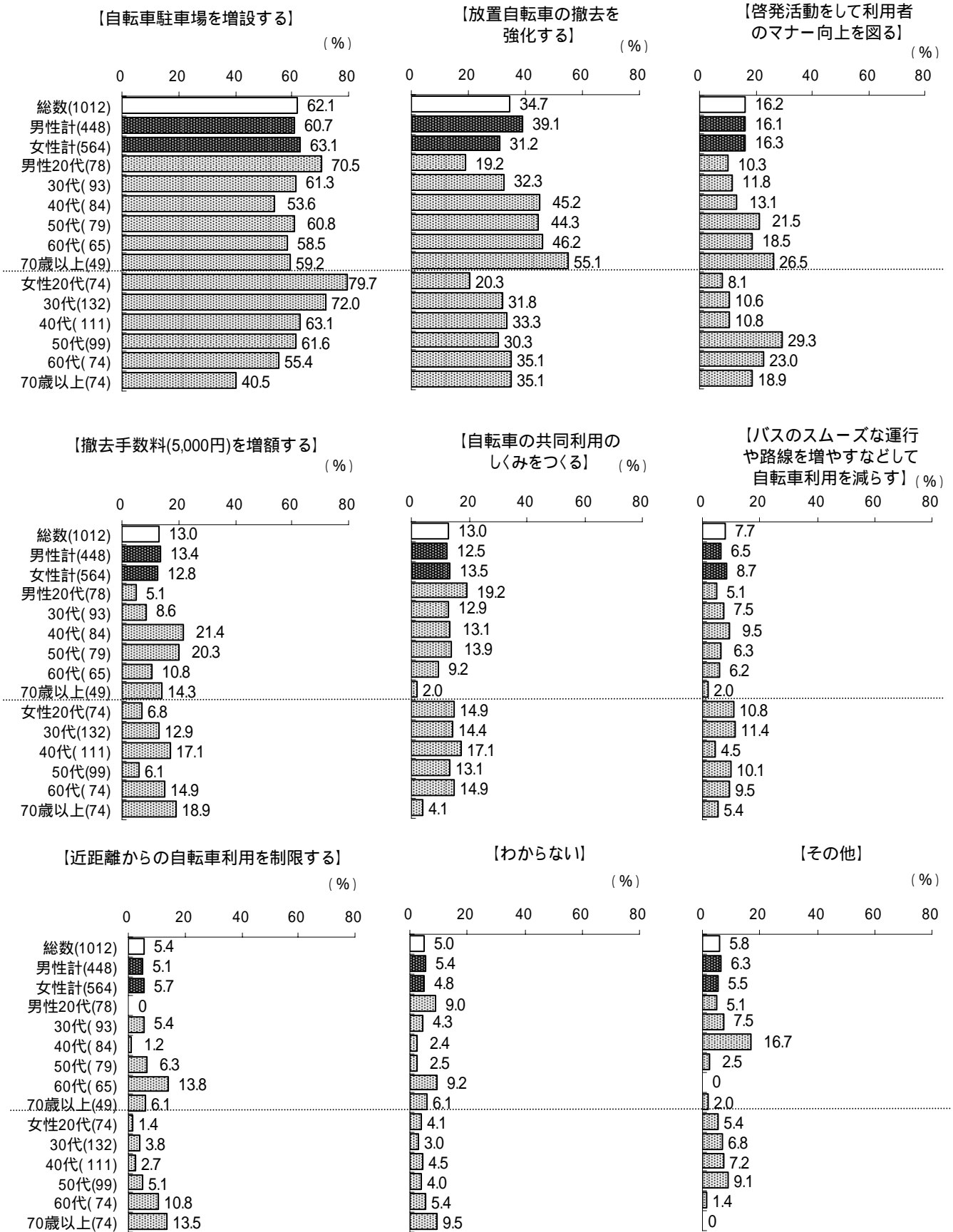
図5 12 放置自転車をなくすための方策 (%)



放置自転車をなくすための方策を尋ねたところ、「自転車駐車を増設する」が 62.1%で最も高く、「放置自転車の撤去を強化する」34.7%、「啓発活動をして自転車利用のマナーの向上を図る」16.2%が続いている。

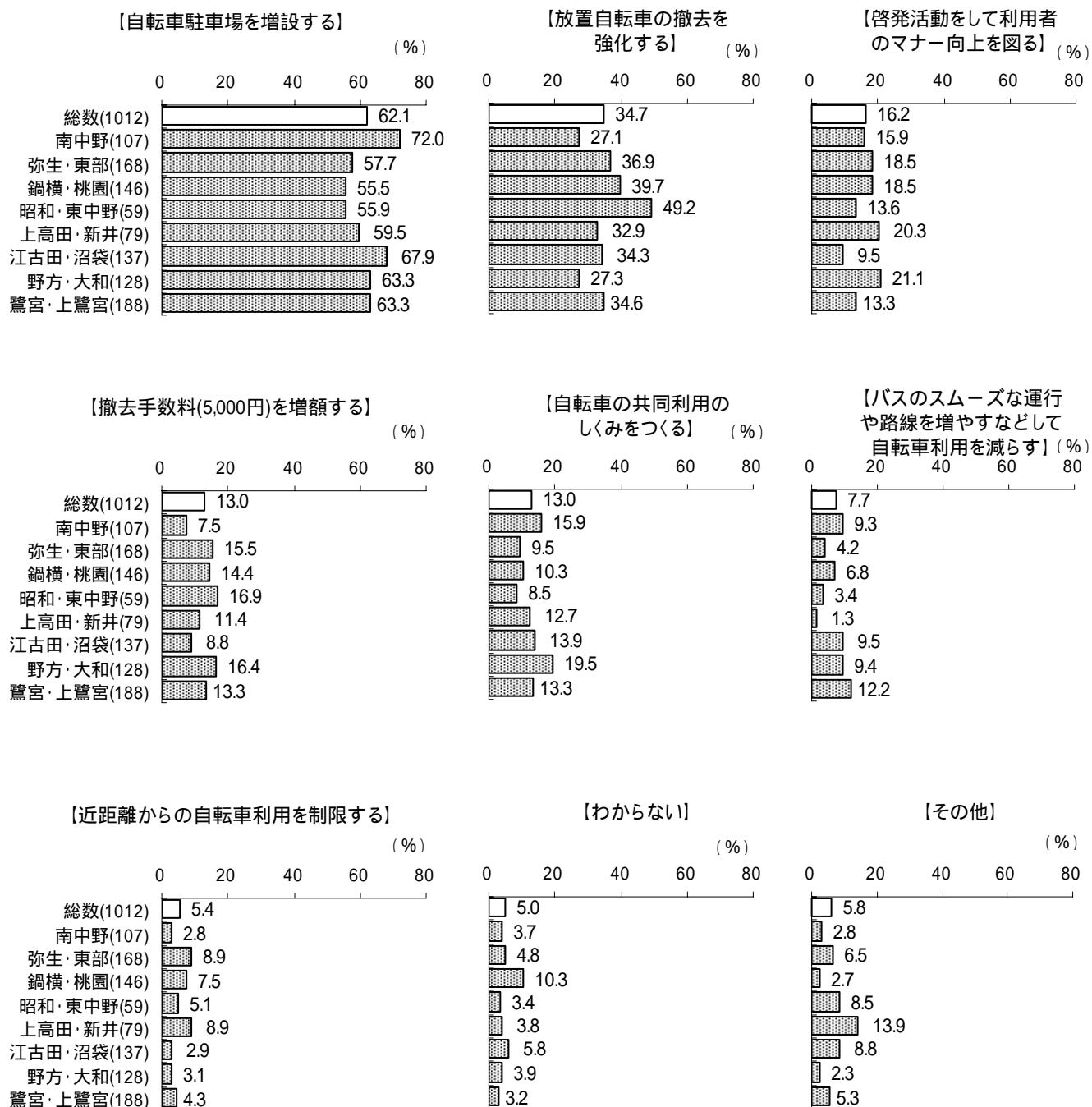
性・年代別でみると「自転車駐車を増設する」は、女性 20 代の 79.7%をトップに男女とも 20 代・30 代の若い層の割合が高くなっている。また、「放置自転車の撤去を強化する」は、男性 70 歳以上の 55.1%が最も高く、男女とも 20 代が低い。「啓発活動をして利用者のマナー向上を図る」は、女性 50 代の 29.3%が最も高く、男性は年代が上がるにつれて高くなる傾向にある。

図5 - 13 放置自転車をなくすための方策 - 性・年代別 -



地域別でみると「自転車駐車を増設する」は、南中野の72.0%がトップで、鍋横・桃園、昭和・東中野はともに5割半ばと他の地域に比べ低くなっている。また、「放置自転車の撤去を強化する」は、昭和・東中野の49.2%が最も高く、南中野(27.1%)、野方・大和(27.3%)が低い。「啓発活動をして利用者のマナー向上を図る」は、野方・大和の21.1%が最も高く、江古田・沼袋の9.5%が最も低い。

図5 - 14 放置自転車をなくすための方策 - 地域別 -



6. 施策への要望

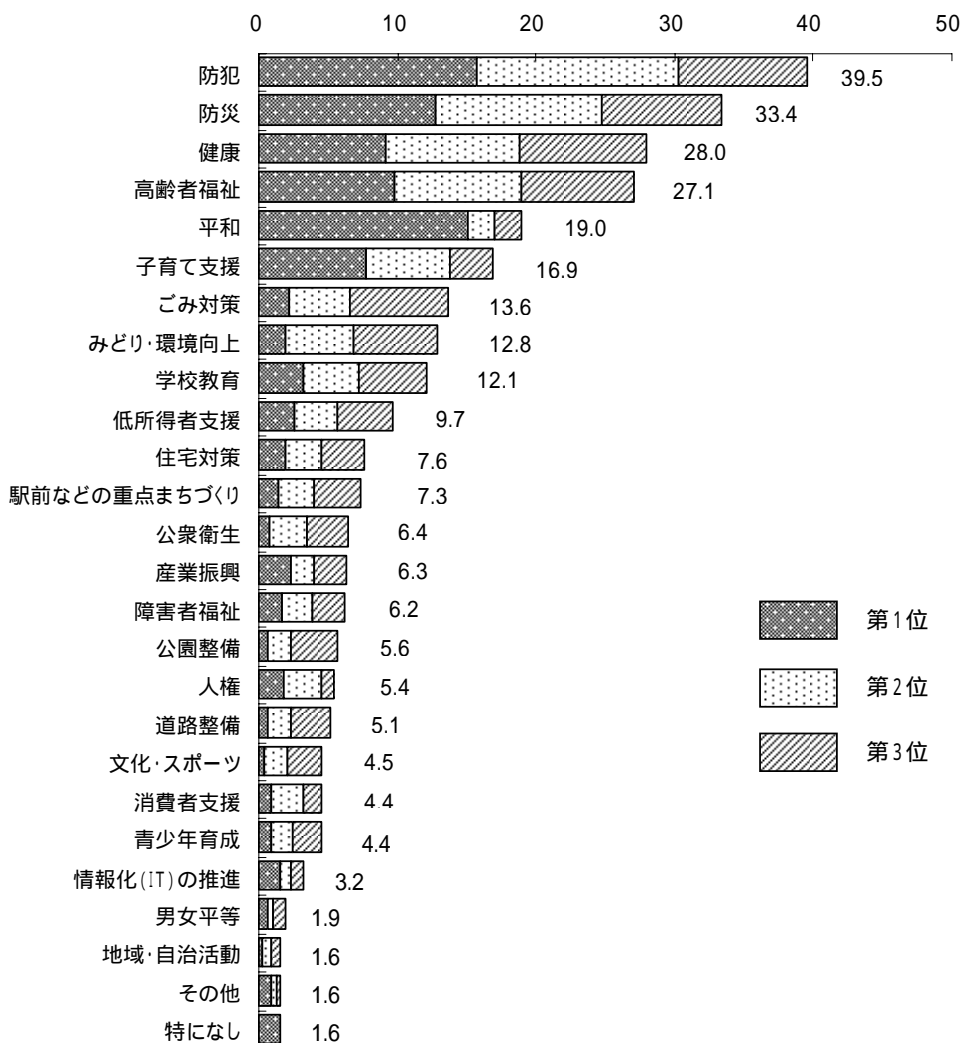
(1) 施策への要望………トップは「防犯」。 トップ3は2年連続「防犯、防災、健康」

問21 つぎにあげる施策の中で、今後特に力を入れてほしいものを3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけてください。

n = 1012

図6 - 1 施策への要望

(%)



24項目の中から、今後特に力を入れてほしい施策を3つ以内で第1位から第3位までの順位をつけて挙げてもらった。その結果、第1位から第3位までを合計すると、「防犯」が39.5%で最も高く、「防災」(33.4%)が2位となり、「健康」(28.0%)、「高齢者福祉」(27.1%)が続いた。

過去 10 年間の上位 6 項目の推移を見ると、2004 年度にトップであった「防犯」が今回も 1 位で、昨年度 1 位の「防災」が 2 位、「健康」は 3 年連続で 3 位となった。2003 年まで 11 年間連続 1 位だった高齢者福祉は昨年同様 4 位だった。

また、これまでほとんど上位に挙げられなかった「平和」が今回は 5 位だった。

表 6 - 1 2006(平成 18 年度)までの施策への要望の時系列推移
第 1 位～第 3 位の合計値による上位 6 項目

(%)

| 実施年度 ()は回答者数 | 第 1 位 | 第 2 位 | 第 3 位 | 第 4 位 | 第 5 位 | 第 6 位 |
|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| 1997 年 (1,062) | 高齢者福祉 (50.4) | 環境公敵策 (28.7) | 防災対策 (26.8) | 公園・緑化推進 (21.8) | 障害者福祉 (17.3) | 住宅施策 (16.0) |
| 1998 年 (1,063) | 高齢者福祉 (53.5) | 環境公敵策 (35.6) | 防災対策 (21.1) | 公園・緑化推進 (18.2) | 省資源施策 (リサイクル 等) (15.6) | 障害者福祉 (15.2) |
| 1999 年 (1,057) | 高齢者福祉 (44.9) | 防災対策 (32.3) | 環境公敵策 (30.8) | 住宅施策 (20.0) | 省資源施策 (リサイクル 等) (19.3) | 公園・緑化推進 (19.0) |
| 2000 年 (1,067) | 高齢者福祉 (47.1) | 環境公敵策 (36.3) | 防災対策 (23.5) | 省資源施策 (リサイクル 等) (20.5) | 学校教育 (17.3) | 住宅施策 (16.1) |
| 2001 年 (1,122) | 高齢者福祉 (45.3) | 環境公敵策 (32.0) | 防災対策 (25.3) | 省資源施策 (リサイクル 等) (20.2) | 学校教育 (15.3) | 住宅施策 (15.3) |
| 2002 年 (1,070) | 高齢者福祉 (49.2) | 環境公敵策 (31.6) | 防災対策 (19.4) | 学校教育 (17.5) | 住宅施策 (15.4) | 省資源施策 (リサイクル 等)(12.7) |
| 2003 年 (1,084) | 高齢者福祉 (38.4) | 環境公敵策 (29.6) | 防災対策 (27.7) | 住宅施策 (14.8) | 公園・緑化推進 (14.7) | 文化・スポーツ 施策 (13.7) |
| 2004 年 (1,087) | 防犯 (43.6) | 高齢者福祉 (25.5) | 健康 (24.9) | 防災 (20.2) | みどり・環境向 上 (17.6) | 平和 (16.8) |
| 2005 年 (1,064) | 防災 (34.5) | 防犯 (34.1) | 健康 (31.7) | 高齢者福祉 (28.8) | 子育て支援 (16.8) | ごみ対策 (15.6) |
| 2006 年 (1,012) | 防犯 (39.5) | 防災 (33.4) | 健康 (28.0) | 高齢者福祉 (27.1) | 平和 (19.0) | 子育て支援 (16.9) |

表 6 - 2 施策への要望 順位の変化

| | 2002年 | 2003年 | 2004年 | 2005年 | 今回 |
|-----|------------------------------------|--------------------------|--------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1位 | 高齢者福祉 49.2% | 高齢者福祉 38.4% | 防犯 43.6% (新規) | 防災 34.5% | 防犯 39.5% |
| 2位 | 環境・公害対策 31.6% | 環境・公害対策 29.6% | 高齢者福祉 25.5% | 防犯 34.1% | 防災 33.4% |
| 3位 | 防災対策 19.4% | 防災対策 27.7% | 健康 24.9% (新規) | 健康 31.7% | 健康 28.0% |
| 4位 | 学校教育 17.5% | 住宅対策 14.8% | 防災 20.2% | 高齢者福祉 28.8% | 高齢者福祉 27.1% |
| 5位 | 住宅施策 15.4% | 公園・緑化推進 14.7% | みどり・環境向上 17.6% (新規) | 子育て支援 16.8% | 平和 19.0% |
| 6位 | 省資源施策 12.7% | 文化・スポーツ施策 13.7% | 平和 16.8% | ごみ対策 15.6% | 子育て支援 16.9% |
| 7位 | 都市計画など まちづくり 12.2% | 低所得者施策 13.5% | 子育て支援 14.1% (新規) | みどり・環境向上 14.4% | ごみ対策 13.6% |
| 8位 | 障害者福祉 11.7% | 都市計画など まちづくり 13.1% | ごみ対策 12.7% (新規) | 平和 13.4% | みどり・環境向上 12.8% |
| 9位 | 児童福祉 11.6% | 学校教育 12.5% | 駅前などの重点 まちづくり 11.7% (新規) | 学校教育 10.5% | 学校教育 12.1% |
| 10位 | 公園・緑化推進 11.1% | 児童福祉 11.7% | 文化・スポーツ 11.2% | 低所得者支援 8.6% | 低所得者支援 9.7% |
| 11位 | 清掃事業施策 / 文化・スポ ーツ施策 10.8% | 省資源施策 11.4% | 学校教育 10.8% | 駅前などの重 点まちづくり 7.6% | 住宅対策 7.6% |
| 12位 | | 保健衛生施策 10.1% | 住宅対策 8.7% | 障害者福祉 7.0% | 駅前などの重 点まちづくり 7.3% |

図6 - 2 - 施策への要望 順位変化

<注> () は 2003 年度までの旧名称

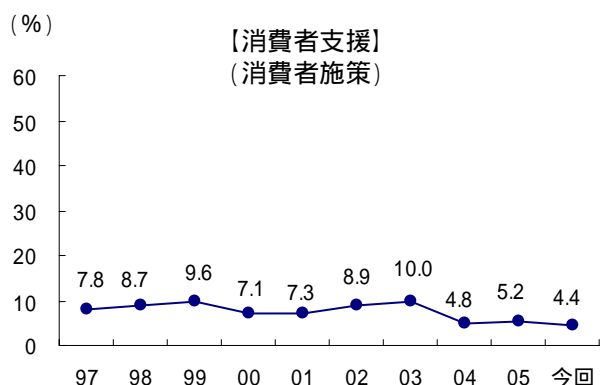
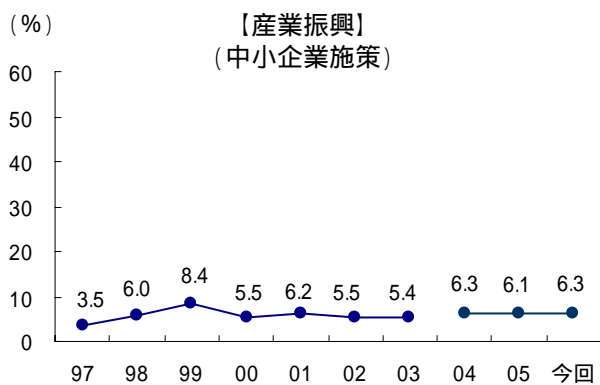
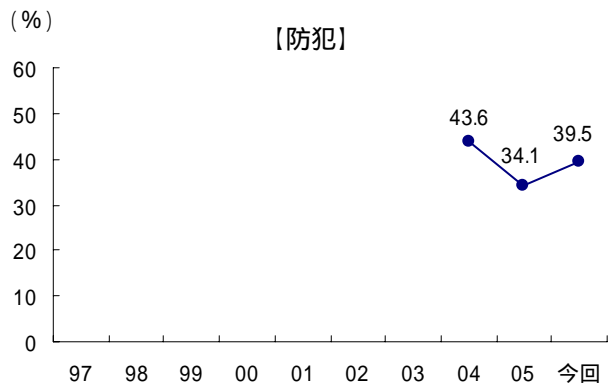
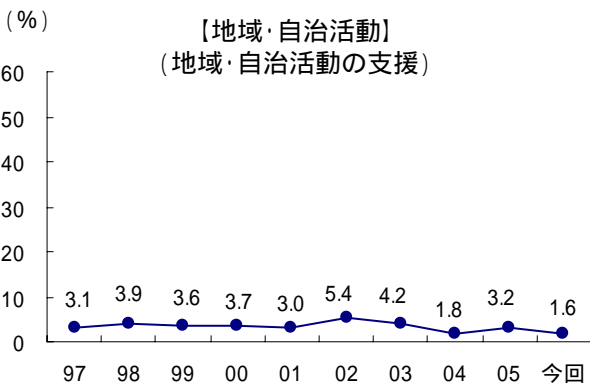
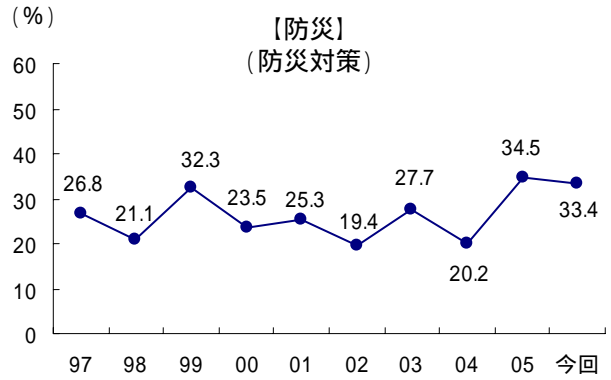
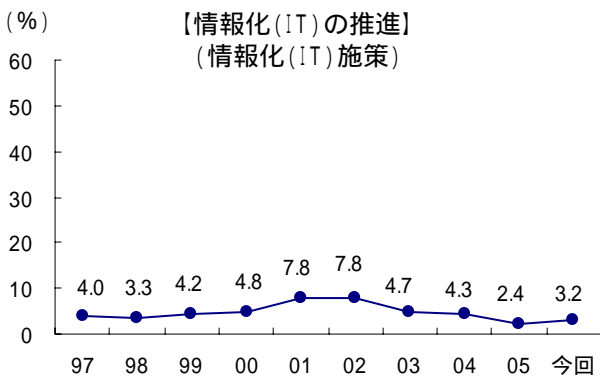
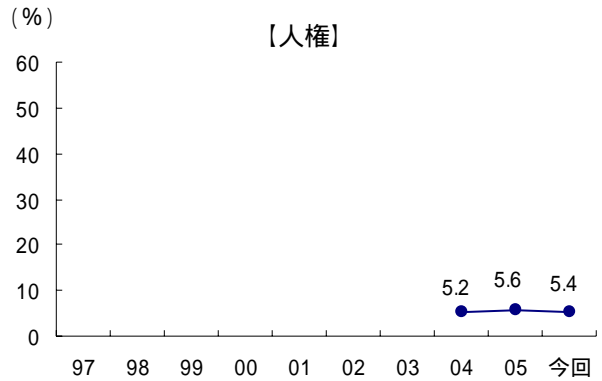
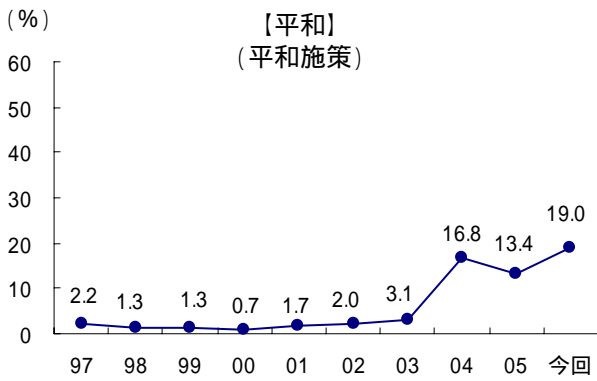


図6 - 2 - 施策への要望 順位変化

<注> () は 2003 年度までの旧名称

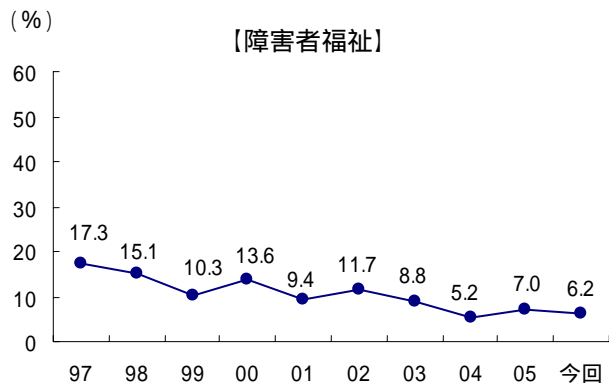
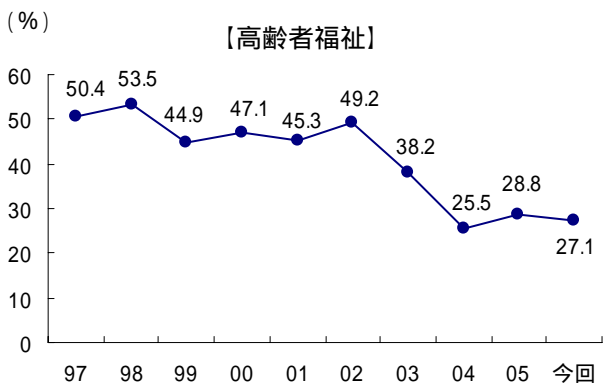
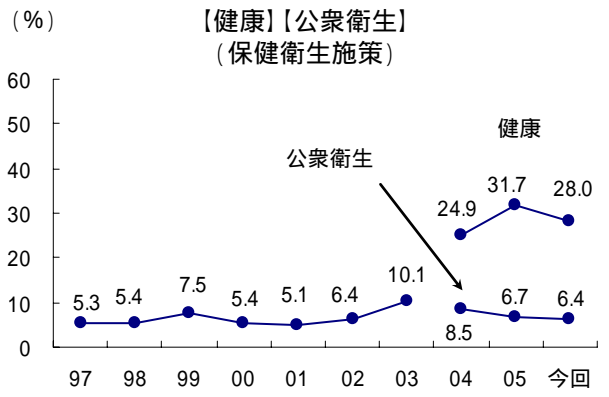
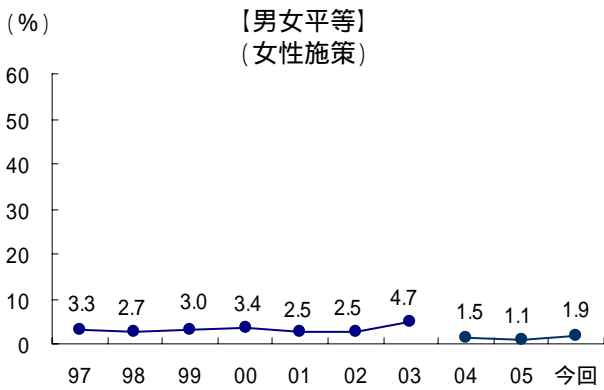
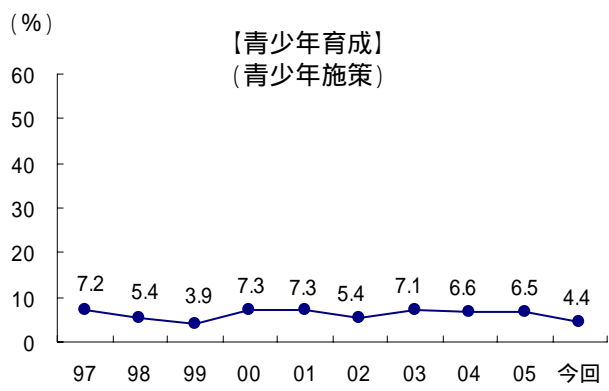
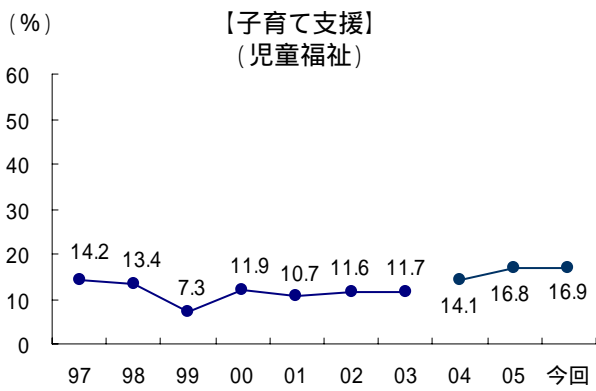
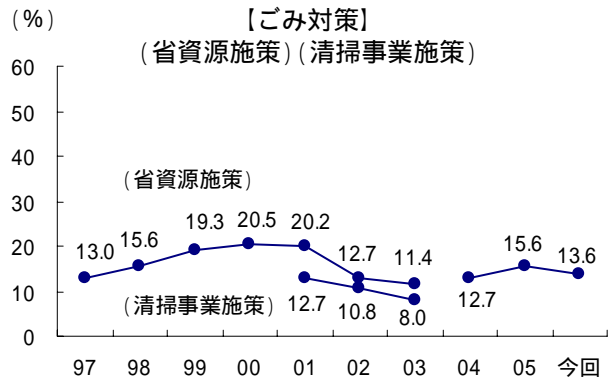
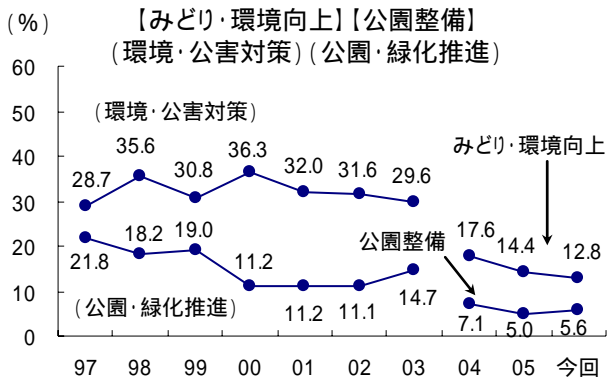
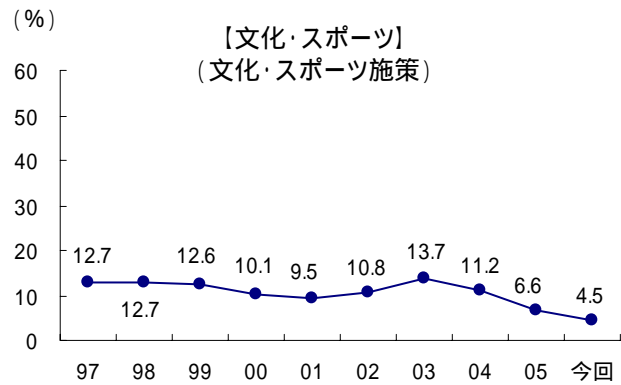
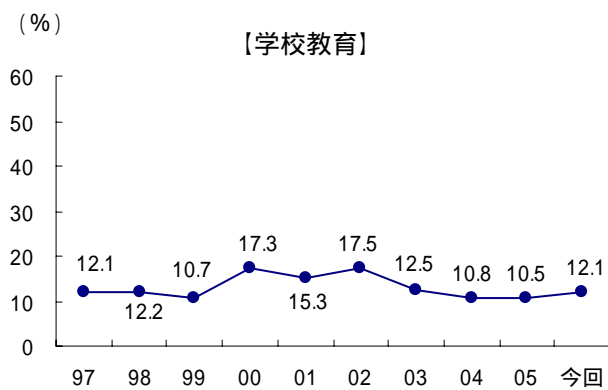
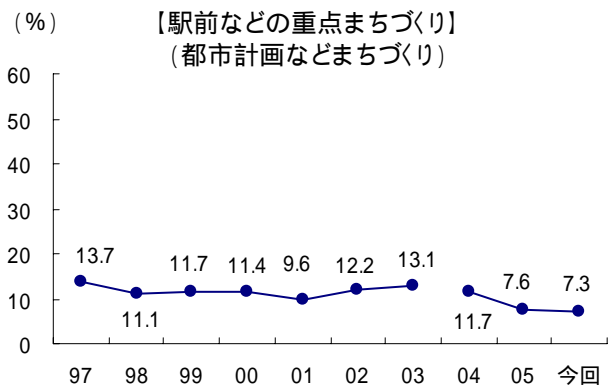
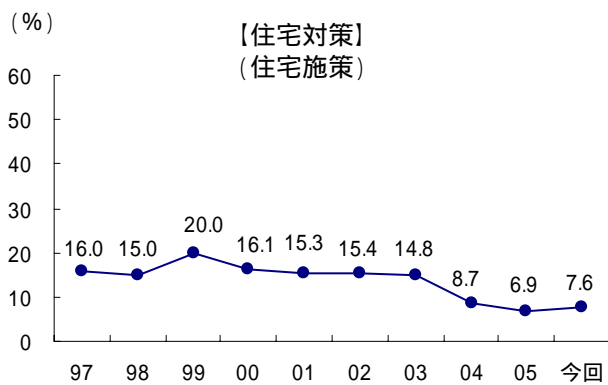
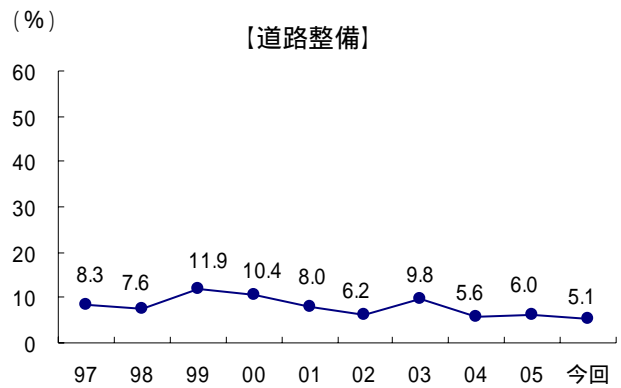
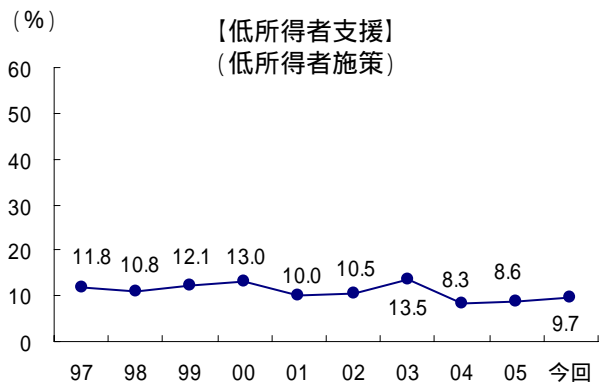


図6 - 2 - 施策への要望 順位変化

<注> () は 2003 年度までの旧名称



性・年代別でみると、男女とも「防犯」が1位となっている。この「防犯」を年代別にみると、男性20～50代、女性20～40代で1位であり、特に女性の20代で56.8%と高い。総数で第2位の「防災」は、男性の20代・70歳以上で1位となっており、女性では50代で1位となっている。第3位の「健康」は、高齢者が高い割合となっており、男女とも60代以降は3位以内となっている。第4位の「高齢者福祉」は男女とも40代以降で順位が高い。第5位の「平和」は男性20代の順位が第3位と高い。第6位の「子育て支援」は男女とも20～40代が6位以内に挙げ、女性30代では同率1位、男性30代では同率2位となっている。

総数で6位以内に挙げられなかった項目では、「ごみ対策」が男性40・50代と女性20代・60代以降で、「みどり・環境向上」が男性20代・30代・60代と女性20代・50代で、「学校教育」が男性30代・70代と女性30代・40代で、「駅前などの重点まちづくり」が男性20代でそれぞれ6位以内に挙げられた。

表6-3 施策への要望(上位6項目) - 性・年代別 -

(%)

| 総数 | | 第1位 | 第2位 | 第3位 | 第4位 | 第5位 | 第6位 |
|----|-------|--------------------|--------------------|-------------------------------|----------------------|------------------|-----------------------|
| | | 防犯 39.5 | 防災 33.4 | 健康 28.0 | 高齢者福祉 27.1 | 平和 19.0 | 子育て支援 16.9 |
| 男性 | 合計 | 防犯 38.6 | 防災 33.3 | 健康 27.0 | 高齢者福祉 26.3 | 平和 18.5 | 子育て支援 14.3 |
| | 20代 | 防災 / 防犯 30.8 | | 平和 24.4 | 駅前などの重点まちづくり 20.5 | 子育て支援 17.9 | みどり・環境向上 14.1 |
| | 30代 | 防犯 47.3 | 防災 / 子育て支援 28.0 | | 健康 22.6 | 学校教育 21.5 | みどり・環境向上/公衆衛生 12.9 |
| | 40代 | 防犯 46.4 | 高齢者福祉 28.6 | 防災 / 健康 27.4 | | 平和 15.5 | ごみ対策 / 子育て支援 14.3 |
| | 50代 | 防犯 40.5 | 防災 39.2 | 高齢者福祉 34.2 | 健康 30.4 | 平和 21.5 | ごみ対策 15.2 |
| | 60代 | 高齢者福祉 49.2 | 健康 43.1 | 防災 38.5 | 防犯 32.3 | 平和 18.5 | みどり・環境向上 16.9 |
| | 70歳以上 | 防災 40.8 | 高齢者福祉 36.7 | 健康 34.7 | 平和 26.5 | 防犯 26.5 | 学校教育 22.4 |
| 女性 | 合計 | 防犯 40.2 | 防災 33.5 | 健康 28.7 | 高齢者福祉 27.7 | 平和 19.3 | 子育て支援 19.0 |
| | 20代 | 防犯 56.8 | 防災 36.5 | みどり・環境向上 / 子育て支援 / 健康 23.0 | | | 平和 / ごみ対策 18.9 |
| | 30代 | 防犯 / 子育て支援 38.6 | | 防災 32.6 | 健康 25.8 | 学校教育 17.4 | 高齢者福祉 16.7 |
| | 40代 | 防犯 43.2 | 防災 36.0 | 高齢者福祉 27.9 | 健康 27.0 | 子育て支援 23.4 | 学校教育 16.2 |
| | 50代 | 防災 35.4 | 防犯 / 高齢者福祉 34.3 | | 健康 30.3 | みどり・環境向上 17.2 | 平和 16.2 |
| | 60代 | 高齢者福祉 43.2 | 防犯 39.2 | 健康 35.1 | 平和 31.1 | 防災 23.0 | ごみ対策 21.6 |
| | 70歳以上 | 高齢者福祉 41.9 | 防災 36.5 | 健康 33.8 | 防犯 31.1 | 平和 27.0 | ごみ対策 16.2 |

職業別で見ると、総数で第1位の「防犯」は家事専業と無職以外すべての職業で1位であった。第2位の「防災」は自営業で同率1位に挙げられ、他のすべての職業でも4位以内に挙げられた。第3位の「健康」は学生を除くすべての職業で3位以内に挙げられ、家事専業で1位であった。第4位の「高齢者福祉」はすべての職業から4位以内に挙げられ、無職で1位であった。第5位の「平和」はすべての職業で6位以内に挙げられた。第6位の「子育て支援」は学生と無職を除くすべての職業で6位以内に挙げられた。

このほか、総数で6位以内に挙げられなかった項目として「学校教育」が自営業で6位に、「低所得者支援」がパート・臨時・アルバイトで5位、無職で6位に、「みどり・環境向上」「ごみ対策」は学生からそれぞれ同率3位に挙げられている。

表6 - 4 施策への要望(上位6項目) - 職業別 -

(%)

| 総数 | | 第1位 | 第2位 | 第3位 | 第4位 | 第5位 | 第6位 |
|-------------|----------------------|---------------|------------|--------------------------------|---------------|----------------|------------------------|
| | | 防犯 39.5 | 防災 33.4 | 健康 28.0 | 高齢者福祉 27.1 | 平和 19.0 | 子育て支援 16.9 |
| 自営業 | | 防災/防犯 32.1 | | 健康 25.9 | 高齢者福祉 24.1 | 平和 21.4 | 子育て支援/ 学校教育 18.8 |
| 勤 め 人 | 常勤の勤 め人 | 防犯 47.0 | 防災 35.0 | 健康 25.5 | 高齢者福祉 23.4 | 子育て支援 20.4 | 平和 16.5 |
| | パート・ 臨時・アル バイト | 防犯 36.6 | 防災 28.2 | 健康 26.1 | 高齢者福祉 24.6 | 低所得者支援 21.8 | 平和/子育て 支援 16.2 |
| 無 職 | 学 生 | 防犯 48.0 | 防災 36.0 | 平和/みどり・環境向上/ごみ対策/高齢者福祉 20.0 | | | |
| | 家事専業 | 健康 36.4 | 防犯 35.6 | 高齢者福祉 34.8 | 防災 32.6 | 平和 24.2 | 子育て支援 20.5 |
| | 無 職 | 高齢者福祉 38.7 | 健康 37.3 | 防災 35.2 | 防犯 30.3 | 平和 20.4 | 低所得者支援 16.2 |

地域別で見ると、総数の上位4項目である「防災」「防犯」「健康」「高齢者福祉」が、順位は違うが江古田・沼袋を除くすべての地域で上位4項目に挙げられている。

総数で第1位の「防犯」は南中野と上高田・新井を除くすべての地域で1位となっている。同じく総数で第2位の「防災」は上高田・新井で、第4位の「高齢者福祉」は南中野でそれぞれ1位となっている。

総数で6位以内に挙げられなかった項目としては、「学校教育」が昭和・東中野、上高田・新井でそれぞれ同率5位に、「ごみ対策」が野方・大和、鷺宮・上鷺宮で6位以内に挙げられた。

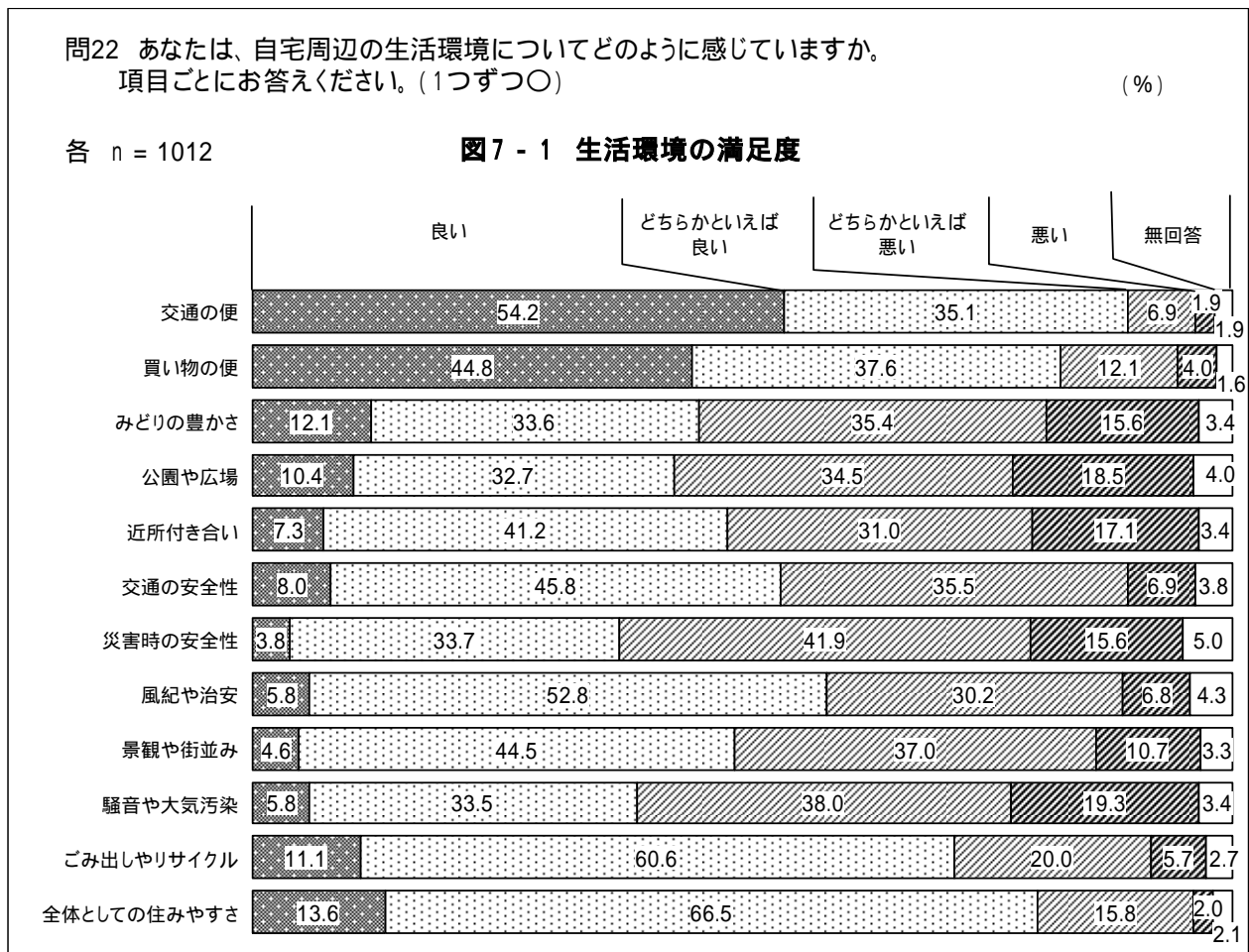
表6 - 5 施策への要望(上位6項目) - 地域別 -

(%)

| 総数 | 第1位 | 第2位 | 第3位 | 第4位 | 第5位 | 第6位 |
|--------|---------------|-------------------------|---------------|-----------------------|----------------------|----------------------|
| | 防犯 39.5 | 防災 33.4 | 健康 28.0 | 高齢者福祉 27.1 | 平和 19.0 | 子育て支援 16.9 |
| 南中野 | 高齢者福祉 34.6 | 防犯 31.8 | 健康 30.8 | 防災 28.0 | 平和 19.6 | 子育て支援 18.7 |
| 弥生・東部 | 防犯 44.0 | 健康 32.1 | 防災 30.4 | 高齢者福祉 28.6 | 平和 18.5 | 子育て支援 14.3 |
| 鍋横・桃園 | 防犯 44.5 | 防災 39.7 | 健康 25.3 | 子育て支援 / 高齢者福祉 19.9 | | 平和 19.2 |
| 昭和・東中野 | 防犯 44.1 | 防災 35.6 | 健康 33.9 | 高齢者福祉 27.1 | 子育て支援 / 学校教育 22.0 | |
| 上高田・新井 | 防災 40.5 | 健康 34.2 | 防犯 32.9 | 高齢者福祉 29.1 | 平和 / 学校教育 17.7 | |
| 江古田・沼袋 | 防犯 40.9 | 防災 32.8 | 高齢者福祉 26.3 | 平和 21.9 | 子育て支援 / 健康 18.2 | |
| 野方・大和 | 防犯 46.9 | 防災 39.8 | 健康 28.9 | 高齢者福祉 27.3 | 平和 21.9 | ごみ対策 / 子育て支援 14.1 |
| 鷺宮・上鷺宮 | 防犯 31.4 | 防災 / 健康 / 高齢者福祉 26.6 | | | ごみ対策 23.9 | 平和 19.1 |

7. 生活環境の満足度

(1) 生活環境の満足度……「良い」は“交通の便”、「悪い」は“騒音や大気汚染”がトップ



自宅周辺の生活環境を、“全体としての住みやすさ”を含めた12項目に分けて「良い」「どちらかといえば良い」「どちらかといえば悪い」「悪い」の4段階で評価してもらった。

「良い」が目立つのは“交通の便”(54.2%)と“買い物の便”(44.8%)、「悪い」が目立つのは“騒音や大気汚染”(19.3%)となっている。

また、「良い」と「どちらかといえば良い」の合計を『満足層』とし、その割合で比較したところ、最も高かったのは“交通の便”(89.3%)、次いで“買い物の便”(82.4%)“ごみ出しやリサイクル”(71.7%)となった。一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合計した『不満足層』が高かったのは“災害時の安全性”(57.5%)“騒音や大気汚染”(57.3%)“公園や広場”(53.0%)“みどりの豊かさ”(51.0%)だった。

「全体としての住みやすさ」は『満足層』が80.1%、『不満足層』が17.8%となっている。

【生活環境の評価点】

満足度の比較をより明確にするために、4段階評価に点数を与え、下式により評価点を算出して、各項目の評価を行った。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「良い」の回答者数} \times 4 \text{点} \\ + \text{「どちらかといえば良い」の回答者数} \times 3 \text{点} \\ + \text{「どちらかといえば悪い」の回答者数} \times 2 \text{点} \\ + \text{「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点} \end{array}}{\text{全回答者数 (1,012) - 無回答}}$$

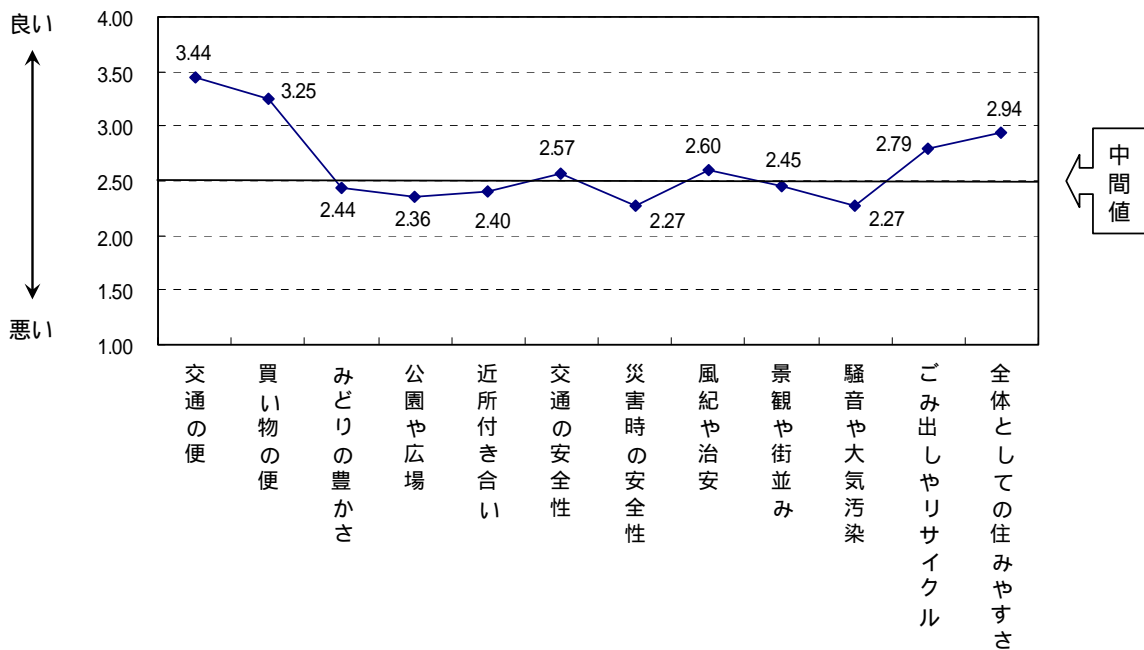
この算出方では、評価点は1.00～4.00の間に分布し、2.50が中間値になる
4.00に近いほど評価が良く、1.00に近いほど評価が悪い

中間値よりも評価が高い項目は、高い順に「交通の便」(3.44)、「買い物の便」(3.25)、「ごみ出しやりサイクル」(2.79)、「風紀や治安」(2.60)、「交通の安全性」(2.57)となっている。

一方、中間値よりも評価が低い項目は、低い順に「災害時の安全性」(2.27)、「騒音や大気汚染」(2.27)、「公園や広場」(2.36)、「近所付き合い」(2.40)、「みどりの豊かさ」(2.44)、「景観や街並み」(2.45)となっている。

「全体としての住みやすさ」は2.94であった。

図7-2 生活環境の評価点



地域別で見ると、「交通の便」、「買い物の便」、「ごみ出しやリサイクル」はすべての地域で中間値よりも評価が高く、「災害時の安全性」はすべての地域で中間値よりも評価が低い。地域間で評価の差があるのは、差が大きい順に「公園や広場」、「みどりの豊かさ」、「騒音や大気汚染」となっている。「全体としての住みやすさ」は、すべての地域で中間値を上回り、地域間の差は少ない。

図7-3- 生活環境の評価点 - 地域別 -

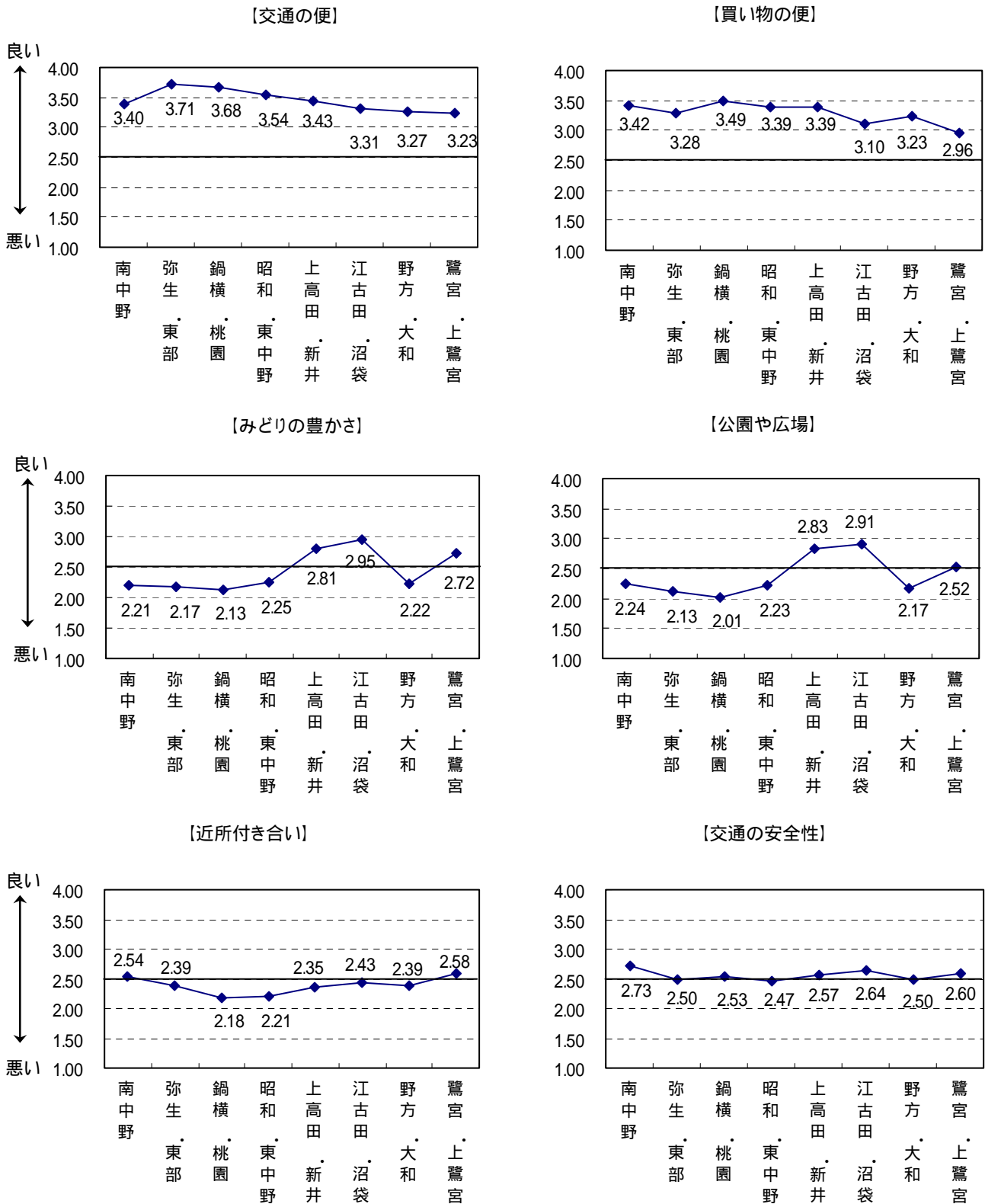
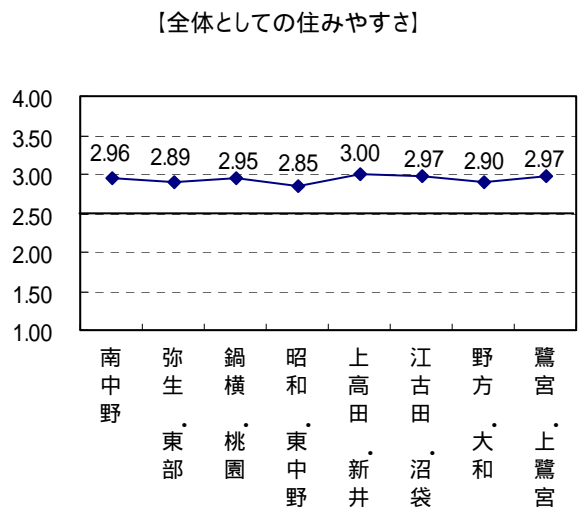
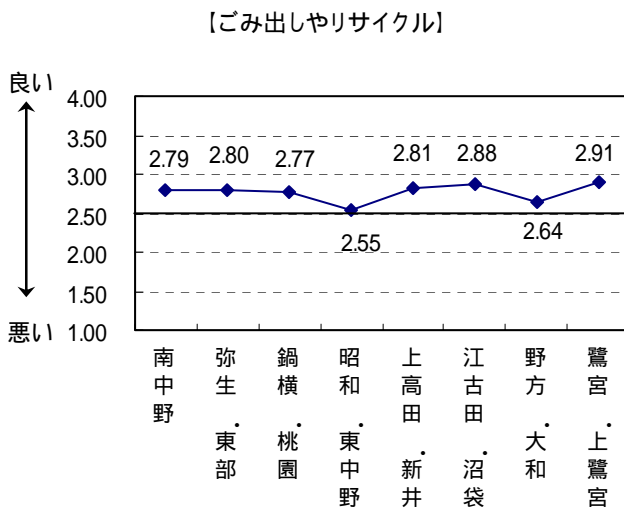
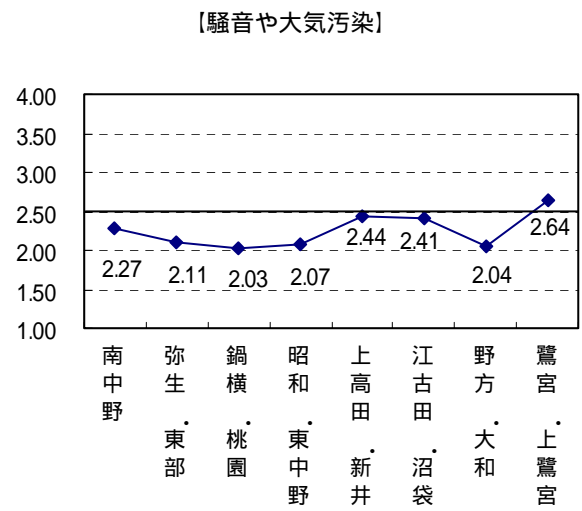
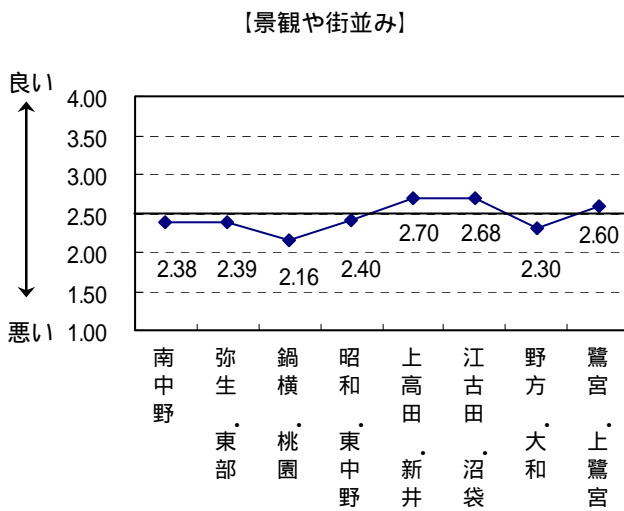
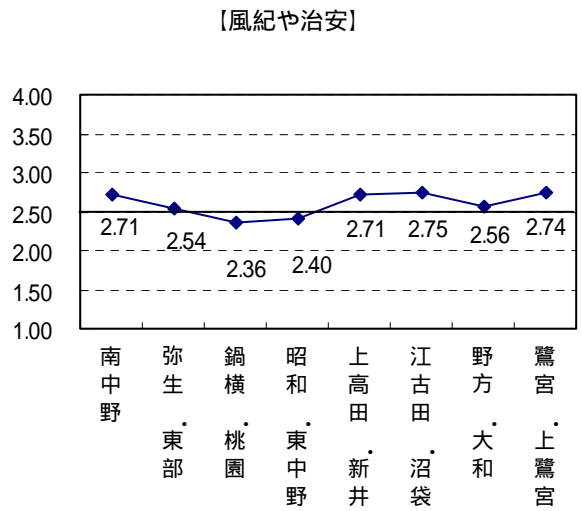
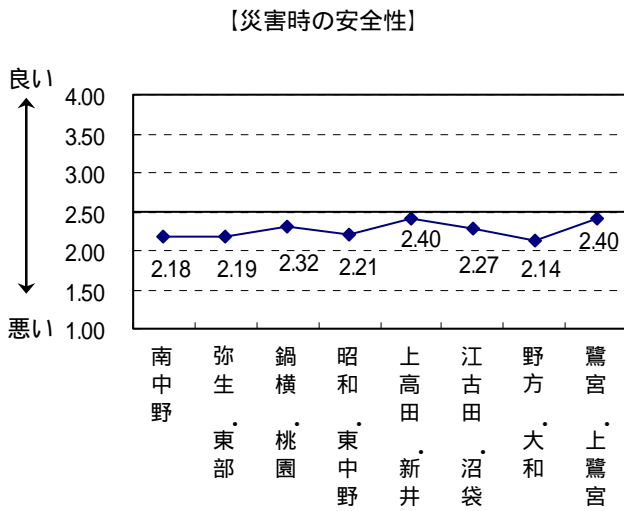


図6-3- 生活環境の評価点 - 地域別 -

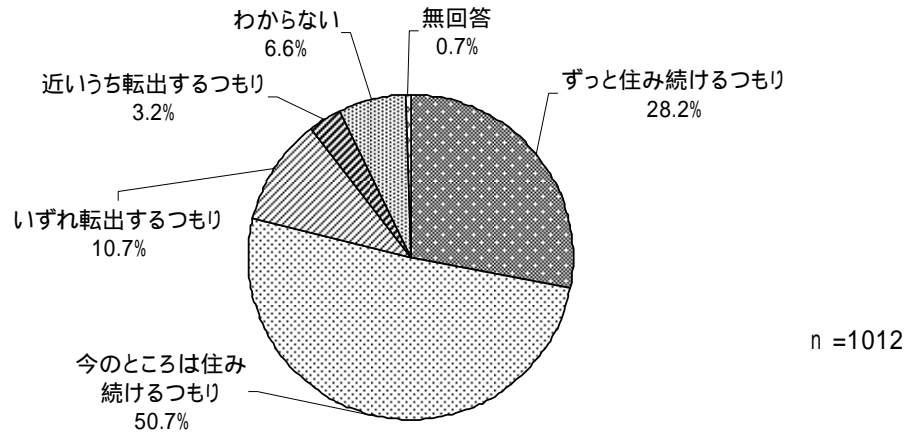


8. 定住意向

(1) 定住意向……8割弱が『定住派』（『ずっと住み続けるつもり』+『今のところは住み続けるつもり』）

問24 これからも引き続いて中野区にお住まいになりますか(1つに○)

図8-1 定住意向

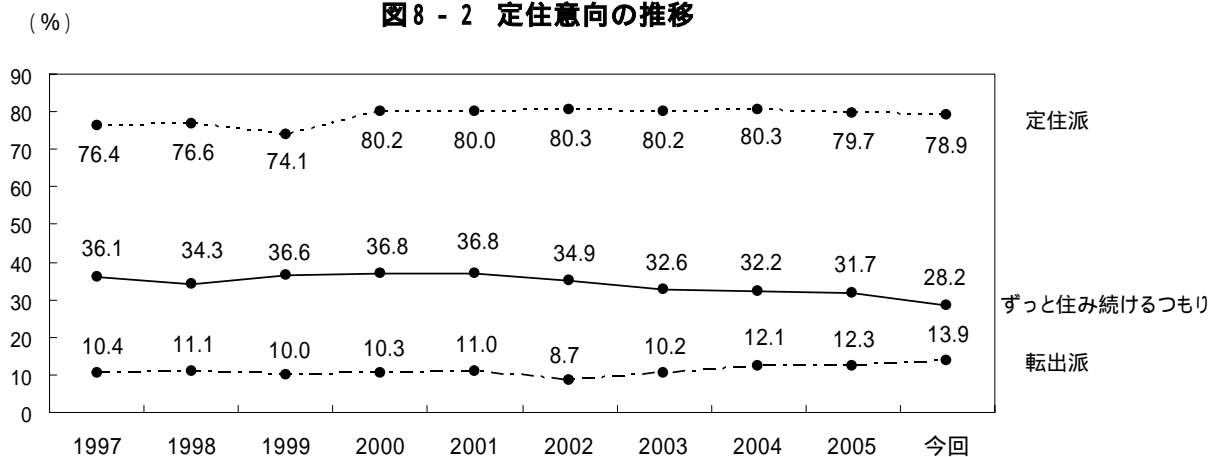


定住意向をたずねたところ、「ずっと住み続けるつもり」28.2%、「今のところは住み続けるつもり」50.7%、これを合計した“住み続ける”という『定住派』は、78.9%という結果だった。一方、「いずれ転出するつもり」10.7%と「近いうち転出するつもり」3.2%を合計した“転出するつもり”という『転出派』は13.9%だった。

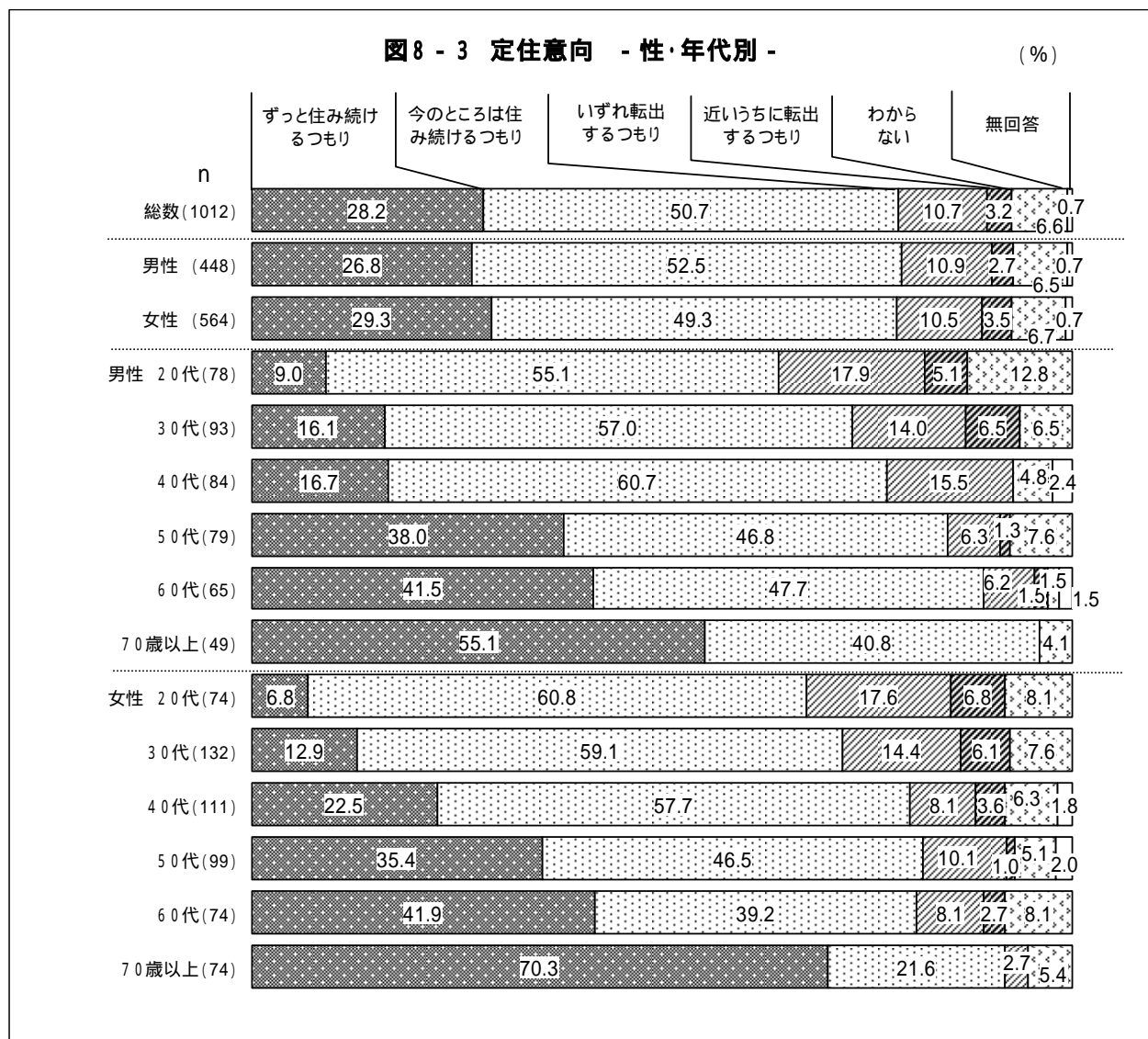
過去10年間の定住意向の推移をみると、『定住派』は2000年度以降横ばいを続けてきたが、2004年度以降やや下降傾向となっている。『転出派』は2002年度以降上昇傾向にある。

定住派のうち、「ずっと住み続けるつもり」は、昨年度から3.5ポイント下がっており、過去10年間で最高だった2000・2001年度（ともに36.8%）比では、8.6ポイント下がっている。

図8-2 定住意向の推移

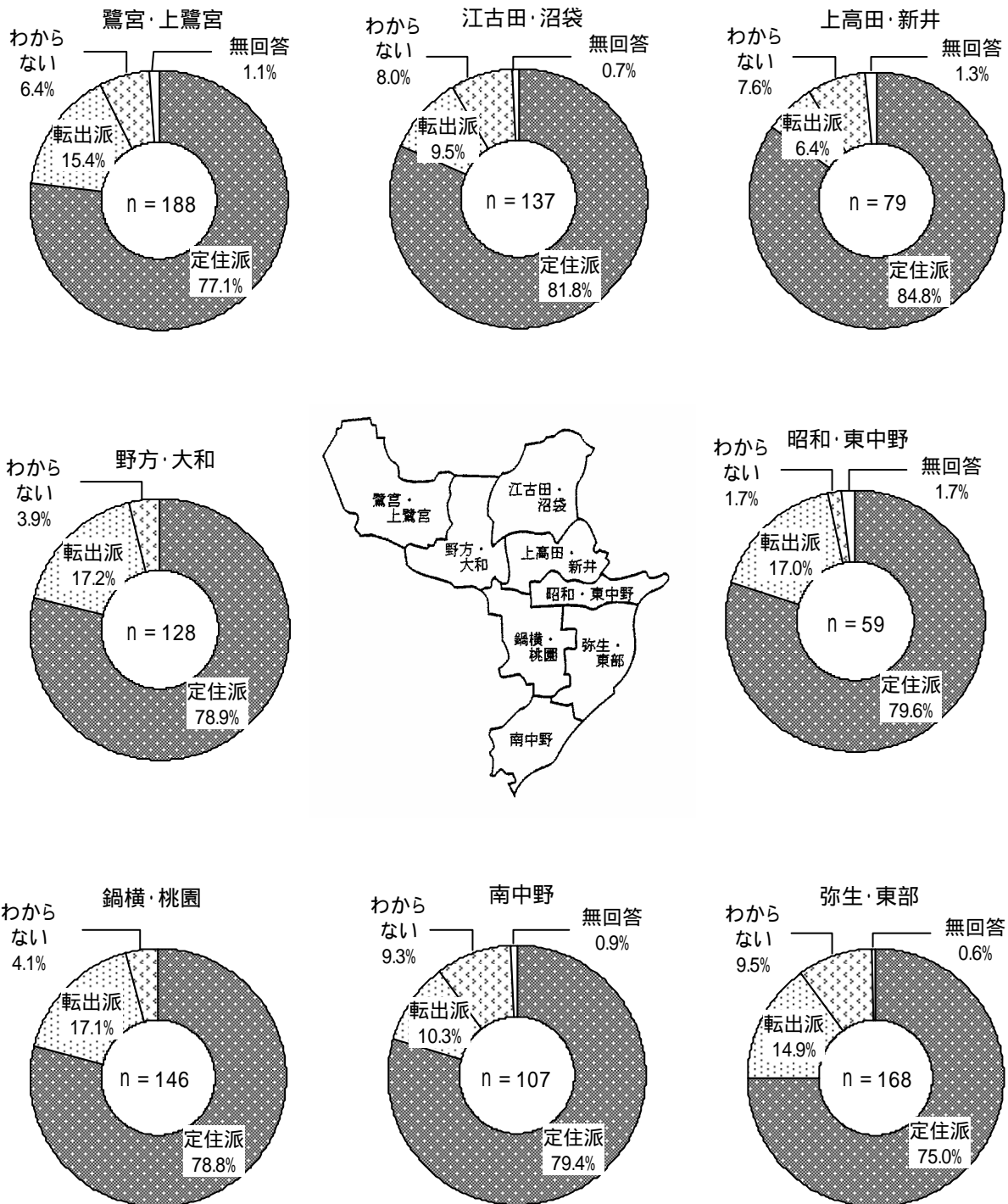


性・年代別でみると、「ずっと住み続けるつもり」は男女間では女性がやや高く、年代では男女とも年代が上がるにつれ、増加する傾向にある。『転出派』は、男女とも20代が最も高く、男性23.0%、女性24.4%となっている。



地域別では、『定住派』の割合が高い地域は、上高田・新井（84.8%）と江古田・沼袋（81.8%）だった。一方、『転出派』は、野方・大和（17.2%）、鍋横・桃園（17.1%）昭和・東中野（17.0%）が他の地域に比べて高い。

図8 - 4 定住意向 - 地域別 -

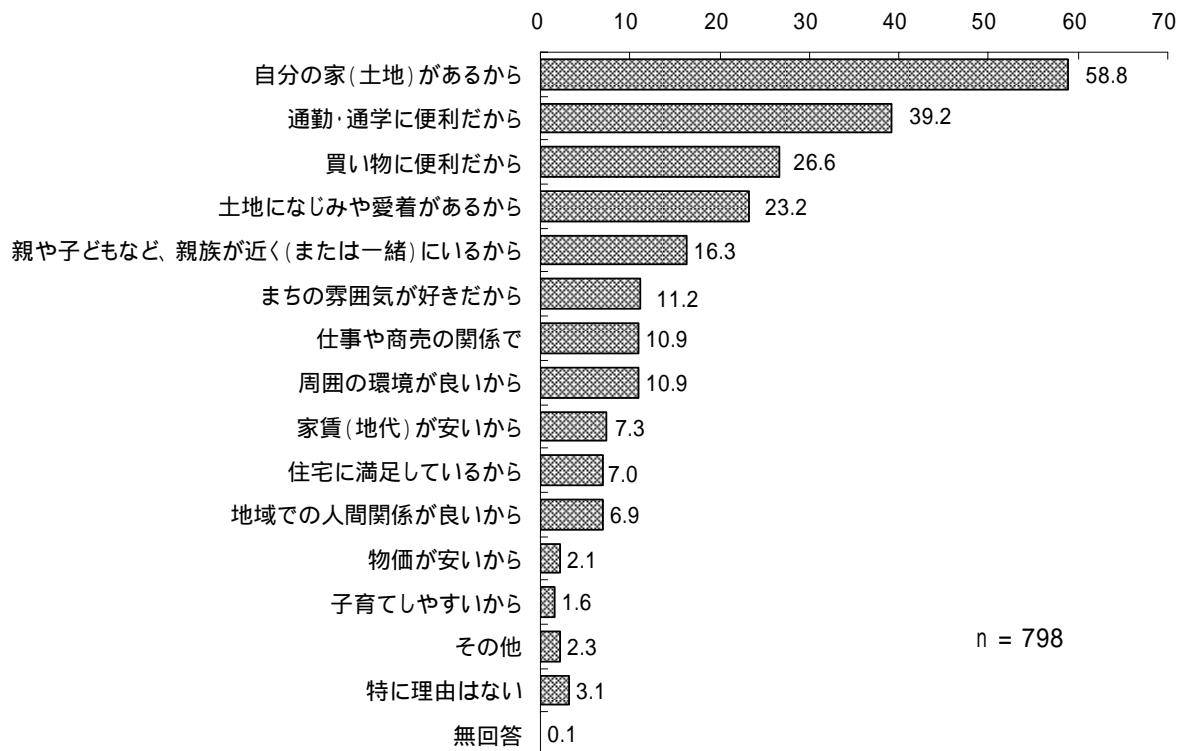


(2) 住み続ける理由……「自分の家(土地)があるから」がトップ、次いで「通学・通学に便利だから」

【問24で「ずっと住み続けるつもり」「今のところ住み続けるつもり」という方に】
問24 - 1 あなたが中野区に住み続ける主な理由は何ですか。(3つ以内○)

(%)

図8 - 5 住み続ける理由



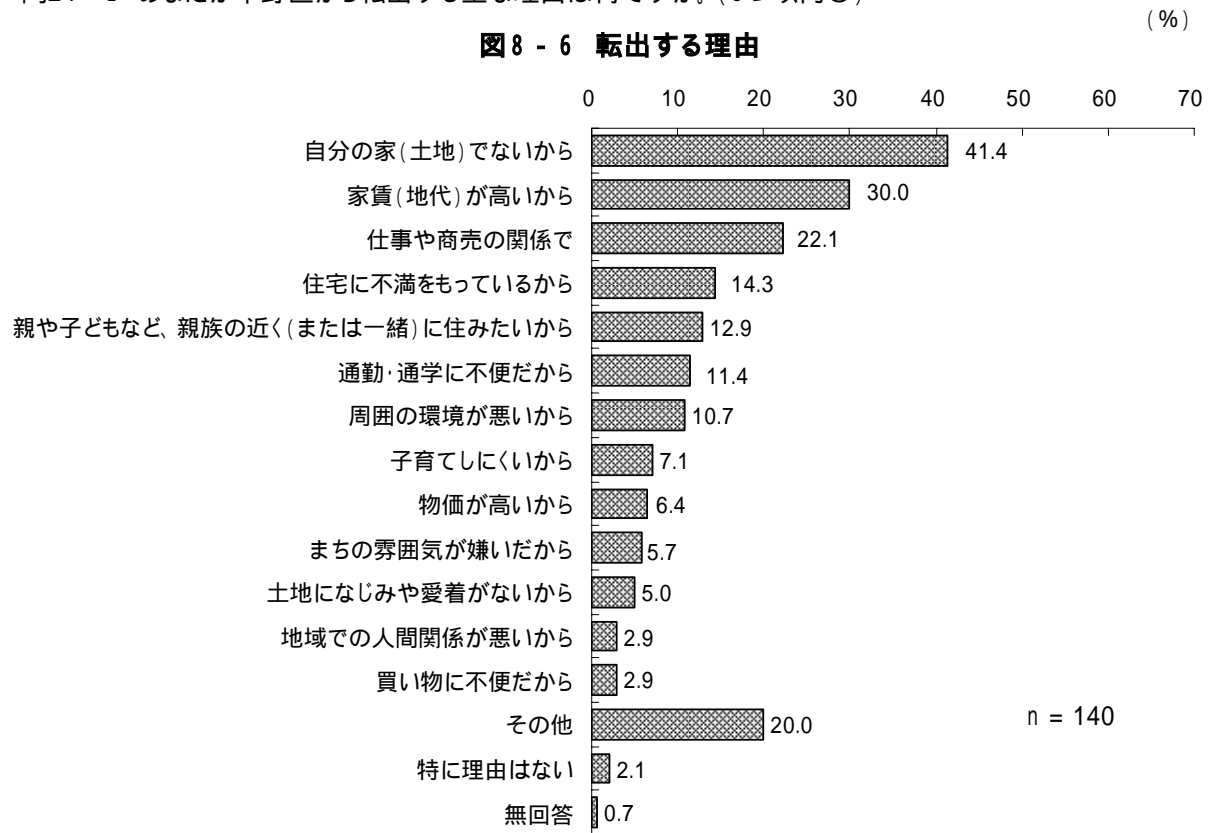
“住み続ける”という『定住派』に、中野区に住み続ける理由を複数回答で該当する理由を3つまで挙げてもらった。

その結果、「自分の家(土地)があるから」58.8%が最も高く、次いで「通勤・通学に便利だから」(39.2%)、「買い物に便利だから」(26.6%)、「土地になじみや愛着があるから」(23.2%)が続いた。割合が低いのは「子育てしやすいから」1.6%、「物価が安いから」2.1%となっている。

(3) 転出する理由………「自分の家(土地)でないから」「家賃(地代)が高いから」の順に

【問24で「いずれ転出するつもり」「近いうちに転出するつもり」という方に】
問24 - 2 あなたが中野区から転出する主な理由は何ですか。(3つ以内○)

図8 - 6 転出する理由



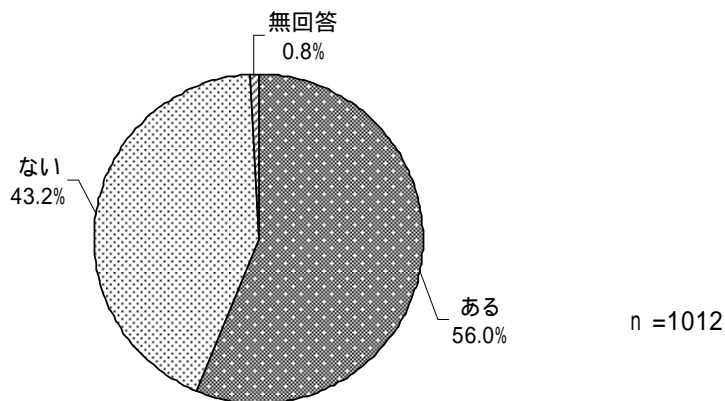
“転出するつもり”という『転出派』にその理由を複数回答(3つ以内)で挙げてもらったところ、「自分の家(土地)でないから」が41.4%で最も高く、次いで「家賃(地代)が高いから」30.0%、「仕事や商売の関係で」22.1%となった。

9. 「新しい中野をつくる10か年計画」に関する事項

(1) 区(本庁舎)の窓口の利用状況……5割半ばが「利用あり」

問25 区は、誰もが気持ちよく利用できる区役所を目標としています。あなたは、過去1年くらいの間に区役所本庁舎の窓口を利用したことがありますか。

図9-1 区(本庁舎)の窓口の利用状況

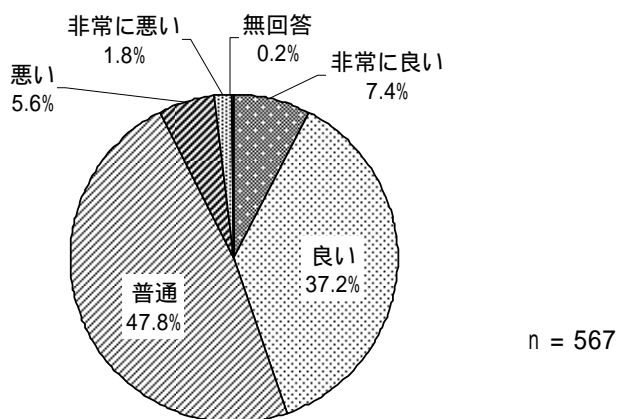


過去1年くらいの間に区役所本庁舎の窓口を利用したことがあるか尋ねたところ、「ある」と答えた人は56.0%だった。

(2) 職員の窓口対応……4割半ばが「満足層」

【問25で「ある」という方に】
問25-1 その時の職員の対応はいかがでしたか。(1つに)

図9-2 職員の窓口対応



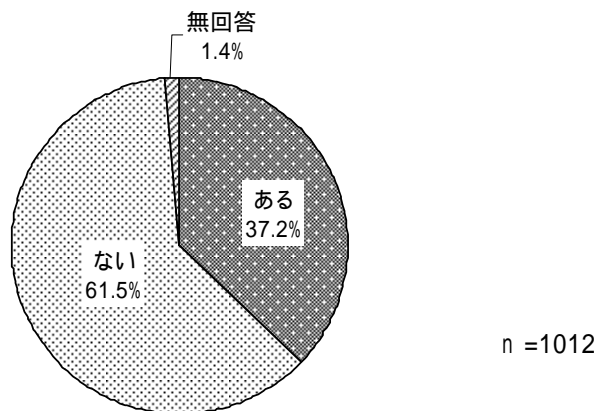
区役所本庁舎の窓口を利用したことがある人に、そのときの職員の対応について尋ねたところ、「非常に良い」(7.4%)と「良い」(37.2%)を合わせた『満足層』は44.6%だった。

反対に、「非常に悪い」(1.8%)と「悪い」(5.6%)を合わせた『不満層』は7.4%だった。

(3) 電話による区(本庁舎)への問い合わせ状況……4割弱が「あり」

問26 あなたは、過去1年くらいの間に区役所本庁舎に電話をかけたことがありますか。

図9 - 3 電話による区(本庁舎)への問い合わせ状況



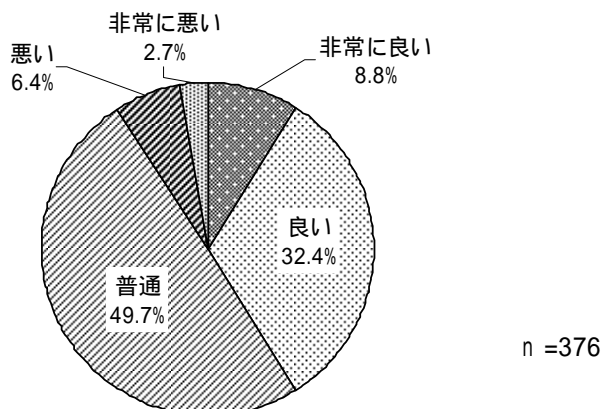
過去1年くらいの間に区役所本庁舎に電話をかけたことがあるか尋ねたところ、37.2%の人が「あり」と答えた。

(4) 職員の電話対応 ……4割が「満足層」

【問26で「あり」という方に】

問26 - 1 その時の職員の対応はいかがでしたか。(1つに)

図9 - 4 職員の電話対応



区役所本庁舎に電話をかけたことがある人に、そのときの職員の対応について尋ねたところ、「非常に良い」(8.8%)と「良い」(32.4%)を合わせた『満足層』は41.2%だった。

反対に、「非常に悪い」(2.7%)と「悪い」(6.4%)を合わせた『不満層』は9.1%だった。

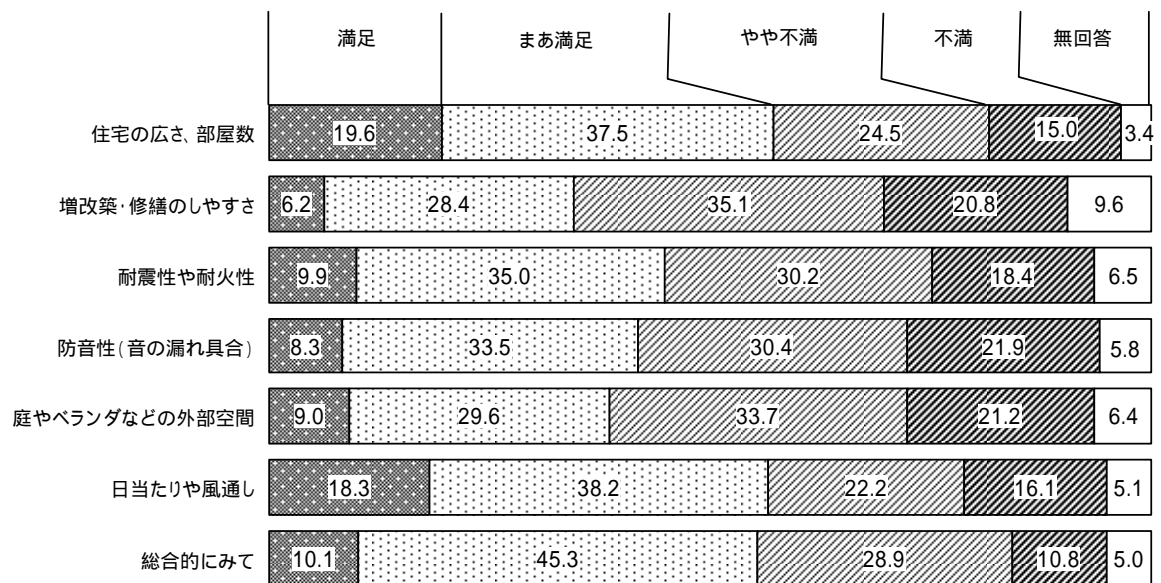
(5)住まいの満足度……5割半ばが「総合的にみて」満足

問27 区では、安全で快適な住環境づくりを目標としています。あなたは、現在のお住まいにどの程度満足していますか。項目ごとにお答えください。(1つずつ)

各 n = 1012

図9 - 5 住まいの満足度

(%)



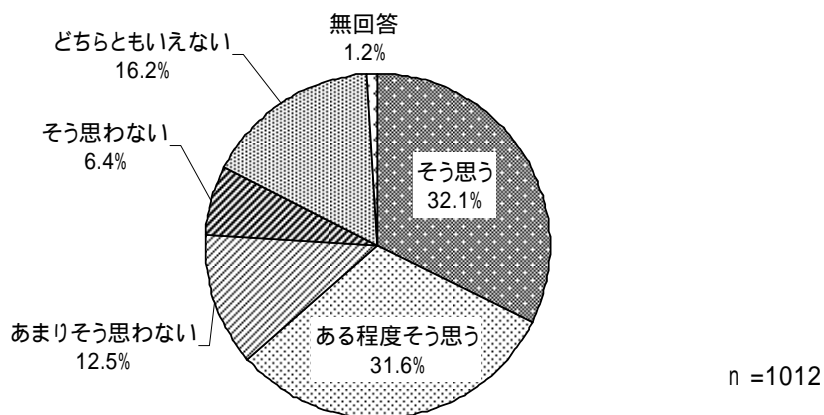
住まいについて「住宅の広さ、部屋数」など、7項目について満足度を尋ねた。「総合的にみて」の項目では「満足」(10.1%)と「まあ満足」(45.3%)を合計した『満足層』が55.4%となっている。

その他の項目で『満足層』(「満足」+「まあ満足」)の割合が高かったのは、「住宅の広さ、部屋数」(57.1%)、「日当たりや風通し」(56.5%)、反対に『不満層』(「不満」+「やや不満」)の割合が高かったのは、「増改築・修繕のしやすさ」(55.9%)、「庭やベランダなどの外部空間」(54.9%)だった。

(6) 性別役割分業の考え方をなくすべきか………6割強が『肯定層』(「そう思う」+「ある程度そう思う」)

問28 区は、性別による差別をなくし、男女が参画した立案や決定がされる社会を目標にしています。あなたは、例えば男は仕事、女は家庭というような性別役割分業の考え方をなくしていくべきだと考えますか。(1つに)

図9 - 6 性別役割分業の考え方をなくすべきか



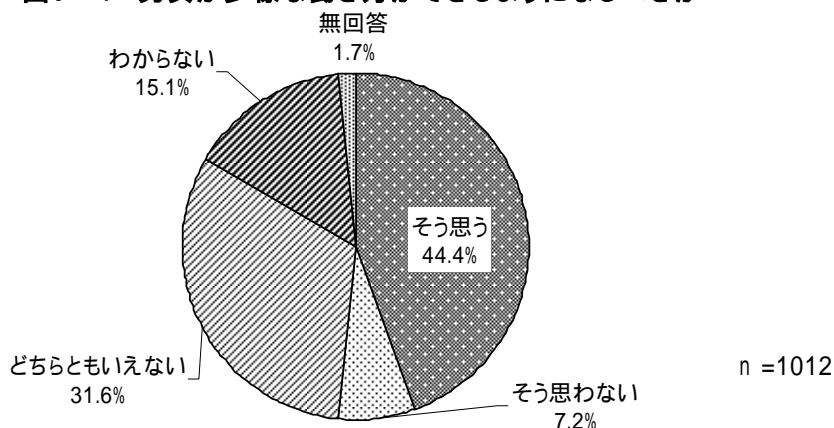
性的役割分業の考え方をなくしていくべきかうかがったところ、「そう思う」(32.1%)と「ある程度そう思う」(31.6%)を合わせた『肯定層』は63.7%、「そう思わない」(6.4%)と「あまりそう思わない」(12.5%)を合わせた『否定層』は18.9%だった。

なお、「どちらともいえない」は16.2%だった。

(7) 男女が多様な働き方ができるようになるべきか………4割半ばが「そう思う」

問29 区は、全ての人に多様な働き方が選択できる社会を目標にしています。民間企業の中には一人あたりの労働時間を短くして、仕事を分かち合うワークシェアリングを導入するところも出始めています。あなたは、このような方法を用いて男女が多様な働き方ができるようになるべきだと思いますか。(1つに)

図9 - 7 男女が多様な働き方ができるようになるべきか

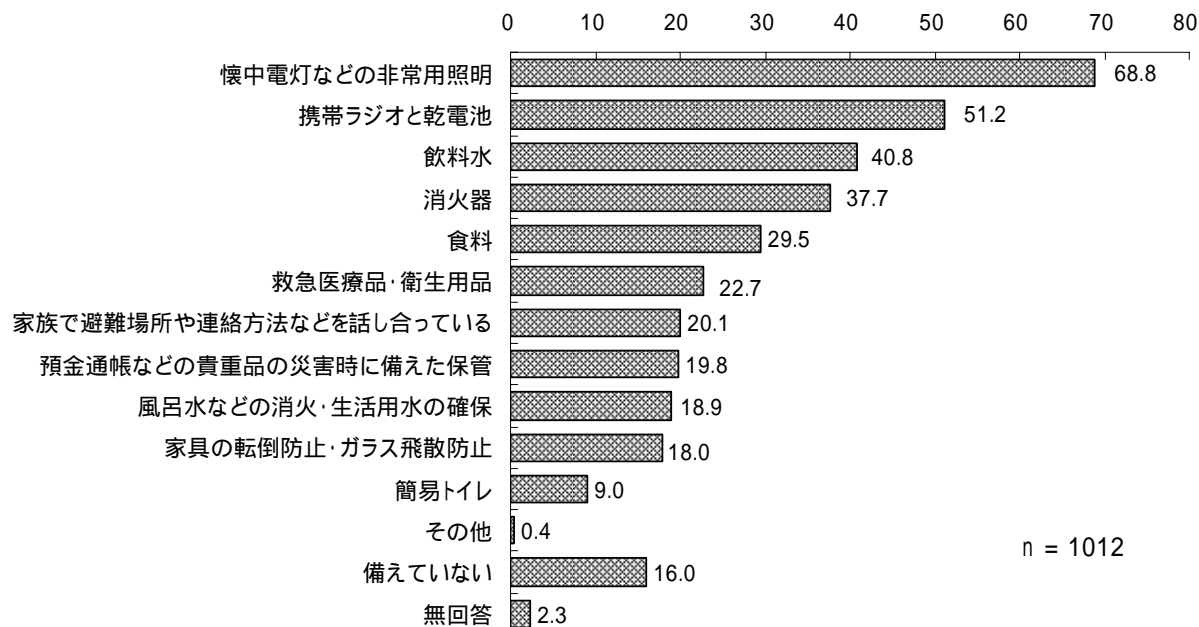


ワークシェアリングなどの方法を用いて、男女が多様な働き方ができるようになるべきか尋ねたところ、44.4%の人が「そう思う」と答えた。一方、「そう思わない」は7.2%、「どちらともいえない」は31.6%だった。

(8) 震災に対する家庭での備え……7割近くが「懐中電灯などの非常用照明」

問30 区は、区内各所で防災体制の整備、備蓄物資の確保などが進み、まちの防災機能が高まることを目標にしています。あなたのお宅では、地震やそれによる火災が起こったときのために、どのような備えをしていますか。(いくつでも)

図9-8 震災に対する家庭での備え (%)



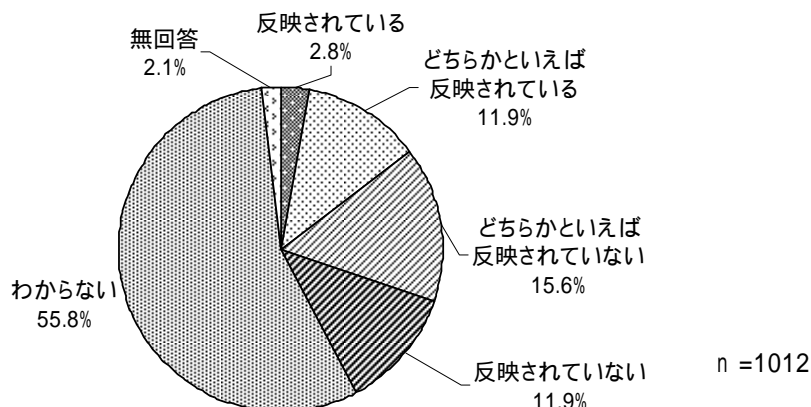
震災やそれによる火災が起こったときのためにどのような備えをしているか、複数回答(いくつでも)で該当するものをすべて挙げてもらった。

最も割合が高かったのは「懐中電灯などの非常用照明」で68.8%、これに「携帯ラジオと乾電池」51.2%、「飲料水」40.8%、「消火器」37.7%が続いている。「備えていない」は16.0%だった。

(9)区民の意見・要望の反映度……1割半ばが「肯定層」(「反映されている」+「どちらかといえば反映されている」)

問31 区では多くの区民の意見・要望を区政運営に活かすことを目標にしています。あなたは、現在、区民の意見・要望などが区政に反映されていると思いますか。(1つに)

図9-9 区民の意見・要望の反映度

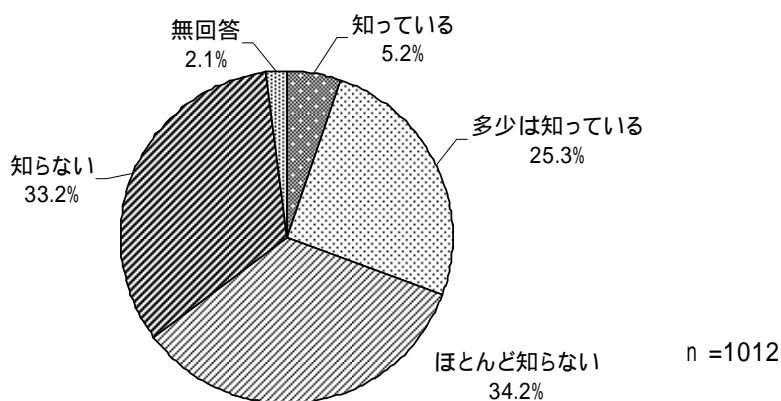


区民の意見や要望などが区政に反映されているか尋ねたところ、「反映されている」(2.8%)と「どちらかといえば反映されている」(11.9%)を合計した『肯定層』は14.7%、一方、「反映されていない」(11.9%)と「どちらかといえば反映されていない」(15.6%)を合計した『否定層』は27.5%だった。なお、5割以上の方が「わからない」と答えている。

(10)住民税の周知度……3割が「知っている層」(「知っている」+「多少は知っている」)

問32 区は、区民のみなさんに、税金を納得したうえで負担していただくことを目標にしています。区民のみなさんが区に納めている住民税は、区民サービスのための基本的な財源です。あなたは、住民税がどのような用途に使われているか知っていますか。(1つに)

図9-10 住民税の周知度



住民税がどのような用途に使われているかを知っているかたずねたところ、「知っている」(5.2%)と「多少は知っている」(25.3%)を合わせた『知っている層』は30.5%となった。「ほとんど知らない」は34.2%、「知らない」は33.2%であった。